

原 著

結核豫防事業ノ實際的考察

警視廳衛生部(主任加藤醫務課長)

衛生技師 石 井 磨

目 次

第一編	紡績會社従業員結核性疾患調
第一章 緒 言	東京市郡ニ於ケル結核死亡者調
第二章 結核概説	第二編
結核ニ對スル素因	第一章 結核ノ豫防
結核ノ感染及體內傳播	甲、主要國ニ於ケル結核豫防狀況
結核ノ罹患竝ニ症狀	英國及ウエールズ
結核ノ診斷及療法	北米合衆國
結核ノ豫防	獨 逸
第三章 結核ノ蔓延	フランス
甲、主要國ニ於ケル結核蔓延概況	伊太利
主要國結核死亡比較	瑞 西
各國ニ於ケル人口一萬對結核死亡率	丁 抹
乙、我國ニ於ケル結核蔓延狀況	乙、我國ニ於ケル結核豫防狀況
我國累年結核死亡調	結核豫防法
道府縣結核死亡調	結核患者收容機關
職業別結核死亡調	各國ニ於ケル結核病床數
年齡別結核死亡	道府縣結核相談所數
月別結核死亡調	道府縣結核巡回看護施設數
農村ニ於ケル結核狀況	道府縣結核性虛弱兒童養護施設
小學校教員健康狀況調査	道府縣輕快結核患者ノ保護施設
男女師範學校生徒病休病缺病類別調	私設團體ニ於ケル結核豫防事業
東京府立師範學校生徒疾患調	第二章 警視廳ニ於ケル結核豫防事業
中等學校生徒病休病缺狀況	結核相談所
陸軍肺結核累年比較	結核豫防及療養ノ指針タルベキ學界ノ概觀
海軍軍人結核比率	結核相談ニヨル患者及其家庭ノ環境竝ニ觀察的
各生命保險會社被保人結核死亡調	觀察、注意指導及其效果
高層建築百貨店內勤勞者結核調	第三編
附(參考) 同上百貨店內空氣檢查成績	第一章 總括的考察
「セメント」會社工場結核性疾患調	第二章 結 論

第一編

第一章 緒言

結核ノ傳染病タルコトハヒボクラテス時代ヨリ之ヲ文籍ニ貽シテ吾人ニ傳ヘタリ。1882年3月學界ノ偉人、世界ノ恩人ロベルト・コッホハベルリンニ於テ結核ノ病原體ニ關スル畏敬スベキ業績ヲ發表セラレ、學界ニ異常ナル衝動ヲ起サシムルト共ニ一導ノ光明ヲ與ヘ其研究ニ多大ナル寄與ヲナシタリ。爾來幾多ノ學者輩出シ、有益ナル業績擧ゲテ數フベカラズ。然リト雖モ治療の方面ニ於テハ結核ニ對スル適切ナル療法ノ發見ハ未ダ暗中摸索ノ狀態ヲ脱シ得ザルハ遺憾トスル處ニシテ將來ニ望ムモ前途ヤ尙遠シト謂フベキナリ。併シナガラ主要文明國ニ於ケル結核死亡趨勢ヲ一瞥センカ、丁抹ハ最近40年間ニ4分ノ1ニ減ジ、北米合衆國ハ30年間ニ約3分ノ1ニ獨逸ハ25年間ニ2、5分ノ1ニ佛蘭西亦2分ノ1餘ニ減少シタリ、然ルニ我國ハ明治32年(1899年)ニ於ケル死亡率ハ主要國中最モ少ナク、當時何レノ國モ人口1萬對20—30又ハヨリ以上ノ死亡者ヲ出シタルニ拘ハラズ、獨リ我國ノミハ15.3タル少數ニ止マリタルモノガ昭和5年—ハ1時ヨリハ幾分減少ノ傾キナキニ非ザルモ尙13.7ト云フ主要國中最多ク且ツ他國ノ著シク減少セルニ反シ却テ増加ノ有様ニアルハ全く主客顛倒ノ現象ト謂フベシ、之ヲ要ス

ルニ結核ハ適切ナル特殊療法トシテ見ルベキ者ナシト雖モ、社會的豫防施設ノ完成ニ依テ其發病ヲ阻止シ早期診斷ニ依テ患者ヲ發見シ及正シキ療養ヲ施スニ依テ佳良ノ經過ヲ取ラシムル事ハ他主要國ノ例ニ徵スルモ明カナル事實ナリ。吾等ハ我國ノ現狀ニ顧ミ轉々感慨ニ堪ヘザルモノアリ。

結核豫防ノ尖端ヲナス者ハ結核相談所ニシテ、之ニ依テ患者ヲ發見シ及患家ニ就キ豫防療養上ノ知識ヲ注入ニ努メ患者ハ之ヲ療養所ニ送り患者、患家、療養所、病院ノ聯絡機關トシテ乃至ハ幼兒ニ對シテ之ヲ傳染ヨリ救フノ注意ヲ拂ハザルベカラズ。

吾等ノ相談事業又此趣旨ニ基キテ作業ニ從フト雖モ、患者收容機關不備ナル現在ニ於テ相談機能ヲ圓滑ニ發揮セシムル又至難ノ狀態ニアリ、吾等ノ相談作業ハ主トシテ患家ヲ訪テ寧ろ監察的ニ之ニ臨ミ多クハ經濟能力ニ惠マレザル彼等ニ對シ幾分ナリトモ療養所療養ニ近キ療養ヲ行ハシムルヲ目標トシテ作業ニ從ヒ患者及其家族ノ啓蒙ニ豫防知識ノ注入ニ消毒方法ノ說示—且ハ療養ノ指導ニ任ジ、固ヨリ其全キハ期シ難シト雖モ其豫防及療養ニ資スル處アレバ吾等ノ望又足レリト謂フベキナリ。

第二章 結核概説

1843年クレンケハ結核ノ傳染病タルコトヲ家兎ニ就キ實驗シタルモ、未ダ病原體ヲ發見スルニハ至ラザリキ、1882年コッホハ人、牛、鶏ノ結核ヨリ一種ノ桿菌ヲ發見シテ之ガ結核ノ病原タルコトヲ證明シ、1884年純粹培養ニ成功シタリ。

結核菌ハ染色上抗酸性ニシテ「チール、チルゼン」染色法—依リ容易—證明スルコトヲ得、木菌ハ5%「グリセリン」寒天、「グリセリン、グイ

ヨン」等ニ培養スルコトヲ得ルモ其發育ハ徐クニシテ30—40度ニ於テノミ繁殖ス、抵抗力ハ可ナリ強ク日光直射ニテ2、3時間、溫度ハ80度—テ5分時90度以上—テハ2分時以内—テ死滅ス。2%昇汞水ヲ24時間働カシムルモ尙死セズ。5%石炭酸水中ニ浸シ攪拌スレバ24時間—テ死滅スベシ。

結核ハ畜ニ人類ノミナラズ牛、羊、馬、犬及鳥類、爬蟲類、兩棲類ニモ感染スルモノニシテ、

從テ之ヲ人型、牛型、禽型、冷血動物型ノ4型ニ區別セラル、人ノ結核ハ主トシテ人型菌ニヨルガ牛型菌モ亦人ニ傳染シ得ルモノ一テ、牛乳榮養兒ニ於テ牛型結核菌ニヨリ結核ノ感染モ可能トセラル。

結核ニ對スル素因

動物ノ種類ニヨリテ素因ヲ異ニシ又個人ニテモ先天性、後天性ノ別アリ、尙組織臟器ニ依テ素因ヲ異ニス、最罹患シ易キハ成人ニ於テハ肺臟、小兒ニテハ淋巴腺、骨、關節比較的多ク又原發性腸結核多シ、而シテ結核ハ遺傳スル如ク見ユルモ、結核性兩親ノ下ニアル小兒ハ其兩親ト共ニ一家ニ居住スル關係上之ニ感染スルモノニシテ、又斯ル兩親ノ間ニ生レタル者ニハ肩胛骨ノ下リタル細長ナル胸廓、滴狀心、淋巴體質等ノ所謂先天性素因ヲ享受スル者多シ、後天的ニハ非衛生的生活、榮養不良、精神の並ニ肉體的疲憊、妊娠、産褥、又ハ「アルコール」中毒、糖尿病、「チフス」、反復セル感冒等ニ依テ結核感染並ニ罹患ハ高メラレ、潜伏性結核モ亦發病ヲ誘起セラル、ニ至ル、其他職業的關係モ結核ノ感染、罹病ニ意義ヲ有スルモノナリ。

而シテ結核ノ罹患率、死亡率ハ非常ニ多ク全人類ノ7分ノ1ハ之ニ罹リ、年齢ハ第1年ニ罹患率少ナク2—6年ニ高率ヲ示シ16—30年ニテ最高率ヲ呈ス。

結核ノ感染及體內傳播

結核ノ感染ハ肺結核ヨリ排出セラル、喀痰ガ重大ナル意義ヲ有ス。コレヲトハ肺結核患者ニ依テ汚染セラレタル其附近ノ大氣、塵埃ヲ危險視シ、フリユルゲハ寧ロ細菌滴即飛沫傳染ヲ主ナルモノトシ、咳嗽ニ依テ結核菌ヲ含メル無數ノ小滴ガ喀出セラレ、之ガ空中ニ飛散浮遊スルニ依ルト主張セラル。

結核ノ感染ハ種々ナル徑路ニ依テ起リ、最モ多キハ呼吸器管ヨリノ結核菌吸入ニ依テ感染セラル、モノニテ、其他消化器官ヲ介シテ行ハレ、又皮膚結核ノ如キハ觸接感染ニ依リ傳ヘラル、且稀ナルモ母體ノ結核病症ガ進行セル場合胎兒

ノ子宮内傳染モ證明セラル。

斯ノ如クシテ體內ニ侵入シタル結核菌ハ原發病竈ヨリ之一屬スル淋巴腺一入り更ニ淋巴路ニ依リテ之ニ連續セル淋巴腺ヲ侵シ、或ハ淋巴腺ニ止マルアリ、又ハ素因ヲ有スル臟器ヲ侵シ、遂ニハ鎖骨下靜脈一入り血路ニヨリテ其他體內諸器官ニ傳播シ所謂全身結核ヲ起スニ至ル。

結核ノ罹患並ニ症狀

結核菌ノ侵襲ヲ受ケ一定ノ臟器ニ病竈ヲ起シ之ニ依テ結核症狀ヲ呈ス。而シテ交通ノ繁キ都邑ニ於テハ成人ノ殆ド98%ハ結核ニ感染シ之ガ爲メ一程度ノ免疫防禦力ヲ生ジ、爾來折々少量ノ結核菌ノ侵入アルモ免疫力ノ存在ニ依テ危險ヲ免ル、モ菌ノ濃厚侵襲ヲ受クルカ又ハ毒性强キ菌ノ襲フアレバ罹患ハ免レ難キニ至ルベシ。チーゲリーハ18年以上ノ者ノ死體ヲ解剖シ98%ニ於テ結核病變ノ存在ヲ認メ是等ノ内臨牀的ニ結核ト診斷セラレタル者ハ28%ニ過ギザリシ、ブッカー、ハンブルゲル等ノ諸氏モ亦之ト大同小異ノ成績ヲ發表セラレタリ。

結核ノ各症ノ輕重ノ判定ニハ1908年ツルバン、ゲルハルトノ時期分類法、1917年ランケガ臨牀上及病理解剖的並ニ組織的ニ研索シテ定メラレタル方法ニテ共ニ三期ニ分タル。

1、初期ニ於テハ其症狀輕微ニシテ結核菌證明多クハ陰性ニシテ輕度ノ頭痛、時ニハ心悸亢進、胸痛ヲ來ス事アリ、不眠、食思不振等ノ如キ神經衰弱様症狀アラハレ、胃腸障礙、輕度ノ發熱アリ、理學的徵候トシテハ聽診ニ於テ吸氣音異常ニ強ク且延長ス。

2、肺炎又鎖骨下ニ輕濁音ヲ呈シ呼氣延長強ク、増進期ニハ癯瘦ヲ徵シ、咳嗽、喀痰ヲ來シ結核菌多クハ陽性ニシテ時ニ喀血ヲ見ル。熱發ハ不規則ニシテ中等ニ高ク盜汗ヲ來ス。斯ル際ニハ聽診ニ於テ氣管枝音著明トナリ且有響性水泡音ヲ認ム。

3、強濁音ヲ呈シ著シキ微弱呼吸音、氣管枝性肺胞音、粗大囉音、有響性囉音等ヲ特徴トス。而シテ喀痰嚥下ニヨリ屢々消化器官系統ノ結核

症ヲ起スコトアリ。

結核ノ診斷及療法

結核ハ早期診斷ニ依テ治癒ニ期待ヲ置クヲ得ベシ、結核診斷ニ重要ナルハ、

1、結核病型ノ識別ニアリ、即其結核ガ如何ナル病型ノモノニ屬スルカ、増殖性ナルカ、將タ滲出性ナルカ、更ニ停止性ナリヤ又ハ進行性ノ傾アリヤ、或ハ潜伏性ナリヤ乃至ハ活動性ナリヤヲ決定スルヲ要ス。

2、結核病竈ノ部位ヲ明ニスルニアリ、從來肺結核ハ好シテ肺尖部ニ發シ肺尖結核ハ初期結核ノ代表的ノ如ク考ヘラレタレドモ、近代ニ於ケル診斷學ハ初期結核ハ必ズシモ肺尖ノミニ來ルニ非ズシテ所謂肺尖結核ハ多クハ豫後ノ比較的佳良ナルヲ示スモノニテ、惡性結核ニ導ク初期變化ハ屢々、肺門部ニ於テ淋巴腺周圍ノ浸潤トシテ始マルモノ、如ク從テ肺結核ノ診斷殊ニ早期診斷ニ際シテハ肺尖ノミニ捉ハレザル様注意スベキナリ。診斷法トシテハ一般理學の診斷法、「レントゲン」線診斷法、「ツベルクリン」検査法ヲ擧ゲザルベカラズ。

一般理學の診斷法ニ於テ視診又觸診ノ際ニ注意スベキハ初期結核患者ニ輕度ノ甲狀腺肥大ノ來ル事ナリ、從テ常ニ甲狀腺ニ注意シ且其機能亢進症ニ注目スルハ意義アルコトナリ。

「レントゲン」線診斷法ハ理學の診斷ト相俟テ重要ナル診斷方法ニシテ本症診斷ニハ缺クベカラザル者ナリ。

「ツベルクリン」診斷法 結核菌ノ侵襲ヲ受クルヤ吾人生體ト菌トノ間ニ起リタル交渉ノ結果結核菌ニ對スル抗體發生シ、過敏現象起リ「ツベルクリン」ニ對シテ反應ヲ呈ス、即チ陽性反應ハ結核既感染者タルコトヲ意味ス。而シテ反應検査トシテピルケー、マントー一局所反應検査法一般ニ採用セラル。

喀痰検査ハ肺結核ノ診斷及豫防上見逃スベカラザルモノナルモ疾病初期ニ於テハ結核菌ヲ發見シ難キ場合多シ。

生物學的、免疫學的の検査法ニハ凝集反應、「オブ

ソニン」指數、補體結合反應、過敏性試験、赤血球沈降速度測定等種々ノ方法アルモモダ信賴スルニ足ラザルノ状態ニアリ、唯最後ノ赤血球沈降速度測定ニ依ル方法ハ診斷ヨリハ寧ろ結核ノ豫後判定上並ニ結核ノ活動度ヲ定ムルニ效果ヲ有スルモノナリ。

治療法ニ關シテハ現今行ハル、療法ノミヲ簡單ニ擧ゲントス。先ヅ最モ多キ増殖性又ハ混合型ノ慢性結核ノ際ニハ其初期ニ於テ一般的、食餌的、衛生的療法ヲ基礎トシテ之ニ、氣候療法、光線療法等ヲ加味シタル療養ヲ行フ、近時無食鹽療法稱ヘラル、モ皮膚結核ニ對シテハ相當效果ヲ呈セル如キモ肺結核ニハ未ダ確定セル奏效ハ認メラレズ尙研究中ノモノナルベシ。更ニ氣胸療法ヲ考ヘザルベカラズ。本人工氣胸療法ハ其適應性ヲ誤ルナクバ信賴スベキ療法ト謂フベキナリ。其他外科的療法、非特異的又特殊刺戟療法、化學的療法、「レントゲン」線療法等應用セラル。病症増進シタル重症患者ニハ對症療法ノ外施スニ由ナク、殊ニ血行性急性粟粒結核又ハ氣管枝結核ニシテ滲出性殊ニ肺炎型ノ急性ノ者等モ亦對症の療法ニ依ル外道ナキヲ遺憾トス。

結核ノ豫防

結核ハ社會病ナリ社會病トシテノ結核ノ豫防ハ個人的、社會的の協力ニ依テ始テ豫防ノ效果ヲ擧グルヲ得ベシ、現今行ハル、豫防方法ハバスターノ流ヲ汲ム免疫法殊ニ小兒ニ對スル處理並ニコッホノ學說ヲ奉ズル消毒及病毒ヲ有スル患者ヲ隔離シテ安全ナル環境ヲ出現セシムルニアリ、而シテ此兩者ヲ根本義トシテ種々ナル社會施設ハ行ハル。

1、結核患者ヲ早期ニ發見シテ之ヲ健康者ト隔離セシメ以テ其周圍ノ安全ヲ圖ラザルベカラズ。

2、結核患者ヲ家庭ヨリ隔離シ能ハザル事情アル場合ニハ小兒ヲ他ノ健康家庭ニ移シ其感染ヲ防グヲ要ス。

3、傳染源タル患者ノ喀痰及着衣、寢具類ニ就

テハ嚴重ニ處理スベキナリ。

4、患者一合理的ナル療養ヲ行ハザルベカラズ。以上ノ目的ヲ達セシムルニハ社會的施設ヲ要ス、即チ患者及家族ニ對シテハ經濟的考慮ヲ拂ヒ輕費若クハ無料ノ方法ヲ以テ是等ヲ處置スベキナリ。

是等ノ方法ヲ實行セシムル爲ニ虛弱兒童養護所、結核相談所、結核療養所、輕快患者及恢復期患者收容所等ヲ設ケテ疾患ノ豫防、療養、保護ニ當ラザルベカラズ。

個人的豫防法トシテハ患者ニツキテ傳染源ノ絶

滅ヲ圖ルト共ニ他方健康者ヲ保護シテ周圍環境ノ衛生的條件ヲ良好ナラシメ、尙身體的抵抗力ヲ増進セシムル等ヲ基礎要件トシテ、而シテ持續的ニ結核患者ト接觸スルコトナキ様注意セザルベカラズ。

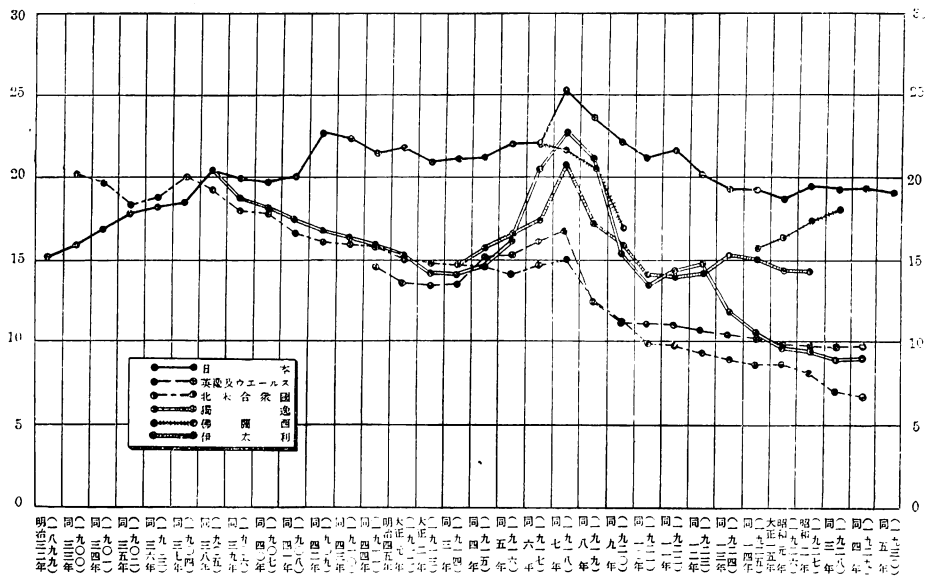
更ニ結核豫防方法トシテカルメットノ所謂B、C、Gヲ以テスル結核豫防接種法ガ學界ノ注意ヲ喚起シツ、アリ。本法ヲ初生兒、初年牛、其他諸種動物ニ應用試験中ナルモ、其價值ニ關シテハ未タ決定的ニハ一致ヲ見サルナリ。

第三章 結核ノ蔓延

主要文明國ニ於ケル結核ノ蔓延狀況ヲ觀察センカ、既ニ緒言ニ略述シタル如ク、歐米ニ於テハ年次其數ヲ減ジ、丁抹、北米合衆國、獨逸、和

蘭、英吉利何レモ其減少率著シク、瑞西、瑞典、伊太利之ニ次ギ我國ノ如キハ實ニ文明國中結核死亡率ノ王座ヲ占ムルモノト謂フベキナリ。

第 1 表 主要國結核死亡比較



甲 主要國ニ於ケル結核蔓延概況
歐米ニ於テ結核蔓延ノ頂點ニ達シタルハ前世紀ノ末ニシテ 1890 年前後ニアリテハ、各國共ニ人口高ニ對シ結核死亡ハ 20—30 名ナリシモノガ

結核豫防運動ノ勃興ニ伴ヒ漸次死亡率ノ減少ヲ來シ、現在ニ於テハ最高時ノ二分ノ 1 以上ニ低下シタル者多キニ至レリ左ニ之ヲ表示セントス。

第 2 表 各國ニ於ケル人口一萬對結核死亡率

國名	年次	死亡率	年次	死亡率	國名	年次	死亡率	年次	死亡率
丁 抹	1890	30.3	1929	7.4	瑞 西	1890	30.8	1930	12.6
北米合衆國	1900	20.1	1929	7.5	瑞 典	1890	29.5	1929	13.1
獨 逸	1905	20.4	1929	8.7	伊 太 利	1895	29.0	1927	14.3
和 蘭	1892	25.0	1929	8.7	諾 威	1891	28.0	1928	15.7
白 耳 義	1890	23.0	1928	9.2	佛 蘭 西	1894	36.0	1928	16.7
英蘭ウエールス	1890	25.6	1929	9.3	チエッコスロバキア	1912	32.0	1929	17.9
スコットランド	1890	25.7	1929	9.4	日 本	1899	15.3	1930	18.7

乙、我國ニ於ケル結核蔓延狀況

我國ニ於ケル結核蔓延狀況ヲ觀ルニ明治32年(1899年)ニハ人口1萬對15.3ノ死亡者ヲ有シタルモノナルガ6年後ノ38年(1905年)ニハ20名、同43年(1910年)22.4名、大正4年(1915年)21.2名、同9年(1920年)22.4名ト云フガ如ク漸次蔓延ノ有様ニシテ同13年(1924年)以降ハ多少ノ差コソアレ19.3ノ數ヲ上下シ略々之ニ落付キ居レルガ如シ、サレド決シテ油斷スベキニ非ズ之畢竟我國ノ豫防施設幼稚ニシテ他ノ主要文明國ト日ヲ同ウシテ語ルベカラザルナリ。以上我國累年結核死亡表ヲ觀ルニ明治41年人口1萬對肺結核死亡率15.5全結核死亡率20.0

ヲ示シタル者が大正7年ニハ肺結核死亡率17.8全結核死亡率25.3ノ著シキ増加ヲ呈シタリ。這ハ大正7、8年ニ於ケル流行性感冒ノ世界的流行ニヨル影響ヲ考ヘザルベカラズ。同12年ニハ肺結核死亡率13.9全結核死亡率20.1ヲ示シタリ爾來僅微ナガラモ幾分死亡率ノ低下ヲ呈シ昭和3年ニハ肺結核13.8全結核19.2ノ死亡率ヲ表ハスニ至ル。而シテ同4年ハ肺結核14.1全結核19.7翌5年ニハ肺結核14.3全結核18.7トナレリ。以上ヲ觀察スルニ昭和5年ニ於テハ全結核死亡率18.7ニシテ幾分減少ノ傾キヲ示シタルモ肺結核死亡率ノ14.3ハ大正12年以來ノ高率ヲ示セルモノトテ注目ニ値ヒスベシ。

第 四 長 道、府、縣

年度別	大正15年、昭和元年						昭和2年						昭和3年					
	肺結核			其他結核			肺結核			其他結核			肺結核			其他結核		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
道府縣別																		
北海道	1915	1728	3643	722	824	1546	2032	1809	3841	781	905	1686	2192	1910	4102	844	886	1730
青森縣	566	527	1093	178	197	375	579	500	1079	191	203	394	635	552	1187	155	185	340
岩手縣	385	354	739	144	215	359	378	333	711	192	219	411	381	313	694	170	200	370
宮城縣	492	465	957	224	254	478	575	474	1049	216	287	503	579	461	1040	217	258	475
秋田縣	448	352	800	116	169	285	469	360	829	136	177	313	438	351	789	124	170	294
山形縣	455	419	874	135	197	332	503	392	895	153	218	371	491	427	918	169	205	374
福島縣	767	692	1459	295	376	671	834	745	1579	298	372	670	822	685	1507	294	352	646
茨城縣	629	505	1134	225	247	472	689	564	1253	238	268	506	723	551	1274	212	255	467
栃木縣	581	475	1056	156	223	379	576	574	1150	150	237	387	591	557	1148	175	230	405
群馬縣	655	793	1448	244	355	579	724	830	1554	208	403	611	687	837	1524	247	383	630
埼玉縣	844	835	1679	267	462	729	843	802	1645	331	433	764	861	761	1622	329	462	791

第 3 表 我國累年結核死亡表

年 次	肺結核死亡數	其他結核死亡數	全結核死亡數	人口一萬對肺結核死亡率	人口一萬對其他結核死亡率	人口一萬對全結核死亡率
明治 41 年	76.589	22.282	98.872	15.5	4.5	20.0
明治 42 年	82.823	30.999	113.822	16.6	6.2	22.8
明治 43 年	82.952	30.551	113.503	16.4	6.0	22.4
明治 44 年	80.766	29.956	110.722	15.7	5.8	21.5
明治 45 年	82.048	32.149	114.197	15.8	6.1	21.9
大正 2 年	80.233	32.659	112.892	15.2	5.8	21.0
大正 3 年	81.414	31.927	113.341	15.2	6.0	21.2
大正 4 年	83.254	32.659	115.913	15.3	6.0	21.3
大正 5 年	86.634	35.177	121.811	15.7	6.4	22.1
大正 6 年	87.952	36.835	124.787	15.7	6.5	22.2
大正 7 年	99.215	41.532	140.747	17.8	7.5	25.3
大正 8 年	93.117	39.448	132.565	16.6	7.0	23.6
大正 9 年	87.102	38.063	125.165	15.6	6.8	22.4
大正 10 年	82.903	37.816	120.719	14.6	6.7	21.3
大正 11 年	85.515	39.991	125.506	14.8	9.9	21.7
大正 12 年	81.547	36.669	118.216	13.9	6.2	20.1
大正 13 年	79.410	34.819	114.229	13.4	5.9	19.3
大正 14 年	81.546	34.410	115.956	12.7	5.6	19.3
大正 15 年	80.330	32.715	113.045	13.3	5.4	18.7
昭和 2 年	85.502	33.937	119.439	13.9	5.5	19.4
昭和 3 年	85.878	33.754	119.632	13.8	5.5	19.2
昭和 4 年	88.440	35.050	123.490	14.1	5.6	19.7
昭和 5 年	86.082	33.553	119.635	14.3	4.4	18.7

結 核 死 亡 調

昭 和 4 年					昭 和 5 年					昭 和 6 年				
肺 結 核		其 他 結 核			肺 結 核		其 他 結 核			肺 結 核		其 他 結 核		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2290	2188	4478	918	1011	1929	2273	1974	4247	918	915	1833	2411	2120	4531
609	559	1168	200	238	438	569	466	1035	171	210	381	646	532	1178
416	329	745	156	262	418	355	317	672	215	211	426	404	320	724
565	501	1066	225	315	540	553	480	1033	239	256	495	644	491	1135
466	392	858	154	180	334	497	346	843	149	172	321	522	370	892
453	445	898	180	234	414	507	456	963	184	219	403	533	480	1013
797	722	1519	323	377	700	808	677	1485	255	352	607	809	728	1537
711	542	1253	223	289	512	667	506	1173	200	261	461	708	545	1253
589	556	1145	185	268	453	543	560	1103	183	254	437	570	500	1070
777	836	1613	240	417	657	700	852	1552	222	389	611	664	807	1471
865	769	1634	328	474	802	843	808	1651	299	464	763	827	784	1611

千葉縣	772	627	1399	253	310	563	821	599	1420	283	298	581	804	595	1399	233	350	633
東京府	4586	3728	8314	1296	1686	2982	4846	4047	8893	1402	1858	3260	4895	4060	8955	1413	1805	3218
神奈川縣	1291	937	2228	365	425	790	1415	1060	2475	387	505	892	1418	1135	2553	396	456	852
新潟縣	1207	1309	2516	367	587	954	1227	1264	2491	362	560	922	1290	1363	2658	372	518	890
富山縣	537	581	1118	209	328	537	512	528	1040	213	360	573	455	509	964	216	356	572
石川縣	641	706	1347	236	535	771	649	678	1327	317	504	821	633	646	1279	236	519	805
福井縣	479	513	992	188	356	544	445	497	942	167	311	478	400	489	889	160	305	465
山梨縣	246	251	497	127	206	333	255	238	493	128	179	307	238	290	528	110	194	304
長野縣	750	831	1581	329	503	832	744	930	1674	343	502	845	795	900	1695	365	492	857
岐阜縣	712	861	1573	258	432	690	760	912	1672	312	474	786	774	965	1739	283	445	728
靜岡縣	1158	1106	2264	321	407	728	1160	1134	2294	339	443	782	1175	1177	2352	338	458	796
愛知縣	1517	1517	3034	559	783	1342	1731	1663	3394	567	841	1408	1850	1791	3641	555	822	1377
三重縣	712	703	1415	225	299	524	805	769	1574	226	323	549	806	831	1637	219	308	527
滋賀縣	462	439	901	186	289	475	539	444	983	171	284	455	549	442	991	189	260	449
京都府	1216	1185	2401	453	719	1172	1271	1243	2514	484	735	1219	1386	1321	2707	482	720	1202
大阪府	2793	2698	5491	774	1234	2008	3359	3050	6409	845	1239	2084	3354	3097	6451	901	1310	2211
兵庫縣	1992	1964	3956	643	957	1600	2140	2120	4260	637	947	1584	2151	2072	4223	613	889	1502
奈良縣	353	279	632	129	145	274	377	309	686	143	177	320	380	329	709	125	195	320
和歌山縣	528	535	1063	149	220	369	609	570	1179	157	196	353	578	539	1117	155	222	377
鳥取縣	255	224	479	81	136	217	266	254	520	109	145	254	289	253	542	97	135	232
島根縣	484	564	1048	153	259	412	492	579	1071	175	272	447	493	591	1084	166	278	444
岡山縣	712	620	1332	297	406	703	820	681	1501	282	403	685	759	673	1432	275	383	658
廣島縣	950	890	1840	406	652	1058	1069	1006	2075	422	656	1078	993	945	1938	416	618	1034
山口縣	754	723	1477	250	370	620	777	750	1527	276	340	616	787	754	1541	231	371	602
德島縣	524	552	1076	137	253	390	500	568	1068	162	258	420	501	615	1116	171	274	445
香川縣	409	472	881	145	279	424	514	499	1013	150	268	418	459	476	935	156	277	433
愛媛縣	751	853	1604	242	399	641	825	866	1691	259	383	642	736	831	1567	232	395	627
高知縣	573	405	778	94	142	236	378	388	766	92	129	221	424	365	789	89	143	232
福岡縣	1601	1512	3113	519	800	1319	1742	1706	3448	494	833	1327	1707	1645	3352	570	883	1453
佐賀縣	454	400	854	122	177	299	454	416	870	140	208	348	427	351	778	127	189	316
長崎縣	896	756	1652	246	281	527	940	779	1719	271	308	579	964	793	1757	268	353	621
熊本縣	966	944	1910	228	346	574	1008	903	1911	235	309	544	992	912	1904	230	301	531
大分縣	597	591	1188	218	360	578	682	650	1332	225	294	519	676	606	1282	208	318	526
宮崎縣	324	350	674	85	131	216	348	376	724	88	136	224	334	357	691	93	139	232
鹿兒島縣	929	853	1782	238	291	529	1019	896	1915	221	274	499	984	917	1901	199	284	483
沖繩縣	500	538	1038	121	158	279	496	550	1046	141	140	281	489	488	977	127	151	278
計	11,168	9,162	20,330	1,335	1,930	3,265	4,197	4,135	8,332	1,119	1,818	3,937	4,345	4,533	8,878	1,052	1,702	3,754
合計			113,045						119,439						119,632			

第五表 職業

年度別	大正15年、昭和元年						昭和2年						昭和3年					
	肺結核			其他結核			肺結核			其他結核			肺結核			其他結核		
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業、畜産、蠶業	13,649	15,017	28,666	5,213	8,124	13,337	14,291	15,114	29,405	5,250	8,022	13,272	14,070	14,985	29,055	5,227	7,752	12,979
林業	67	47	114	21	27	48	61	61	122	30	26	56	72	65	137	25	27	52

810	607	1417	287	314	601	895	622	1517	257	330	587	817	543	1360	267	310	577						
5098	4127	9225	1531	1979	3510	5062	4208	9270	1457	1788	3245	5543	4218	9761	1504	1775	3279						
1587	1183	2770	404	507	911	1419	1090	2509	374	457	831	1569	1129	2698	432	415	847						
1228	1293	2521	411	598	1009	1200	1199	2399	386	545	931	1266	1295	2561	370	578	948						
495	515	1010	178	337	515	489	515	1004	199	309	508	538	483	1021	180	303	483						
691	770	1461	284	558	842	703	713	1416	288	500	788	720	695	1415	294	470	764						
456	536	992	161	310	471	394	515	909	177	318	495	441	454	895	162	306	468						
255	275	530	133	184	317	274	261	535	116	195	311	259	277	536	108	169	277						
816	890	1706	332	521	853	746	794	1540	366	472	838	770	935	1705	354	443	797						
754	1013	1767	262	498	760	781	963	1744	307	460	767	779	996	1775	311	479	790						
1192	1167	2359	328	402	730	1214	1093	2307	331	422	753	1249	1067	2316	324	407	731						
1871	1727	3598	590	846	1436	1750	1648	3398	546	807	1353	1881	1783	3664	578	725	1303						
743	789	1532	220	329	549	781	750	1531	182	266	448	810	811	1621	181	289	470						
556	487	1043	168	261	429	499	437	936	162	232	394	542	476	1018	159	230	389						
1372	1274	2646	468	689	1157	1447	1266	2713	460	689	1149	1506	1382	2888	465	638	1103						
3337	3305	6692	1051	1407	2458	3461	3130	6591	984	1310	2294	3688	3275	6963	925	1265	2190						
2326	2103	4429	664	948	1612	2284	2086	4370	665	872	1537	2366	2068	4434	649	857	1506						
350	356	706	130	177	307	383	351	734	106	166	272	423	296	719	110	157	267						
562	498	1060	160	210	370	596	536	1132	147	230	377	586	519	1105	168	214	382						
324	266	590	109	134	243	268	236	504	108	160	266	307	264	571	106	136	242						
496	602	1098	175	256	431	512	533	1045	162	302	464	500	517	1017	147	235	382						
769	690	1459	249	386	635	707	620	1327	273	380	653	757	644	1401	248	309	557						
1089	939	2028	377	566	943	1032	916	1948	410	538	948	1037	906	1963	408	529	937						
821	767	1588	255	382	637	824	743	1567	254	358	612	819	828	1647	223	316	539						
543	574	1117	154	265	419	478	561	1039	153	225	378	541	601	1142	134	225	359						
429	437	866	145	280	425	472	470	942	155	281	436	492	481	973	143	227	370						
822	922	1744	227	342	569	758	833	1591	231	353	584	822	874	1696	221	343	564						
390	405	795	104	153	257	416	416	832	93	128	221	397	396	793	93	122	215						
1785	1776	3561	584	849	1433	1750	1681	3431	552	839	1391	1827	1705	3532	494	775	1269						
437	414	851	138	191	329	455	389	844	150	199	349	410	389	799	109	176	285						
983	837	1820	277	300	577	988	816	1804	260	312	572	1018	845	1863	266	279	545						
1016	1000	2016	222	283	505	988	951	1939	219	299	518	1038	897	1935	241	286	527						
690	706	1396	232	336	568	659	574	1233	202	300	502	667	596	1263	199	271	470						
355	402	757	102	146	248	355	402	757	76	116	192	392	422	814	91	120	211						
1059	875	1934	222	285	507	1081	885	1966	240	320	560	1046	893	1939	234	286	520						
468	511	979	139	151	290	497	504	1001	132	157	289	505	469	974	131	141	272						
45,563	42,877	88,440	14,605	20,445	35,050	44,933	41,149	86,082	14,215	19,338	33,553	47,086	42,106	89,192	14,111	18,572	32,683						
				123,490								119,635								121,875			

別 結 核 死 亡 調

昭 和 4 年						昭 和 5 年						昭 和 6 年					
肺 結 核			其 他 結 核			肺 結 核			其 他 結 核			肺 結 核			其 他 結 核		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
14,229	15,914	29,543	5,266	8,015	13,281	13,692	14,634	28,326	5,052	7,624	12,676	14,344	14,761	29,105	5,078	7,309	12,387
71	80	151	22	33	55	70	85	155	22	32	54	67	56	123	28	31	59

漁業製鹽業	886	857	1743	231	392	673	926	883	1809	337	378	715	920	860	1780	277	408	685
探鑛冶金業	521	473	994	128	179	307	516	476	992	153	176	329	506	483	989	129	166	295
土石採取業	11	9	20	3	6	9	11	8	19	3	2	5	15	10	25	1	7	8
窯業	201	146	347	69	68	137	208	153	361	60	86	146	222	185	407	70	95	165
金屬工業	972	796	1768	286	359	645	1067	791	1858	302	347	649	1084	799	1883	299	359	658
機械器具製造業	498	358	856	140	157	297	562	385	947	161	173	334	582	302	884	161	208	369
化學工業	124	112	236	33	39	72	136	114	250	43	48	91	144	108	252	36	43	79
纖維工業	858	1909	2767	310	898	1208	1109	2683	3792	329	1027	1356	1036	2641	3677	311	1026	1337
紙工業	194	145	339	50	90	140	185	148	333	62	80	142	163	159	322	62	88	150
皮革骨角甲羽毛品類製造業	78	35	113	12	15	27	69	47	116	18	23	41	74	47	121	24	15	39
木竹具類製造業	922	739	1661	297	345	642	1008	785	1793	351	363	714	890	787	1677	325	370	695
飲食嗜好品製業	506	468	974	206	264	470	520	504	1024	193	253	446	520	457	977	208	237	445
被服身廻品製業	779	592	1371	234	255	489	813	596	1409	264	266	530	908	591	1499	242	250	492
土木建築業	1771	1452	3223	547	679	1226	1947	1531	3478	600	662	1262	1948	1542	3490	680	660	1340
製版印版製本業	436	157	593	98	96	194	522	214	736	93	83	176	535	209	744	117	98	215
學藝娛樂粧飾品製業	132	84	216	37	32	69	164	98	262	47	46	93	135	77	212	45	41	86
瓦斯電氣天然力利用ニ關スル業	236	126	362	52	61	113	249	165	414	66	60	126	279	156	435	73	62	135
其他ノ工業	255	489	744	74	191	265	349	670	1019	107	219	326	455	724	1179	122	277	399
物品販賣業	5235	4646	9881	1629	2399	4028	5452	4789	10241	1809	2579	4388	5389	4826	10215	1815	2496	4311
媒介周旋業	221	146	367	59	63	122	213	127	340	57	65	122	212	159	371	69	76	145
物品貸貸業	20	15	35	12	3	15	28	18	46	5	11	16	15	18	33	4	9	13
旅館飲食店浴業	971	943	1914	316	498	814	1103	1112	2215	356	572	928	1112	1057	2169	324	512	836
其他ノ商業	295	212	507	97	93	190	304	215	519	92	115	207	356	261	617	125	103	228
通信業	242	137	379	70	55	125	305	188	493	86	91	177	295	218	513	79	71	150
運輸業	1576	1340	2916	502	613	1115	1794	1391	3185	545	633	1178	1802	1315	3117	480	595	1075
陸海軍人	162	67	229	75	48	123	165	56	221	101	34	135	133	72	205	70	41	111
官公吏雇傭人	925	671	1596	275	333	608	998	707	1705	323	335	658	1098	746	1844	311	387	698
宗教ニ關スル業	378	256	634	110	91	201	415	232	647	124	108	232	406	253	659	123	111	234
教育ニ關スル業	483	354	837	141	199	340	524	379	903	159	190	349	549	384	933	163	212	375
醫務ニ關スル業	399	428	827	110	219	329	394	482	876	121	211	332	399	480	879	127	225	352
法務ニ關スル業	31	27	58	18	14	32	41	19	60	18	12	30	55	17	72	15	16	31
記者著述業	82	48	130	22	9	31	95	58	153	21	23	44	89	36	125	22	23	45
藝術家	211	115	326	57	47	104	269	100	369	65	54	119	275	129	404	53	50	103
其他自由業	163	187	350	47	104	151	174	172	346	42	61	103	210	224	434	44	84	128
其他有業者	2163	2006	4169	693	890	1583	2369	2117	4486	675	933	1608	2593	2257	4850	722	994	1716
家事使用人	25	65	90	5	21	26	38	62	100	4	21	25	28	95	123	6	27	33
收入ニヨル業	42	42	84	12	24	36	53	39	92	9	26	35	57	42	99	11	20	31
無職業	4025	3226	7251	880	1278	2158	4358	3416	7774	919	1302	2221	4337	3560	7897	948	1382	2330
金融保險業	423	220	643	114	102	216	392	200	592	119	102	221	377	197	574	107	79	186
計	41,168	39,162	80,330	13,335	19,380	32,715	41,157	41,365	85,522	14,119	19,312	33,537	44,313	41,573	85,878	14,052	19,712	33,754
合計			113,045					119,439					119,632					

917	945	1862	336	379	715	902	888	1790	298	356	654	960	979	1939	296	350	646
541	491	1032	154	185	339	429	476	905	140	170	316	399	400	799	105	137	242
11	11	22	1	3	4	15	9	24	4	3	7	10	9	19	5	4	9
253	197	450	87	105	192	274	173	447	71	80	151	235	189	424	62	78	140
1160	877	2037	382	403	785	1097	869	1966	380	401	781	1123	811	1934	304	364	668
548	321	869	146	186	332	462	369	831	142	170	312	541	393	934	147	165	312
134	117	251	39	52	91	125	134	259	42	53	95	149	115	264	34	51	85
1005	2583	3588	332	1085	1417	1036	2380	3416	314	915	1229	1018	2354	3372	296	855	1151
174	153	327	65	85	150	192	159	51	61	71	132	200	154	354	57	70	127
83	58	141	17	24	41	66	39	105	22	16	38	50	50	100	18	14	32
1030	777	1807	379	359	738	1022	767	1789	337	334	671	967	760	1727	349	322	671
558	527	1085	204	282	486	603	498	1101	213	243	456	626	542	1168	224	272	496
879	625	1504	256	265	521	854	701	1555	259	264	523	956	639	1595	243	246	489
1974	1585	3559	625	737	1362	1960	1433	3393	622	725	1347	2003	1447	3450	650	624	1274
546	206	752	115	100	215	501	221	722	134	97	231	561	204	765	92	96	188
124	86	210	37	36	73	125	71	196	24	29	53	122	90	212	43	27	70
284	136	420	65	56	121	245	157	402	64	68	132	236	141	377	61	61	122
455	749	1204	131	284	415	465	670	1135	124	235	359	361	666	1027	120	209	329
5691	4921	10612	1792	2504	4296	5536	4638	10171	1798	2395	4193	5860	4838	10698	1885	2365	4250
196	126	322	54	76	130	240	134	374	52	76	128	217	140	357	51	54	105
21	14	35	5	13	18	16	17	33	8	6	14	25	12	37	5	5	10
1162	1191	2353	382	563	945	1174	1019	2193	376	588	964	1310	1129	2439	342	510	852
356	223	579	142	113	255	347	247	594	122	126	248	360	233	593	132	85	217
341	241	582	103	100	203	346	118	564	79	87	166	317	238	555	81	90	171
1866	1444	3310	625	622	1247	1842	1357	3199	525	600	1125	1908	1449	3357	538	612	1155
163	71	234	80	30	110	154	76	230	94	25	119	241	68	309	99	47	146
1029	779	1808	309	403	712	1030	719	1749	290	339	629	1027	735	1762	292	354	646
431	264	695	102	130	232	433	251	684	129	113	242	416	249	665	119	137	256
586	414	1000	184	212	396	583	421	1004	152	191	343	520	414	934	149	205	354
404	552	956	125	246	371	377	454	831	115	255	370	434	484	918	133	235	368
51	28	79	15	8	23	51	25	76	8	8	16	56	19	75	14	14	28
72	28	100	11	7	18	58	35	93	15	14	29	81	31	112	10	11	21
247	131	378	79	73	152	284	130	414	66	47	113	265	138	403	62	36	98
233	231	464	54	88	142	229	219	448	58	78	136	236	244	480	49	77	126
2695	2413	5108	781	1098	1879	2625	2328	4953	778	962	1740	2673	2388	5061	759	938	1697
13	17	30	2	8	10	2	10	12	5	7	12	4	9	13	—	2	2
58	41	99	13	10	23	59	48	107	21	21	42	70	44	114	17	14	31
4598	3690	8288	984	1361	2345	5042	3894	8936	1090	1415	2505	5747	4289	10036	1038	1404	2442
374	220	594	104	106	210	370	176	546	109	99	208	391	195	586	124	87	211
45.563	42.877	88.440	14.605	20.445	35.050	44.533	41.149	86.082	11.215	19.338	33.553	47.086	42.106	89.192	14.111	18.572	32.683
123.490				119.635				121.875									

第 6 表 年 齡

年 齡 別	大正 15 年、昭和元年									昭 和 2 年									昭 和 3 年								
	結核別			肺結核			其他結核			肺結核			其他結核			肺結核			其他結核								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
0 歳	332	264	596	440	368	808	333	243	576	417	374	791	326	244	570	417	316	733									
1	396	301	697	390	361	751	377	325	702	395	344	739	380	279	659	354	336	690									
2	154	143	297	316	284	600	165	146	311	363	305	668	187	153	340	356	310	666									
3	93	120	213	309	261	570	124	120	244	318	309	627	115	115	230	316	309	625									
4	78	111	189	262	277	539	86	114	200	318	293	611	89	104	193	271	274	545									
5—9	403	701	1104	1040	1301	2341	401	675	1076	1035	1364	2399	423	745	1170	1147	1333	2480									
10—14	966	2792	3758	1061	2168	3229	1030	2939	3969	1156	2188	3344	926	2845	3771	1149	2178	3327									
15—19	7092	9013	16105	2696	4503	7199	7650	10,038	17,688	2789	4653	7442	7536	9931	17,467	2766	4619	7385									
20—24	8032	7529	15,561	2332	3283	5615	8790	8175	16,965	2544	3267	5811	9127	8317	17,444	2506	3223	5729									
25—29	5823	5556	11,379	1347	2028	3375	6491	5794	12,285	1558	2077	3635	6562	6121	12,683	1481	2153	3634									
30—34	3747	3402	7149	773	1174	1947	4047	3544	7591	782	1223	2005	4162	3690	7852	832	1261	2093									
35—39	2751	2416	5167	463	855	1318	3062	2383	5445	520	840	1360	2906	2351	5257	517	834	1351									
40—44	2519	1718	4237	432	663	1095	2537	1775	4332	425	691	1116	2646	1700	4346	406	602	1008									
45—49	2420	1522	3942	397	543	940	2514	1479	3993	394	594	988	2360	1482	3842	423	576	999									
50—59	1985	1249	3234	360	497	857	2119	1393	2422	312	422	734	2194	1218	2412	359	476	835									
55—59	1656	895	2551	255	295	550	1705	863	2568	289	336	625	1690	865	2555	243	313	556									
60—69	2105	1077	3182	331	360	691	2140	1062	3202	352	360	712	2105	1039	3144	360	408	768									
70—79	567	316	883	121	144	265	563	297	860	139	162	301	571	297	868	137	159	296									
80—89	47	34	81	9	14	23	40	47	87	13	15	28	35	35	70	12	21	33									
90以上		2	2	1	1	2	2	2	4		1	1	2	2	4		1	1									
不詳	2	1	3	1	1	2	1	1	2			1	1	1													
計	41,168	33,162	74,330	13,335	19,780	33,115	41,197	41,305	85,502	14,119	19,818	33,937	44,345	41,533	85,878	14,152	19,702	33,754									
合計	113,045						119,439						119,632														

第 7 表 月 別

年 度 別	大正 15 年、昭和元年									昭 和 2 年									昭 和 3 年								
	結核別			肺結核			其他結核			肺結核			其他結核			肺結核			其他結核								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
1 月	3469	3175	6644	1012	1496	2508	3365	3000	6365	1006	1334	2340	3591	3196	6787	1101	1512	2613									
2 月	3226	2904	6130	950	1318	2268	3231	2871	6102	926	1271	2197	3678	3182	6860	1077	1396	2473									
3 月	3600	3276	6876	1118	1518	2636	3715	3228	6943	1024	1544	2568	3999	3555	7554	1126	1528	2654									
4 月	3420	3095	6515	1070	1521	2591	3733	3400	7133	1180	1546	2726	3936	3400	7336	1182	1517	2699									
5 月	3600	3397	6997	1188	1571	2759	4090	3733	7823	1260	1741	3001	3966	3624	7590	1147	1723	2870									
6 月	3606	3269	6875	1202	1698	2900	3896	3455	7351	1204	1728	2932	3522	3301	6823	1205	1675	2880									
7 月	3525	3438	6963	1221	1766	2987	3984	3696	7680	1375	1927	3302	3630	3668	7298	1336	1904	3240									
8 月	3528	3457	6985	1339	1995	3334	3873	3962	7835	1410	2035	3445	3690	3820	7510	1263	1843	3106									
9 月	3404	3512	6916	1157	1798	2955	3671	3758	7429	1357	1889	3246	3678	3625	7303	1267	1904	3171									
10 月	3585	3594	7179	1179	1821	3000	3713	3722	7435	1237	1858	3085	3593	3550	7143	1226	1761	2987									
11 月	3195	3104	6299	973	1497	2470	3440	3325	6765	1086	1488	2574	3492	3370	6862	1050	1538	2588									
12 月	3132	2941	6073	926	1381	2307	3486	3155	6641	1064	1457	2521	3570	3241	6811	1072	1401	2473									
不詳																											
計	41,168	33,162	74,330	13,335	19,780	33,115	41,197	41,305	85,502	14,119	19,818	33,937	44,345	41,533	85,878	14,152	19,702	33,754									
合計	113,045						119,439						119,632														

本表月別結核死亡6ヶ年ヲ通ジテ觀察スルニ(大正15年、昭和元年)ニ於テ6、7、8、9、10ノ5ヶ月。昭和2年ニハ5、6、7、8、9、10ノ6ヶ月。同3年ニモ5、6、7、8、9、10ノ6ヶ月同4年同ク5、6、7、8、9、10ノ6ヶ月、同5年亦5、6、7、8、9ノ5ヶ月ニ於テ死亡率ノ高キヲ見ル即結核死亡ハ夏期溫暖

別 結 核 死 亡 調																	
昭 和 4 年						昭 和 5 年						昭 和 6 年					
肺 結 核			其 他 結 核			肺 結 核			其 他 結 核			肺 結 核			其 他 結 核		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
365	278	643	395	355	750	277	175	452	346	286	632	208	245	453	317	284	601
390	272	662	411	344	755	316	221	537	351	318	669	351	291	642	393	324	717
153	149	302	367	356	723	164	120	284	310	313	623	149	133	282	316	291	607
110	141	251	386	329	715	97	99	196	312	281	593	103	104	207	285	287	572
96	120	216	343	313	656	75	100	175	301	286	590	75	92	167	278	282	560
441	736	1177	1233	1509	2802	451	743	1194	1192	1354	2546	463	638	1161	1203	1328	2531
1032	2916	3948	1143	2199	3342	1014	2741	3755	1148	2070	3218	1002	2662	3664	1065	1891	2956
7875	10,367	18,142	2929	4794	7723	7790	9820	17,610	2794	4445	7239	7751	9945	17,696	2832	4133	6965
9462	8958	18,420	2547	3540	6087	9461	8900	18,361	2693	3419	6112	10,299	9193	19,492	2733	3334	6067
6765	6154	12,919	1498	2001	3499	6696	6018	12,714	1499	1974	3473	6838	5887	12,725	1415	1875	3290
4358	3766	8124	864	1297	2161	4322	3560	7882	797	1237	2034	4749	3745	8494	812	1209	2021
3069	2319	5388	507	878	1385	3007	2146	5153	517	825	1342	3224	2391	5615	539	832	1371
2596	1840	4436	440	630	1070	2611	1731	4342	442	652	1094	2705	1768	4473	414	632	1046
2398	1381	3779	372	522	894	2345	1350	3695	367	565	932	2416	1386	3802	384	501	885
2175	1260	3435	342	475	817	2140	1258	3398	344	433	777	2254	1274	3528	354	476	830
1634	924	2558	258	360	618	1643	861	2504	289	315	604	1805	944	2749	293	335	628
2055	1070	3125	361	383	744	1975	967	2942	375	375	750	2035	1037	3072	368	399	767
544	286	830	141	135	276	496	301	797	124	148	272	525	278	803	99	136	235
45	38	83	8	25	33	48	38	86	11	21	32	42	32	74	11	23	34
						2		2		1	1		1	1			
	2	2				3		3				2		2			
45,563	42,877	88,440	14,605	20,445	35,050	44,833	41,119	86,032	14,215	19,338	33,553	47,086	42,106	89,192	14,111	18,572	32,683
123,490						119,635						121,875					

結 核 死 亡 調																	
昭 和 4 年						昭 和 5 年						昭 和 6 年					
肺 結 核			其 他 結 核			肺 結 核			其 他 結 核			肺 結 核			其 他 結 核		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
3750	3320	7070	997	1461	2458	3844	3411	7255	1163	1475	2638	3858	3366	7224	1059	1302	2361
3491	3070	6561	1050	1342	2392	3392	3128	6520	1040	1380	2420	3720	3172	6892	1020	1215	2235
3952	3558	7510	1162	1612	2774	4084	3552	7636	1166	1569	2735	4223	3519	7742	1107	1407	2514
3949	3503	7452	1186	1559	2745	3890	3532	7422	1202	1688	2890	3895	3419	7314	1110	1475	2585
4049	3663	7712	1247	1686	2933	3997	3787	7784	1286	1722	3008	4109	3624	7733	1220	1573	2793
3874	3670	7544	1241	1683	3009	3698	3393	7091	1287	1765	3052	3987	3483	7470	1225	1633	2858
3891	3819	7710	1440	2012	3452	3892	3496	7388	1353	1805	3158	4033	3618	7651	1315	1803	3118
3743	3920	7663	1455	2014	3469	3681	3636	7317	1319	1898	3217	4128	3806	7934	1318	1808	3126
3705	3819	7524	1313	1946	3259	3712	3530	7242	1200	1651	2851	3823	3790	7613	1281	1723	3004
3856	3690	7546	1237	1841	3078	3586	3425	7011	1127	1609	2736	3951	3625	7576	1224	1750	2974
3633	3537	7086	1157	1637	2794	3491	3095	6586	1061	1423	2484	3604	3362	6966	1166	1505	2671
3670	3392	7062	1120	1567	2687	3666	3164	6830	1011	1303	2314	3755	3322	7077	1066	1378	2444
45,563	42,877	88,440	14,605	20,445	35,050	44,833	41,119	86,032	14,215	19,338	33,553	47,086	42,106	89,192	14,111	18,572	32,683
123,490						119,635						121,875					

*ノ候ニ於テ死亡者ノ多キヲ示ス。而シテ7月ハ大陸ニ於テ氣温高ク内地ハ8月天候ノ安定ヲ缺キ蒸シ暑ク雷鳴アリ是等不安ノ天候ノ刺戟如何ハ影響大ニシテ、氣壓ノ下降又ハニ關係スベシ

農村ニ於ケル結核狀況
我國ニ於ケル結核死亡ノ趨勢ヲ觀察スルニ、大正12年頃ヨリ輕微ナガラモ幾分減少ノ傾ヲ呈シツ、アリ然レドモ多クハ都市ニ於ケル輕退狀

況ニシテ村邑ニ於テハ差シテ影響ヲ受ケザルノミナラズ却テ増加ノ傾キヲ呈セルハ看過スベカラザル事實ナリ。

第8表 都市村邑結核死亡對比

年次	人口五萬以上ノ都市		其他ノ市町村		全結核死亡都市超過	同上比率	年次	人口五萬以上ノ都市		其他ノ市町村		全結核死亡都市超過	同上比率
	肺結核	全結核	肺結核	全結核				肺結核	全結核	肺結核	全結核		
明治41年	28.7	36.9	13.7	17.7	19.3	108.47	大正7年	28.0	39.1	16.0	22.8	16.3	71.49
„ 42 „	28.6	38.6	14.8	20.5	18.2	88.27	„ 8 „	25.3	35.5	14.9	21.3	14.2	66.67
„ 43 „	27.3	36.7	14.8	20.4	16.3	79.90	„ 9 „	24.4	34.5	13.9	20.1	14.4	71.64
„ 44 „	27.8	37.5	14.0	19.3	18.2	94.30	„ 10 „	21.8	31.4	13.1	19.1	12.2	63.87
„ 45 „	28.4	37.9	13.9	19.6	18.3	93.37	„ 11 „	21.6	31.5	13.6	20.2	11.2	56.00
大正元年	26.6	35.5	13.5	18.8	16.7	88.83	„ 12 „	18.4	26.4	13.3	19.3	7.1	36.79
„ 2 „	26.1	35.1	13.5	19.0	16.1	84.74	„ 13 „	17.9	25.6	12.8	18.4	7.2	39.13
„ 3 „	25.7	34.9	13.7	19.2	15.7	81.77	„ 14 „	18.6	26.1	12.9	18.4	7.7	41.85
„ 4 „	26.5	36.1	13.9	19.8	16.3	82.32	„ 15 „	17.8	24.8	12.5	17.6	7.2	40.91
„ 5 „	25.8	35.7	14.1	20.1	15.5	77.11	昭和元年						
„ 6 „													

以上ノ如ク明治41年人口5萬以上ノ都市ニ於テハ全結核36.9ナリシ者が大正5年一ハ36.1ニ昭和元年24.8ニ減少シ、其他ノ市町村ニ於テハ同ク17.7ノモノが大正5年19.8ニ増シ昭和元年ニハ17.6ニ減ジタルモ、全結核死亡都市超過率ハ明治41年108.47、大正5年82.32、昭

和元年40.91ト云フ著シキ差異ヲ來セルハ畢竟都市ニ於テハ漸次結核減少ノ傾キヲ示セルニ拘ラズ町村ニ於テハ却テ増加ノ有様ニテ其比率ニ於テ斯ノ如キ大ナル隔ヲナスニ至リタル者ナルベシ。

第9表 農村ニ於ケル結核患者(内務省調査7ヶ村、地方廳調査72ヶ村)

類別	検査人員			肺結核			其他結核		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
實數	78,345	79,456	157,801	361	466	827	81	109	190
検査人員千ニ付				4.6	5.9	5.2	1.0	1.4	1.2

第10表 農村ニ於ケル結核死亡(調査時既往10ヶ年間、調査村數77ヶ村)

實數	男	女	計	肺結核		
				結核性腦膜炎	腸結核	爾他臟器結核
	845	929	1774			
	97	63	160			
	206	376	582			
	84	73	157			
總ニ付	45.9	52.6	49.2			
死亡千	5.3	3.6	4.4			
	11.2	21.3	16.1			
	4.6	4.1	4.4			
計(全結核)	67.0	81.6	74.3			

我國ノ標準的農村ニ於テ検査人員千ニツキ、男肺結核4.6人其他ノ結核1.0人計5.6人、女肺結核5.2人、其他ノ結核1.4人、計7.3人ノ結核患者ノ存在スルヲ知り得ベク男女ヲ平均スレバ5.2人ノ肺結核1.2人ノ其他結核ニテ計6.4人ノ結核患者ヲ推算シ得ベシ。而シテ第9表ニ示セル如ク農村結核患者平均率(男女)人口千ニ付6人±分ナルヲ以テ我國全農村住民3,3983,662人ノ中217,495人強ノ結核患者ノ存在ヲ推定ス

ルコトヲ得ルナリ。

次ニ農村ニ於ケル結核死亡率ニ於テ男ハ肺結核45.6、結核性腦膜炎5.3、腸結核11.2、其他結核4.6ニシテ全結核ハ67.0女ハ肺結核52.6、結核性腦膜炎3.6、腸結核21.3、其他結核4.1ニシテ全結核ハ81.6ナリ。而シテ男女ヲ平均

スレバ74.3トナルベシ。

以上結核患者及死亡調査ニ徴スルニ農村ノ結核ハ男子ヨリハ女子ニ多ク此現象ハ我國ニ於ケル結核豫防上看過スベカラザル意義ヲ有スルモノト云フベキナリ。

第11表 小學校教員健康狀況調査(自大正12年 至昭和3年) 文部大臣官房體育課

甲 號

道府縣	男女	卒業者	病休	病退	死亡	道府縣	男女	卒業者	病休	病退	死亡
北海道	男女	172	18	1	9	静岡	男女	164	5	2	5
	男女						男女	74	2	1	2
青森	男女	82	1	2	7	愛知	男女	195	3	2	9
	男女	33		4	2		男女	113		11	4
岩手	男女	35	3	3	3	三重	男女	135	1	3	1
	男女	49					男女	75	1	3	
宮城	男女	83	3	5	4	滋賀	男女	102	10	1	3
	男女	78	6		3		男女	73		3	3
秋田	男女	56			2	京都	男女	91	5		1
	男女	76	2	2	1		男女	64	4	2	
山形	男女					大阪	男女	225	10	3	1
	男女						男女	133	3	5	3
福島	男女	99	3	5	2	兵庫	男女	204	6	5	4
	男女	79	1	2	2		男女	36			2
茨城	男女	87	6	2	6	奈良	男女	80	8	2	2
	男女	54			3		男女	76	5	1	3
栃木	男女	95	2	1	3	和歌山	男女	100	2	1	
	男女	97	8	6	3		男女	38	3		1
群馬	男女	78	3	1	2	鳥取	男女	93	2	1	3
	男女	25					男女	33			4
埼玉	男女	138	4	6	1	島根	男女	66		2	4
	男女	99	3	3	1		男女	73	1		5
千葉	男女	98	13			岡山	男女	107	2	1	1
	男女	69	5	1			男女	89	2	1	2
東京	男女	242	7	1	8	廣島	男女	173		2	1
	男女	143		2	3		男女	112	4	2	5
神奈川	男女	94			3	山口	男女	133	5	3	7
	男女	73		1	6		男女	40		3	3
新潟	男女	183		2	6	徳島	男女	72	2	4	5
	男女	72		9	1		男女	28			
富山	男女	98		3	7	香川	男女	90	4		2
	男女	77		3	3		男女	63	6		
石川	男女	94	1	4	1	愛媛	男女	77	3	4	2
	男女	62	2	2	3		男女	74	9	2	1
福井	男女	89	3	4	3	高知	男女	56	4		3
	男女	73	1	7	2		男女	100	9	5	
山梨	男女	47			3	福岡	男女	265	4	2	2
	男女	31					男女	218	1		2
長野	男女	63			4	佐賀	男女	72	1		1
	男女	72	4	3			男女	57			1
岐阜	男女	103	1		6	長崎	男女	122	4	1	3
	男女	68	2	1	3		男女	73	2	1	2

熊本	男女	191 87	4 2	9 11	8 7	沖繩	男女	72 24	5	5 4	1 1
大分	男女	162 76	3 4	5 5	3 1	計	男女	5266 3290	167 117	95 126	154 89
宮崎	男女	65 63	1 9	8	1	合計		8556	284	243	234
鹿児島	男女	120 76	5 16	1 7	1						

乙 號

病名	男女	病休	病退	死亡	計	病名	男女	病休	病退	死亡	計
肺結核	男女	22 6	37 11	71 21	130 38	神經衰弱	男女	38 45	22 63	3 4	63 112
肺尖「カタル」	男女	27 16	22 24	3 5	52 45	神經痛	男女	2	1		2 1
咽喉結核	男女	2	2	7 1	11 1	腦膜炎	男女		2	3	2 5
他ノ結核	男女	1 2	1	6	1 9	脊髄炎	男女		2		2
腹膜炎	男女	2 3	3	5 6	7 12	癩	男女		1		1
痔瘻	男女	2		2	4	「ヒステリー」	男女	2 1			2 3
「カリエス」	男女	4 2	1 1	3 1	8 4	他神經系病	男女	1		2	1 1
肋膜炎	男女	49 11	14 6	25 18	88 35	精神病	男女	1		1	1
氣管枝炎	男女	3 5	3 3	1 1	7 9	脚氣	男女	3 2	2	6 1	9 5
肺炎	男女	1 1		4 1	5 2	「ロイマチス」	男女	1	2		3
流行性感冒	男女			1	1	糖尿病	男女		1	1	1 1
他ノ呼吸器病	男女	1	1	6	1 7	膿毒症	男女				
腸「チフス」	男女	2		5 8	7 8	耳鼻咽喉病	男女	2	1	1	4
胃腸病	男女	5 3	1 5	9 3	15 11	眼科病	男女	1	2		3
盲腸炎	男女	4		1	4 1	皮膚科病	男女	1			1
他消化器病	男女	1	1	2	3 1	産婦人科病	男女	5	9	7	21
外傷	男女			3	3	變死	男女			1 1	1 1
關節病	男女		1		1	不詳	男女	5 5	12 11	24 5	41 21
他ノ外科的疾患	男女			5	5	計	男女	178 119	118 152	189 102	485 373
心臟病	男女	1		2	3	全結核疾患	男女	199 40	76 46	116 58	301 144
腎臓病	男女	5	1	1	7	全結核男女計	男女	149	122	174	445
他泌尿器病	男女	1 1		1	2 2						

本表甲號=掲ケタル卒業生數ハ大正13年3月ノ卒業ニシテ其後5ヶ年間ニ病氣休職及死亡ニヨリ教鞭ヲ取ル能ハザルニ至リシ者男子416名、女子332名ニテ男子ニアツテハ卒業生ノ79%女子ハ10.1%ヲ占ム乙號ヲ觀ルニ教職ヲ退ク主ナル疾病ハ男女共ニ結核性疾患ニシテ教員結核死亡率ハ男61%、女子56%ナリ。小學校教員ノ結核ハ教員自己ノ保健上ヨリ又日々接觸シテ訓育ヲナス爲兒童養護上深甚ノ考慮ヲ要スルモノトス

第 12 表 男女師範學校生徒病休病缺病類別調

文部省學校衛生課

年 度 別	大 正 15 年 度						大 正 15 年 度					
	男子師範		女子師範		合計	男子師範		女子師範		合計		
學 校 別	在籍數	患者數	在籍數	患者數		在籍數	患者數	在籍數	患者數		在籍數	患者數
病 類 別	種 別 數											
結核性疾患	肺結核(肺尖「カタル」ヲ含ム)		179		129	308		212		109	321	
	肋 膜 炎	30340	336	14253	95	431	32863	469	15757	108	577	
	腹 膜 炎		26		12	38		24		17	41	
	其 他 結 核		9		1	10		17		2	19	
	計		550		237	787		722		236	958	
其他傳染病及一般疾患		522		221	743		550		216	766		
合 計	30340	1072	14253	458	1530	32863	1272	15757	452	1724		
在籍數ニ對スル結核患者百分率		18.13		16.63	17.65		21.96		15.04	19.70		
在籍數ニ對スル傳染病一般病百分率		17.27		15.51	16.68		16.34		13.70	15.75		
在籍數ニ對スル患者百分率		35.33		32.34	34.33		38.71		28.68	35.47		

師範學校生徒ノ病休、病缺ヲ吟味スルトキハ 14 年度ニ於テ結核性疾患 17.65。其他傳染性及一般疾患 16.68 ニシテ 15 年度ニハ結核性 19.70。其他疾患 15.75 ニシテ結核性疾患ノ一般疾患ヲ凌駕スルコト大ナルヲ見ル。

第 13 表 東京府立師範學校生徒疾患調

疾 患	年次 (昭和)	A 師 範			B 師 範			C 師 範			合 計		
		人員	患者數	百分率	人員	患者數	百分率	人員	患者數	百分率	人員	患者數	百分率
肺結核、肋膜炎	5 年	328	12	3.68	467	24	5.14	169	3	1.76	964	39	4.05
	6 年	341	11	3.23	290	8	2.76	144	—	—	775	19	2.45
	7 年	320	16	5.00	481	6	1.25	99	—	—	900	22	2.44
感冒、氣管枝炎	5 年	328	11	3.35	467	58	12.42	169	—	—	964	69	7.16
	6 年	341	13	3.81	290	5	1.72	144	—	—	775	18	2.35
	7 年	320	17	5.31	481	12	2.49	99	8	8.08	900	37	4.11
扁桃腺炎、「アデノイド」、淋巴腺炎	5 年	328	5	1.52	467	14	3.00	169	3	1.78	964	22	2.28
	6 年	341	11	3.23	290	7	2.41	144	—	—	775	18	2.19
	7 年	320	4	1.12	481	2	0.42	99	1	1.01	900	7	0.78
胃腸病、盲腸炎、腹膜炎、寄生蟲痔疾	5 年	328	10	3.05	467	86	18.42	169	33	19.53	964	129	13.38
	6 年	341	7	2.05	290	124	42.76	144	—	—	775	131	16.90
	7 年	320	11	3.44	481	216	44.91	99	6	6.06	900	233	25.89
「ダフテリア」「チフス」、麻疹、猩紅熱、流行性感冒	5 年	328	106	32.32	467	291	62.31	169	88	52.07	964	485	5.31
	6 年	341	40	11.73	290	370	127.57	144	19	13.19	775	429	5.54
	7 年	320	21	6.56	481	658	136.80	99	1	1.01	900	503	55.89
其他内科疾患	5 年	328	5	1.52	467	26	5.57	169	18	10.65	964	49	5.09
	6 年	341	8	2.35	290	47	16.21	144	17	11.81	775	72	9.29
	7 年	320	4	1.25	481	324	67.36	99	2	2.04	900	330	3.67
眼疾患、「トラホーム」	5 年	328	—	—	467	6	1.28	169	3	1.78	964	9	0.93
	6 年	341	—	—	290	4	1.38	144	—	—	775	4	5.16
	7 年	320	1	0.31	481	2	0.42	99	—	—	900	3	0.34

耳鼻疾患	5年	328	3	0.91	467	24	5.14	169	—	—	964	27	2.89
	6年	341	—	—	290	6	2.07	144	1	0.69	775	7	9.03
	7年	320	1	0.31	481	2	0.42	99	2	2.02	900	5	5.56
皮膚疾患	5年	328	2	0.61	467	5	1.07	169	—	—	964	7	0.73
	6年	341	4	1.17	290	15	5.17	144	—	—	775	19	2.45
	7年	320	—	—	481	14	2.91	99	—	—	900	14	1.56
外科疾患	5年	328	1	0.30	467	13	2.78	169	1	0.59	964	15	1.55
	6年	341	3	0.88	290	23	7.93	144	—	—	775	26	3.51
	7年	320	8	2.50	481	53	11.02	99	—	—	900	61	6.78
其他疾患	5年	328	1	0.30	467	8	1.71	169	—	—	964	9	0.93
	6年	341	—	—	290	10	2.45	144	—	—	775	10	1.28
	7年	320	—	—	481	2	0.42	99	2	2.02	900	4	0.44
合計	5年	328	156	47.56	467	555	118.84	169	159	94.08	964	870	90.25
	6年	341	97	28.45	290	619	213.45	144	37	25.69	775	753	77.16
	7年	320	83	25.94	481	1,291	268.40	99	22	12.22	900	1396	155.11

東京府立三師範學校生徒疾患中殊ニ結核性疾患ヲ吟味スルニ生徒員數ニ對シ昭和5年4.05同6年2.45同7年2.44ノ百分率ヲ示シタリ。之ヲ内閣統計局結核死亡率ヲ見ルニ昭和5年ニ於テ人口一萬對18.7ヲ擧ゲラル。今假リニ死亡者ノ10倍ヲ患者トシテ見ルトキハ187名トナルベシ。而シテ同5年ニ於ケル三師範學校結核性患者ヲ萬分率ニ換算スルトキハ405トナルベシ之ヲ死亡統計ニヨル患者假定數187ト比較スルトキハ實ニ2.17倍トナルベシ。即チ一般人ニ比シ2倍以上ノ患者ノ發生ヲ見タル割合ナリ。

第14表 中等學校生徒病休病缺狀況 文部大臣官房體育課(昭和4年3月)

病 類 別	年 度	中 學 校		實 業 學 校		高 等 女 學 校		
		實 數	比 率 %	實 數	比 率 %	實 數	比 率 %	
結 核 性 疾 患	肺炎「カタル」	大正 14 年	256	63.7	120	65.5	151	52.7
		15 年	295	65.5	132	67.0	180	55.0
	肺 結 核	14 年	58	14.4	28	15.2	48	16.7
		15 年	63	13.9	34	17.2	73	23.1
	他臟器結核	14 年	2	0.5	—	—	3	1.0
		15 年	4	0.9	—	—	2	0.6
疾 患	他結核性疾患	14 年	11	2.7	7	3.8	16	5.5
		15 年	22	4.7	11	5.5	17	5.2
	肋 膜 炎	14 年	908	223.5	467	200.4	670	233.8
		15 年	1033	251.5	484	246.3	655	200.3
	腹 膜 炎	14 年	83	20.6	48	26.2	138	48.1
		15 年	110	24.4	43	21.7	164	50.1
傳 染 病	痔 瘻	14 年	12	2.9	7	3.8	—	—
		15 年	16	3.9	7	3.5	2	0.6
	腸「チフス」	14 年	165	41.0	73	39.8	219	76.4
		15 年	138	30.7	87	45.2	194	50.9
	「パラチフス」	14 年	18	4.4	14	7.9	5	1.7
		15 年	11	2.4	7	3.5	10	3.1
病	猩 紅 熱	14 年	4	0.9	—	—	15	5.2
		15 年	4	0.9	1	0.5	2	0.6
	赤 痢	14 年	2	0.5	1	0.5	4	1.4
		15 年	6	1.3	2	1.0	11	3.4
病	「ヂフテリー」	14 年	—	—	—	—	1	0.3
		15 年	—	—	—	—	3	0.9
病	流行性腦脊髄膜炎	14 年	—	—	—	0.5	—	—
		15 年	—	—	—	—	—	—

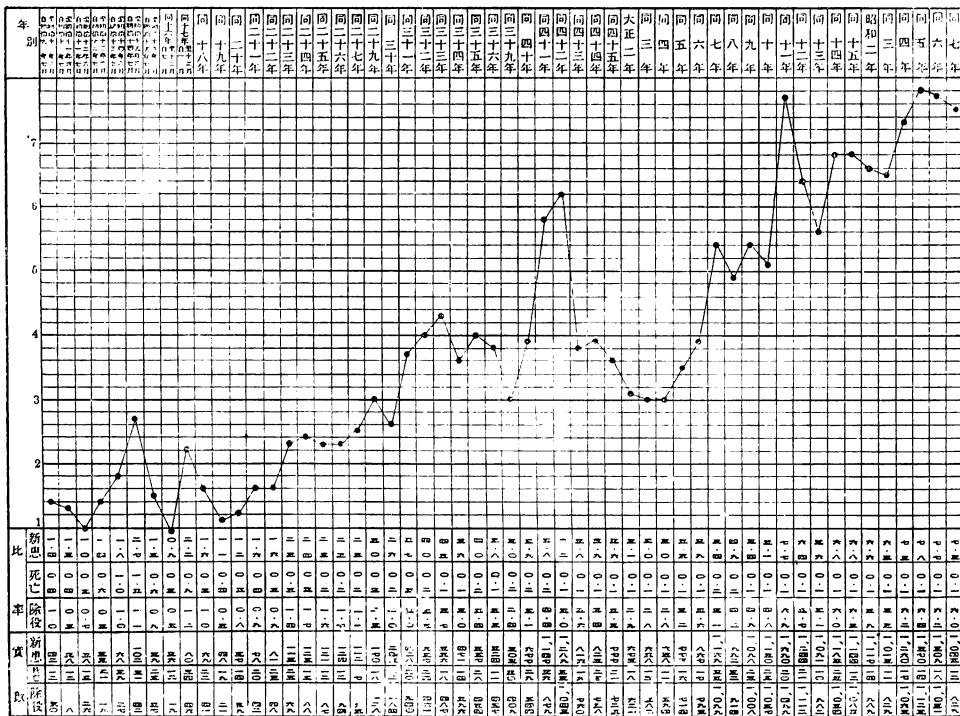
流行性感	大正14年	55	13.6	13	7.1	28	9.7
	15年	46	10.2	16	7.6	34	10.4
「マラリヤ」	14年	—	—	4	2.1	1	0.3
	15年	1	0.2	—	—	4	1.2
其他ノ傳染性疾患	14年	5	1.2	2	1.0	3	1.0
	15年	11	2.5	2	1.0	5	1.6
肺炎	14年	62	15.4	40	21.8	46	16.0
	15年	70	15.5	37	18.8	77	22.3
氣管枝「カタル」	14年	141	35.1	58	31.6	158	55.1
	15年	154	34.2	66	34.5	213	65.1
他ノ呼吸器疾患	14年	34	8.5	13	7.1	40	13.9
	15年	41	9.1	6	3.0	48	14.6
胃腸疾患	14年	212	52.8	90	49.1	155	54.1
	15年	226	50.2	110	55.8	169	51.6
盲腸蟲様突起炎	14年	92	22.9	31	16.9	61	21.2
	15年	109	24.2	51	25.9	85	26.0
他ノ消化器疾患	14年	43	10.7	16	8.7	10	3.5
	15年	62	13.8	26	13.2	11	3.4
心臟疾患	14年	52	12.9	42	22.9	103	36.0
	15年	92	20.4	38	19.3	117	35.8
循環器疾患	14年	15	3.7	11	6.0	13	4.5
	15年	21	4.7	11	5.6	23	7.0
腎疾患	14年	81	21.6	40	21.8	88	33.7
	15年	111	24.7	42	21.3	112	34.3
他ノ泌尿器疾患	14年	10	2.4	4	2.2	—	—
	15年	9	2.0	8	4.1	6	1.8
神經衰弱	14年	756	188.2	290	158.4	191	66.7
	15年	808	179.5	290	147.4	232	71.0
脊髓疾患	14年	8	1.9	2	1.1	3	1.0
	15年	9	2.0	3	1.5	13	4.0
腦膜疾患	14年	6	1.4	4	2.2	6	2.0
	15年	12	2.7	4	2.0	6	1.8
神經痛	14年	13	3.2	10	5.5	25	8.7
	15年	20	4.4	8	4.1	19	5.8
癲癇	14年	5	1.0	—	—	2	0.7
	15年	1	0.2	3	1.5	3	0.9
他ノ神経系疾患	14年	10	2.4	9	5.0	23	8.0
	15年	14	3.1	18	9.0	21	6.3
精神病	14年	1	0.2	3	1.5	1	0.3
	15年	1	0.2	1	0.5	1	0.3
外傷	14年	78	19.4	31	16.9	19	6.6
	15年	86	19.1	40	20.3	21	6.4
骨關節疾患	14年	69	17.1	42	22.9	32	10.5
	15年	62	14.0	44	22.4	58	17.7
「カリエス」	14年	21	5.2	8	4.4	15	5.0
	15年	33	7.3	13	6.6	25	7.6
筋疾患	14年	10	2.4	8	4.4	12	4.2
	15年	26	5.8	18	9.1	12	3.7
他ノ外科的疾患	14年	22	5.4	13	7.1	15	5.2
	15年	26	5.8	10	5.1	22	6.7
血液病	14年	2	0.5	2	1.1	4	1.3
	15年	1	0.2	—	—	2	0.6
内分泌腺異常	14年	1	0.2	1	0.5	4	1.3
	15年	—	—	—	—	5	1.5
脚氣	14年	189	47.1	106	57.8	81	28.3
	15年	168	37.3	103	52.3	78	23.8
感冒	14年	67	16.7	26	14.2	116	40.5
	15年	103	22.9	24	12.2	123	37.6
「ロイマチス」	14年	22	5.5	10	5.5	25	8.7
	15年	18	4.0	9	4.5	43	13.2

貧血	大正14年	2	0.5	—	—	13	4.5
	15年	4	0.9	1	0.5	7	2.1
栄養不良	14年	7	1.7	1	0.5	13	4.5
	15年	7	4.5	7	3.5	10	3.1
他ノ全身病	14年	4	1.0	—	—	—	—
	15年	—	—	2	1.0	3	0.9
体内寄生蟲病	14年	4	1.0	1	0.5	8	2.8
	15年	10	2.2	2	1.0	8	2.4
耳鼻咽喉科	14年	201	50.2	70	38.2	116	40.5
	15年	260	57.7	86	43.7	140	45.8
皮膚病	14年	13	3.2	6	3.2	15	5.2
	15年	14	3.2	8	4.0	25	7.6
眼病	14年	59	14.7	38	20.7	74	25.8
	15年	54	12.0	33	16.7	79	24.1
其他	14年	3	0.7	1	0.5	2	0.6
	15年	1	0.2	1	0.5	9	2.7
不明	14年	116	28.9	18	9.8	74	25.8
	15年	107	23.7	17	8.6	69	21.1
合計	14年	4016	—	2865	—	1968	—
	15年	1831	—	450	—	3269	—

中等學校生徒ノ病類別ヲ觀察スルニ男女ヲ通ジテ肋膜炎ハ絶對多數ヲ占メ全病休、病缺者ノ4分1乃至5分1ナリ。尙肺炎「カタル」、肺結核、臟器結核、肋膜炎、腹膜炎、痔瘻等ヲ結核性疾患トシテ一括シテ考フルトキハ全病休、病缺ノ3分1強ハ結核性ノモノト謂フベキナリ。

第15表 全軍肺結核累年比較圖表 平均1日人員1000ニ對スル比率

陸軍ニ於ケル結核患者消長ヲ吟味スルニ大正4年ニ於テハ新患者實數638、比率3ナリシモノガ昭和7年(5年ヨリハ數ニ於テ335名、率ニ於テ3分ヲ減セリ)度ニ於テ新患者數1045比率7.5ノ如キ著シキ増加ヲ來シタリ。(陸軍省醫務局衛生課調査)



備考 1、明治19年ヨリ休業患者ノミヲ掲ゲ同30年ヨリ就業患者ヲモ掲上、同39年ヨリ就業4日以上ヲ掲上、同40年ヨリ練兵休乗馬休以上ノ患者ヲ掲上ス。
2、明治28年、同37、8年ハ戦役ノ爲メ調査ノ異ニスルヲ以テ之ヲ省ク。

第 16 表 帝國海軍軍人結核及人員千對比率表

年次	肺 結 核				肺 炎				耐 他 結 核				全 結 核											
	患者 比率	死亡 比率	免除 比率	患者 比率	死亡 比率	免除 比率	患者 比率	死亡 比率	免除 比率	患者 比率	死亡 比率	免除 比率	患者 比率	死亡 比率	免除 比率									
大正6年	334	5.22	20	0.34	275	4.72	273	4.69	—	45	0.77	146	2.51	17	0.29	40	0.69	723	4.14	48	0.31	360	2.06	
7 "	326	5.50	47	0.79	287	4.72	383	6.46	1	0.02	93	1.57	217	3.66	28	0.47	24	0.41	826	5.21	76	0.43	295	2.72
8 "	433	6.88	45	0.72	419	6.66	499	7.93	—	133	2.11	244	3.88	21	0.33	45	0.72	1176	6.23	66	0.52	596	3.16	
9 "	424	6.73	52	0.83	382	5.74	360	5.71	—	99	1.57	242	3.84	22	0.35	35	0.56	1026	5.43	74	0.69	996	2.62	
10 "	435	6.09	47	0.65	412	5.74	383	5.06	2	0.03	90	1.25	253	3.52	43	0.60	60	0.84	1051	5.55	92	0.43	573	2.61
11 "	426	6.15	74	1.07	319	4.60	347	5.01	1	0.01	101	1.46	349	5.03	55	0.79	123	1.77	1122	5.38	118	0.62	555	2.61
12 "	455	7.00	52	0.80	341	5.25	401	6.17	1	0.02	113	1.71	280	4.31	38	0.59	83	1.23	1136	5.83	91	0.47	506	2.53
13 "	498	7.70	68	1.05	386	5.97	358	5.54	1	0.02	82	1.27	244	3.77	41	0.63	93	1.44	1094	5.67	110	0.53	601	2.89
14 "	401	6.16	81	1.24	344	5.28	350	5.38	3	0.05	122	1.87	251	3.86	38	0.58	53	0.81	1002	5.13	122	0.62	487	2.65
15 " 昭和元年	384	5.60	52	0.76	293	4.27	159	3.78	—	90	1.31	234	3.41	38	0.55	51	0.74	977	3.93	90	0.43	405	3.17	
2 "	439	6.39	70	1.02	404	5.88	237	3.45	—	61	0.89	261	3.80	41	0.60	52	0.76	937	4.55	111	0.81	517	0.84	
3 "	403	5.62	59	0.82	294	4.10	227	3.17	1	0.01	45	0.63	272	3.79	29	0.40	67	0.93	902	4.46	89	0.41	406	1.89
4 "	452	60.1	80	1.06	352	4.98	187	2.49	—	39	0.52	264	3.51	39	0.52	49	0.65	903	4.27	119	0.52	440	1.95	
5 "	482	6.27	75	0.98	361	4.70	170	2.21	—	26	0.34	256	3.33	48	0.62	88	1.14	908	4.41	123	0.85	375	1.95	
6 "	524	6.71	112	1.43	389	4.98	225	2.88	—	17	0.22	372	4.76	72	0.92	63	0.82	1021	4.46	184	0.99	469	2.03	
計	6386	6.27	934	0.90	5238	5.16	4619	4.66	10	0.01	1126	1.17	3888	3.80	56	0.55	900	0.90	1494	4.98	1513	0.58	7582	2.35

海軍軍人結核疾患ニ於ケル15年間ノ消長ヲ觀ルニ其經過路ニ於テ多少ノ増減アリト雖モ大體ニ於テ大差ナキモノトス。

第 17 表 昭和 5 年度各生命保險會社被保人結核死亡調 日本保險醫學協會

保險會社名	總死亡	結核死亡	比率	保 險 金 額	
				總 死 亡	結 核 死 亡
明 治 生 命	4334	762	16.81	7,915,336 ^円	1,330,567,98
帝 國 生 命	4707	953	20.25	5,378,205	1,089,086,51
日 本 生 命	7579	1415	18.67	9,110,812	1,700,988,60
太 陽 生 命	1202	194	16.14	926,480	149,533,87
有 隣 生 命	1928	337	17.48	1,418,657	247,981,24
安 田 生 命	2481	350	14.11	3,078,300	434,348,13
日本共立生命	451	107	23.73	388,238	92,128,88
仁 壽 生 命	2512	391	15.57	2,511,932	391,107,81
共 存 生 命	2136	376	17.60	1,758,659	309,523,98
愛 國 生 命	1693	295	17.42	1,655,736	288,429,21
東 洋 生 命	1525	238	15.61	1,664,408	259,814,09
大 同 生 命	2607	542	20.79	2,577,800	535,924,62
第 一 生 命	2044	680	33.29	5,146,592	1,712,271,16
千代田生命	2920	800	27.40	7,444,325	2,039,745,05
日 清 生 命	1211	277	22.87	1,403,600	321,003,32
橫 濱 生 命	722	157	21.64	793,607	172,133,30
住 友 生 命	461	108	23.13	825,814	191,010,78
國 光 生 命	1256	299	23.81	1,074,981	295,952,98
福 壽 生 命	476	117	24.58	409,751	100,916,80
富 士 生 命	678	126	18.58	580,780	107,908,92
太 平 生 命	935	186	19.89	900,178	179,045,40
東 海 生 命	872	146	16.74	851,984	142,622,12
蓬 萊 生 命	445	69	15.51	358,000	55,525,80
福 德 生 命	804	174	21.64	944,650	204,422,26
常 盤 生 命	820	166	20.24	874,145	176,926,95
大 正 生 命	916	183	19.98	1,113,682	222,513,66
中 央 生 命	347	65	18.73	324,401	60,760,31
大 安 生 命	279	41	14.70	246,425	36,224,48
三 井 生 命	555	116	20.90	967,316	202,169,04
日 華 生 命	1873	344	18.37	1,858,127	341,337,93
東 華 生 命	134	25	18.66	100,582	18,768,60
戰 友 共 濟	82	21	25.61	9,257	2,370,72
日本醫師共濟	549	113	20.58	934,000	192,217,20
壽 生 命	164	35	21.34	213,994	45,669,32
片 倉 生 命	774	165	21.32	767,391	163,607,76
合 計	32,680	10,373	19.69	6,658,145	13,099,391,75

備考 本表ハ昭和5年度35會社ノ營業報告ニヨルモノニテ結核死亡金額ハ明細ナキヲ以テ假ニ金額ノ割合ハ人員ニ於ケル其割合ト同一ナリト見做シ總死亡人員ニ對スル結核死亡人員ノ率ヲ求メ其率ヲ總保險金額ニ乘ジテ各會社毎ニ算出シタルモノナリ。

昭和5年帝國死亡統計ニヨル總死亡ハ1,170,867ニシテ全結核死亡ハ119,635ナルヲ以テ其百分率ハ10.22ナリ。之ヲ各保險會社報告ト對照スルニ被保險者死亡總數ハ32,680結核死亡數ハ10,373ニシテ其結核死亡百分率ハ19.69ナリ。サレバ被保險者結核死亡率ハ一般人結核死亡率ヲ超過スル實ニ9.47ナリトス

第18表ノ1 高層建築(甲)百貨店勤務者結核調(疾患ノ爲メ退店シタル者)

年次	種類 員數	男女別	從業員數	肺結核	其ノ他 結核	全結核	從業員對結 核千分比	一般疾 患者	結核對一般 患者千分比
” 3 ”	男女	1,029 376	6 1	2 —	8 1	7.74 2.56	6 2	7.50 20.00	
” 4 ”	男女	1,395 1,110	5 3	— 2	5 5	3.58 4.50	5 1	10.00 2.00	
” 5 ”	男女	1,379 1,218	7 6	3 9	10 15	7.25 12.28	9 15	9.00 10.00	
” 6 ”	男女	1,285 1,132	4 3	5 4	5 7	7.00 6.18	8 10	8.89 14.29	
計	男女	5,957 4,346	24 14	10 17	37 29	6.04 6.67	29 31	9.56 1.69	
合計(男女)		10,303	38	27	66	6.41	60	9.09	

本表ハ高層建築百貨店內勤務者ノ疾病ノ爲メ退店シタルモノニシテ本店ニハ專屬醫師ナク附近開業
醫ニ囑托シタルヲ以テ從テ資料ノ如キモ確實性トハ云ヒ難ク實際トハ多少隔リアルル如ク思料セラル

第18表ノ2 同上年齡別

年次	病種別 年齢別	肺結核					其他結核					全結核					一般疾患				
		15-20	21-30	31-40	41-50	計	15-20	21-30	31-40	41-50	計	15-20	21-30	31-40	41-50	計	15-20	21-30	31-40	41-50	計
昭和2年	男女	3	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	5	1	—	—	—	—	1
” 3 ”	男女	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	2	—	—	—	3
” 4 ”	男女	2	3	1	—	—	—	1	—	3	3	—	—	—	8	2	2	2	—	—	6
” 5 ”	男女	1	—	—	—	1	—	—	—	1	—	2	—	—	1	1	1	—	—	—	2
” 6 ”	男女	2	2	1	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	5	2	2	1	—	—	5
” 7 ”	男女	3	—	—	—	2	—	—	—	5	—	1	—	—	5	1	—	—	—	—	1
” 8 ”	男女	3	4	—	—	—	—	—	—	3	7	—	—	—	10	5	3	1	—	—	9
” 9 ”	男女	3	3	—	—	9	—	—	—	12	3	—	—	—	15	10	5	—	—	—	15
” 10 ”	男女	—	1	3	—	1	3	—	—	2	7	—	—	—	9	2	1	1	4	—	8
” 11 ”	男女	3	1	—	—	3	—	—	—	6	1	—	—	—	7	7	3	—	—	—	10
計	男女	10	10	5	—	4	7	1	—	15	19	3	—	—	37	12	8	5	4	—	29
合計(男女)		10	10	5	—	14	—	—	—	24	5	—	—	—	29	20	11	—	—	—	31

年齢別ニ於テハ諸家ノ結核統計ノ夫ニ一致シ15歳—30歳ニ斷然多キヲ示シ一般疾病ニ於テモ亦同
成績ヲ擧ゲ得タリ。

第18表ノ3 同上在店年數

年次	病類別 在店年月	肺結核					其ノ他ノ結核					全結核					一般疾患							
		二年未滿	三年未滿	四年未滿	五年未滿	五年以上	二年未滿	三年未滿	四年未滿	五年未滿	五年以上	二年未滿	三年未滿	四年未滿	五年未滿	五年以上	計	二年未滿	三年未滿	四年未滿	五年未滿	五年以上	計	
昭和2年	男女	1	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	1
” 3 ”	男女	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	3
” 4 ”	男女	—	—	1	1	4	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—	—	—	6
” 5 ”	男女	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2

昭和4年	男女	1	—	1	—	3	—	—	—	—	—	1	—	1	—	3	5	1	1	—	1	3	5
” 5 ”	男女	1	—	2	2	2	1	—	—	—	2	2	—	2	2	2	10	1	2	—	3	3	9
” 6 ”	男女	3	2	—	—	1	4	2	2	1	—	7	4	2	1	1	15	10	4	1	—	—	15
” 6 ”	男女	—	—	—	—	4	—	3	—	1	1	—	3	—	1	5	9	—	1	—	1	6	8
計	男女	3	—	4	3	15	1	6	—	2	3	4	6	6	5	16	37	3	6	3	5	12	29
合計(男女)		8	4	—	1	1	7	5	2	1	—	15	9	2	2	1	29	18	8	2	3	—	31

在店年數ニ就テモ3年未滿ニ最モ多ク男子4ニ對シ女子15ヲ示シ之ニ次グハ5年以上ノ17名トス而シテ2年未滿ノモノハ女子ハ男子ノ約4倍ヲ表ハシ5年以上ノ在店者ニハ男子16ニ對シ女子1名ナリ之女子ハ婚嫁其ノ他ノ事情ニテ在店年數少ナキモノナルベシ一般疾患ニ於テモ2年未滿ニ患者多ク加之女子ハ男子ノ約倍數ヲ示シ5年以上ノ在店患者ハ殆ソド男子ナリ。

第19表 高層建築(乙)百貨店勤務者結核調(店內醫局ニ於テ扱ヒタル者)

種別 人員數 年次	男女別	從業員數	肺結核	其他結核	全結核	從業員ニ對スル千分比	一般患者	結核對一般患者比
” 7 ”	男女	(男女) 5,324	66 15	69 21	135 36	32.1	1,309 600	9.06 16.67
計		10,757	169	212	381	35.4	3,803	9.98

本表ハ乙百貨店ニ於ケル患者數ニシテ資料全カラズ統計トシテ價値ナルベシト雖モ大體ヲ窺フニハ足ルベク之ヲ内閣統計局(昭和5年)統計ニ見ルニ人口1萬對結核死亡ハ18.7ニシテ之ヲクリーゲル氏法ニヨリ死亡者ノ10倍ヲ患者ト見做ストキハ187トナルベシ。當乙百貨店從業員千對結核患者ハ35.4ニシテ1萬對トセバ354トナルベシ。而シテ之ヲ前記結核死亡ノ10倍タル患者假定數ト比較スルトキハ實ニ1.89倍トナルベシ。即チ百貨店內勤務者結核數ハ一般結核患者假定數ニ比シ約2倍ニ近キ罹患數ヲ出シタルモノト推定スルヲ得ベキナリ。

附(參考) 第20表ハ甲百貨店內空氣検査成績ナリト雖モ建築様式當乙百貨店ニ近似セルヲ以テ第2)表ヲ参照セバ當店患者數ノ多キ蓋シ偶然ニ非ラザルベシ。

附(參考)

第20表ノ1 高層建築甲百貨店內空氣検査成績(平日)

試験場所	試験日時	天候	外氣壓 700mm+	溫度				水蒸氣張力 室内mm		比較溫度	
				室溫		外氣溫		最大 (mm)	現在 (mm)	室内 (%)	室外 (%)
				乾球 (度)	濕球	乾球	濕球				
地階北口	7年2月5日後2.45	曇	59.4	14.3	9.0	9.7	4.5	12.12	8.88	48.5	37
同甲賣場	” ” 5.00	”	60.4	15.9	10.0	7.8	3.2	13.42	6.62	48.2	38
同食堂	” 8日 ” 1.20	”	66.0	15.8	11.6	7.5	2.5	15.34	8.02	60.1	34
一階甲賣場	” ” 3.25	”	6.61	15.8	9.5	7.6	3.0	13.34	5.64	42.3	38
同乙賣場	” ” 4.20	”	66.4	16.8	10.1	7.1	2.6	14.21	5.80	40.8	38
二階美容室前	” 9日 ” 2.30	”	63.9	18.9	13.5	7.7	3.2	16.22	8.75	54.0	39
同休憩室	” ” 4.07	”	64.4	17.7	12.2	6.9	2.9	15.04	7.78	51.7	44
同甲賣場	” 10日 ” 1.25	”	63.0	18.8	11.8	3.2	0.7	16.12	7.76	41.9	57
三階甲賣場	” ” 3.10	”	63.8	19.9	12.7	3.5	1.0	17.26	7.27	42.1	58
四階休憩室	” 11日前11.09	”	66.0	16.7	10.2	4.5	1.6	14.12	5.96	42.2	53
同甲賣場	” 12日後1.40	晴	68.1	19.6	12.8	11.0	6.3	16.94	7.53	44.4	43
五階A賣場	” ” 3.05	”	68.3	19.2	12.8	10.6	6.2	16.52	7.73	46.8	46

五階甲賣場	7年2月12日後4.10	晴	68.8	18.1	11.7	10.4	5.6	15.43	6.97	45.1	42
六階甲賣場	.. 15日 .. 1.40	雨	63.3	18.1	12.5	7.2	5.8	15.43	7.95	51.5	77
同 食 堂 3.50	..	61.4	20.0	14.5	8.0	6.4	17.36	7.49	54.7	76
東館五階	.. 16日 .. 1.20	晴	51.4	17.9	10.4	13.4	8.0	15.23	5.66	37.1	42
同統計課 3.30	..	50.6	19.4	12.0	12.1	6.6	16.73	5.75	34.3	38
六階炊事場	.. 17日 .. 4.00	..	54.8	23.2	15.0	7.5	1.4	21.11	8.57	40.6	23
七階食堂 1.45	..	53.4	16.2	8.5	8.0	1.8	13.68	4.43	32.3	23
同ホ－ル 1.35	..	59.5	18.8	12.2	9.0	3.1	16.12	7.24	44.9	25

第20表ノ2 高層建築甲百貨店內空氣検査成績(平日)

試驗場所	試驗日時	冷却率		塵 埃		炭酸含量 %	落下細菌數 B. A.	人員概算
		乾カタ (度)	濕カタ	塵埃數 (千單位)	塵埃量			
地階北口	7年2月5日後2.45	8.3	21.2	42.520	0.0098	0.943	37 27	1050
同甲賣場 5.00	7.4	18.3	113.000	0.0098	—	65 60	—
同 食 堂	.. 8日 .. 1.20	8.3	18.9	53.600	0.0096	1.030	31 38	247
一階甲賣場 3.25	7.6	22.5	66.520	0.0280	0.733	83 90	619
同乙賣場 4.20	6.9	20.6	188.400	0.0092	1.013	183 206	622
二階美容室前	.. 9日 .. 2.30	6.4	20.3	56.732	0.0032	1.047	50 56	175
同休憩室 4.07	7.5	21.6	85.100	0.0040	0.920	28 28	39
同甲賣場	.. 10日 .. 1.25	6.2	16.9	46.100	0.0095	1.204	36 29	541
三階甲賣場	.. 10日 .. 3.10	5.3	16.4	40.000	0.0046	1.288	23 52	541
四階休憩室	.. 11日前11.05	6.5	16.7	62.472	0.0054	0.755	1 7	5
同甲賣場	.. 12日後1.40	5.9	18.4	41.932	0.0030	0.903	11 8	415
五階A賣場 3.05	6.2	20.1	44.600	0.0030	1.257	28 17	1630
同甲賣場 4.10	6.3	20.3	77.600	0.0026	0.845	24 49	1680
六階甲賣場	.. 15日 .. 1.40	6.4	2.00	87.732	0.0030	0.901	121 71	645
同 食 堂 3.50	5.5	17.7	18.720	0.0056	1.353	53 57	276
東館五階	.. 16日 .. 1.20	6.8	21.1	55.040	0.0054	1.038	44 34	293
同統計課 3.30	9.0	18.8	96.520	0.0034	1.429	21 25	30
六階炊事場	.. 17日 .. 4.00	6.5	20.3	42.640	0.0036	1.119	711 709	100
七階食堂 1.45	8.7	25.3	35.000	0.0048	1.438	95 104	289
同ホ－ル	.. 18日 .. 1.35	6.1	19.4	26.600	0.0016	1.637	52 46	350

第20表ノ3 高層建築(甲)百貨店內空氣檢查成績(物日)

試驗場所	試驗日時	天候	室 溫						室 度		室 比較溫度	
			外氣 壓 700mm+	室 溫			外氣 溫		室內水蒸氣 張力 mm		比較溫度 %	
				乾球 (度)	濕球	7.8	乾球 (度)	濕球	最大	現在	室內 (%)	室外 (%)
地階北口	7年2月11日後1.40	曇	65.3	13.8	7.8	5.3	2.6	11.73	4.84	41.2	58	
同 食 堂	„ „ 2.50	„	65.4	19.2	13.5	5.5	2.7	16.52	7.61	52.1	56	
同 甲 賣 場	„ „ 4.55	„	66.1	17.9	12.1	4.8	2.6	15.23	7.55	47.6	64	
一階甲賣場	„ 13日後2.25	晴	61.8	19.2	12.5	17.7	11.0	16.52	7.39	44.7	38	
同 乙 賣 場	„ „ 4.10	„	61.9	18.8	13.2	16.9	11.0	16.12	8.45	52.4	43	
二階美容室前	„ „ 1.20	„	62.6	20.2	13.2	14.7	9.7	17.58	7.74	44.0	47	
同 甲 賣 場	„ 14日 „ 1.30	雨	66.7	20.0	14.3	7.7	5.7	17.36	9.21	53.1	78	
三階甲賣場	„ „ 2.10	„	66.4	20.6	14.8	6.7	5.8	18.02	9.56	53.1	86	
四階甲賣場	„ „ 4.20	„	67.3	21.6	16.1	5.1	4.3	19.16	10.80	56.4	86	
六階食堂	„ 20日 „ 1.15	晴	58.2	19.6	12.4	7.0	2.9	16.94	7.07	41.8	43	
五階A賣場	„ „ 2.55	„	56.5	20.6	12.8	7.2	3.3	18.02	7.08	39.2	46	
七階食堂	„ 21日 „ 1.10	曇	63.0	17.0	10.1	8.0	2.7	14.40	5.56	39.9	32	
六階甲賣場	„ „ 2.30	„	63.3	18.7	11.6	8.4	3.0	16.02	6.57	41.0	32	

第20表ノ4 高層建築(甲)百貨店內空氣檢查成績(物日)

試驗場所	試驗日時	冷却率		塵 埃		炭酸含量	落下細菌數 (B. A.)	人員概數
		乾カヲ (度)	濕カヲ (度)	塵埃數 (單位千)	塵埃量 (g)			
地階北口	7年2月11日 後 1.40	9.7	22.6	99.600	0.0108	0.668	85 85	719
同 食 堂	„ „ 2.50	6.1	19.0	68.800	0.0116	1.321	64 32	337
同 甲 賣 場	„ „ 4.55	7.0	19.5	113.000	0.0136	1.155	58 62	1124
一階甲賣場	„ 15日 „ 2.25	6.4	20.0	92.120	0.0066	0.703	94 82	611
同 乙 賣 場	„ „ 4.10	7.0	19.8	36.640	0.0134	0.783	121 120	1069
二階美容室前	„ „ 1.20	6.3	18.8	58.520	0.0066	0.909	31 46	230
同 甲 賣 場	„ 14日 „ 1.30	5.3	18.2	75.246	0.0078	1.445	20 29	727
三階甲賣場	„ „ 2.10	5.1	17.3	60.920	0.0040	1.773	40 55	524
四階甲賣場	„ „ 4.20	5.5	18.1	103.000	0.0042	1.717	49 56	565
六階食堂	„ 20日 „ 1.15	6.0	20.8	91.600	0.0038	1.484	62 65	286
五階A賣場	„ „ 2.25	6.3	21.4	119.200	0.0030	1.387	88 87	1030
七階食堂	„ 21日 „ 1.10	7.7	26.2	51.200	0.0060	1.437	96 85	389
六階甲賣場	„ „ 2.30	6.6	23.6	50.800	0.0034	1.210	143 132	955

第 20 表ノ 5 高層建築(甲)百貨店內空氣検査成績(開店前)

試験場所	試験日時	天候	外氣壓 700mm±	温 度				濕 度		比較温度	
				室 温		外 氣 温		室内水蒸氣 張力 mm	現在 (mm)	室内 (%)	室外 (%)
				乾球 (度)	濕球 (度)	乾 球	濕 球				
地階甲賣場	7年2月19日前3.25	曇	62.8	15.5	7.7	100-987		13.09	3.88	29.7	61
一階甲賣場 4.25	..	63.0	14.0	6.5	100-984		11.88	3.43	28.8	61
二階美容室前 6.00	..	63.5	16.5	8.3	100-98.2	100-96.4	13.95	4.00	28.6	60
七階食堂	.. 23日 .. 3.05	晴	61.8	15.4	8.8	1.1		13.00	5.09	39.2	78
五階A賣場 4.10	..	61.2	16.9	9.9	0.6		14.30	5.55	38.8	78
東館統計課 6.05	..	61.3	17.0	9.2	1.2	100-99.1	14.40	4.72	32.8	75

第 20 表ノ 6 高層建築(甲)百貨店內空氣検査成績(開店前)

試験場所	試験日時	冷 却 率		塵 埃		炭酸含量 (%)	落下細菌 數 B. A	人員概 數
		乾カタ (度)	濕カタ (度)	塵埃數 (單位千)	塵埃量 (瓦)			
地階甲賣場	7年2月19日前3.25	6.7	19.6	18.940	0.0078	0.515	4 1	5
一階甲賣場 4.25	7.6	21.4	18.264	0.0060	0.607	2 6	5
二階美容室前 6.00	6.3	19.0	15.600	0.0028	0.765	2 0	5
七階食堂	.. 23日 .. 3.05	7.6	22.1	20.120	0.0018	0.616	2 0	5
五階A賣場 4.10	5.8	19.0	39.600	0.0020	0.579	2	5
東館統計課 6.05	6.0	18.9	28.800	0.0018	0.499	1 2	5

甲百貨店内空氣検査成績ハ何レモ本廳衛生検査所ノ作業ニシテ開店前ニ於ケル店内空氣ハ大體良好ナルモ其他ニ於テハ炭酸量生理的限度ヲ超エ七階「ホール」ノ如キハ検査當時空室ナルニ拘ハラズ1.627%ヲ示セリ。塵埃數又考慮ヲ要スベク、細菌數各場所ニヨリ多少誤差アリト雖モ食堂炊事場ニ多キハ寒心ニ値スベキナリ。

第 21 表 某「セメント」株式會社關東方面工場結核性疾患調

年 次	工場名	病類 男 女別	従業員數	肺結核	其他結核	結核患 者計	人員對百分率	一般疾患
昭和2年	東 京	男	327	2	16	18	5.50	1337
		女	29	—	3	3	10.33	123
	川 崎	男	801	8	20	28	3.49	1342
		女	149	4	5	9	12.75	295
	計	男女	1128	10	36	46	4.08	2679
		男女	178	4	8	12	6.74	418
昭和3年	東 京	男	312	6	11	17	5.43	1067
		女	24	—	8	8	33.33	106
	川 崎	男	770	2	13	15	1.95	1415
		女	122	3	—	3	2.46	245
	計	男女	1082	8	24	32	2.96	2482
		男女	148	3	8	11	7.43	351
昭和4年	東 京	男	301	2	14	16	3.17	983
		女	18	1	1	2	11.11	79
	川 崎	男	759	3	13	16	2.11	1797
		女	114	1	—	1	0.88	197
	西多摩	男女	217	—	—	—	—	38
	計	男女	1277	5	27	32	2.51	2818
		男女	132	2	1	3	2.27	276

昭和 5 年	東 京	男女	289	3	12	25	5.19	1240
		男女	16	1	1	2	12.22	111
	川 崎	男女	500	2	6	8	1.60	1016
		男女	65	1	—	1	1.54	170
昭和 6 年	西 多 摩	男女	213	—	—	—	—	165
		男女	—	—	—	—	—	—
	計	男女	1002	5	18	23	2.29	2421
		男女	81	2	1	3	3.70	281
昭和 7 年	東 京	男女	271	6	10	16	5.90	1125
		男女	13	—	2	2	15.38	44
	川 崎	男女	341	1	3	4	1.17	631
		男女	21	1	—	1	4.76	107
合 計	西 多 摩	男女	201	1	1	2	0.99	241
		男女	—	—	—	—	—	—
	計	男女	812	8	14	22	2.69	1997
		男女	34	1	2	3	8.82	151
昭和 7 年	東 京	男女	258	3	8	11	4.26	961
		男女	11	—	—	—	—	37
	川 崎	男女	336	—	1	1	0.30	459
		男女	14	1	2	3	2.14	29
合 計	西 多 摩	男女	196	2	—	2	1.02	402
		男女	—	—	—	—	—	—
	計	男女	790	5	9	14	1.77	1822
		男女	25	1	2	3	12.00	66
合 計			6690	54	150	204	30.49	1.5762

當會社西多摩工場ハ昭和4年6月開設同12月健康保險ニ加入シタリ。本表ニ現ハレタル數字ノ従業員對結核性患者ハ實ニ30.49%ニシテ驚クベキ巨大ナル患者數ナリト云フベシ。

第 22 表 日清紡織株式會社結核患者調

年次	比率 病類別 人員	従業員	肺結核	千分比率	其他結核	千分比率	全結核	千分比率
		大正 9 年	3.617	1	0.27	3	0.86	4
„ 10 „	3.291	3	0.91	—	—	3	0.91	
„ 11 „	3.639	2	0.55	2	0.55	4	1.09	
„ 12 „	3.160	1	0.32	—	—	1	0.32	
„ 13 „	2.900	1	0.34	2	0.69	3	1.03	
„ 14 „	3.199	—	—	3	0.94	3	0.94	
昭和 元 年	2.951	5	1.69	3	1.35	8	2.71	
„ 2 „	2.458	12	4.88	2	0.81	14	5.69	
„ 3 „	1.883	6	3.72	9	4.25	15	7.97	
„ 4 „	1.962	4	2.45	2	1.53	6	3.06	
„ 5 „	1.827	1	0.55	2	1.09	3	1.64	
„ 6 „	1.782	6	3.34	1	0.56	7	3.93	
„ 7 „	1.796	3	1.67	5	2.78	8	4.45	
計	34.465	45	1.72	34	1.22	79	2.29	

昭和 2 年ヨリ著シク患者ノ増加シタルハ同年度健康保險制ノ實施セラレタルニヨル。而シテ千分比 2.29 ノ患者數ハ一般ニ比シテ極メテ少數ヲ示シタルモノナリ。

第23表 大日本紡織株式會社東京工場結核患者調

年次	病類 人員	比率		比率		全結核	比 率
		従業員	肺結核	千分比率	其他結核		
昭和2年		1,970	1	0.51	2	3	1.52
.. 3 ..		1,508	28	18.57	4	32	21.23
.. 4 ..		1,482	4	2.70	8	12	8.10
.. 5 ..		892	8	8.97	3	11	12.34
.. 6 ..		1,048	5	4.76	17	22	20.99
.. 7 ..		1,302	3	2.31	3	6	4.56
計		8,292	49	5.91	37	86	10.37

昭和2年度ハ健康保險實施ノ年ニシテ患者數正確ナルヲ保シ難シ、結核患者千分比10.37ノ數ハ一般結核率ニ比シ少數ナリト云フベシ

第24表 自大正11年10ヶ年間東京市郡ニ於ケル結核死亡者調
至昭和6年

年度別	性別	市 部				郡 部				市郡合計	人口1 萬對全 結核死 亡率						
		肺 結 核		其 他 結 核		肺 結 核		其 他 結 核									
		男	女	計	小計	男	女	計	小計								
大正11年		2918	2665	5583		2379	7962	2215	2035	4250	1600	5850	13812				
.. 12 ..		2108	1902	4010		1741	5751	2318	2286	4604	1606	6210	11761				
.. 13 ..		1614	1415	3029	654	761	1415	4444	1857	1719	3576	654	726	1380	4956	9400	
.. 14 ..		1710	1486	3196	760	861	1622	4818	2274	2010	4284	677	768	1445	5729	10547	
昭和元年		1643	1332	2975	697	719	1416	4391	2437	2000	4437	745	910	1655	6092	10483	
.. 2 ..		1634	1419	3053	822	933	1755	4808	2588	2190	4787	935	1097	2032	6819	11627	
.. 3 ..		1615	1300	2915	668	819	1487	4402	2980	1482	5462	954	1110	2064	7526	11928	
.. 4 ..		1569	1282	2851	712	852	1564	4415	3130	2547	5677	1088	1195	2283	7960	12375	22.5
.. 5 ..		1557	1320	2877	706	786	1492	4369	3068	2428	5496	966	1198	2164	7660	12029	22.2
.. 6 ..		1666	1271	2937	730	772	1502	4430	3336	2501	5837	972	1128	2100	7937	12376	22.5
合 計		18034	15392	33426		16373	49799	26203	21307	47510		18329	66739	116538			

市部ニ於テハ10ヶ年間ニ割4分ノ減少、郡部ニテハ3割4分ノ増加ヲ來セリ。無論大正12年以後ニ於テハ市郡人口ニ異常ナル差點ヲ來シ市部ニ於テ減少、郡部ニ於テ増加シタルニ因ルベキモ郡部ニ於ケル衛生施設ハ市部ニ比シテ著シク劣レルモノアリ。是等又重大ナル關係ヲ有スルモノト云フベキカ。

第25表ノ1 昭和7年自1月
至12月 結核死亡者對人口萬分比

人 口	市 郡 別	種 別	男死亡者數	女死亡者數	死亡者合計	死亡者對人口萬分比
2,128,478	舊 市 部	肺 結 核	1589	1209	2798	13.15
		其 他ノ結核	710	725	1435	6.74
		計	2299	1934	4233	19.89
3,170,479	新 市 部	肺 結 核	3003	2337	5340	16.84
		其 他ノ結核	901	962	1863	5.88
		計	3903	3299	7202	22.72

420, 172	八王子市及 三多摩郡	肺 結 核	298	203	501	1.19
		爾他ノ結核	54	83	137	0.33
		計	352	286	938	1.52
5, 719, 129	總 計	肺 結 核	4889	3749	8638	15.10
		爾他ノ結核	1665	1770	3435	6.01
		計	6554	5519	12,073	21.11

第 25 表ノ 2 昭和 7 年 自 1 月 至 12 月 肺結核及爾他ノ結核死亡年齡別表(東京府)

市郡別	種 別	性 別	年 齡 別	當 歲 未 歲	自 1 歲 至 5 歲	自 6 歲 至 10 歲	自 11 歲 至 20 歲	自 21 歲 至 30 歲	自 31 歲 至 40 歲	自 41 歲 至 50 歲	自 51 歲 至 60 歲	61 歲 以上	計	合計
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
舊 市 部	肺 結 核	男	5	15	22	319	508	279	208	147	86	1589	2798	
		女	17	28	393	402	191	89	62	27	1209			
	計	男	22	127	85	196	149	60	34	23	14	710	1435	
女	13	104	76	236	190	67	31	8	10	725				
新 市 部	肺 結 核	男	4	18	29	667	1027	586	336	231	104	3002	5339	
		女	4	21	49	669	897	407	165	73	52	2337		
	計	男	24	136	106	215	216	105	45	32	22	901	1863	
女	22	117	90	290	235	119	41	31	17	962				
八 三 王 子 多 摩 市 郡	肺 結 核	男	—	1	2	58	102	67	46	13	9	298	501	
		女	1	3	2	54	67	51	13	6	6	203		
	計	男	—	4	2	20	17	5	2	1	3	54	137	
女	—	3	9	28	22	13	4	3	1	83				
總 計	肺 結 核	男	—	5	4	78	119	72	48	14	12	352	638	
		女	1	6	11	82	89	64	17	9	7	286		
	計	男	9	34	53	1044	1637	932	590	391	199	4889	8638	
女	5	41	79	1116	1366	649	267	141	85	3749				
總 計	爾他ノ結核	男	46	267	193	431	382	170	81	56	39	1665	3435	
		女	35	224	175	544	447	199	76	42	28	1770		
	計	男	55	301	246	1471	2019	1102	671	447	238	6554	12,073	
女	40	265	254	1660	1813	1848	343	183	113	5519				
合 計	計	男	95	566	500	3135	3832	1950	1014	630	351	12,073	

年齡別ニ於テハ 20 歳—30 歳斷然多ク之ニ次テ 11 歳—20 歳、31 歳—40 歳、41 歳—50 歳ナリト
 以下 50 歳—60 歳、1 歳—5 歳、6 歳—10 歳、61 歳以上、1 歳未滿ノモノト漸次遞下ス。

第 25 表ノ 3 昭和 7 年 自 1 月 至 12 月 結核死亡者月別表(市郡別)

市郡別	種 別	性 別	月 別												計
			1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
舊 市 部	肺 結 核	男	119	131	163	118	124	138	131	117	130	153	136	129	1589
		女	97	88	112	81	98	100	108	112	88	124	107	94	1209
	計	男	60	60	58	45	58	69	69	66	55	57	56	57	710
新 市 部	爾他ノ結核	男	55	62	31	60	65	66	74	57	57	45	52	41	725
		女	179	191	221	163	182	207	200	183	186	210	192	186	2299
	計	男	152	150	193	141	163	166	192	169	145	169	159	135	1934
合 計	計	男	331	341	414	304	345	373	392	352	330	379	351	321	4233

新 市 部	肺 結 核	男女	242	248	251	243	214	224	231	264	244	300	282	259	3002
			188	193	164	199	170	179	199	214	187	247	190	207	2337
	爾 他 ノ 結 核	男女	72	79	80	64	73	73	90	90	100	64	59	57	901
			80	79	93	83	84	92	80	102	95	67	55	52	962
計	男女	314	327	331	307	287	297	321	354	344	364	341	316	3903	
		268	272	257	282	254	271	279	316	282	314	245	259	3299	
合 計			582	599	588	589	541	568	600	670	626	678	586	575	7202
八 三 王 多 子 摩 市 郡	肺 結 核	男女	16	29	19	23	25	29	36	17	27	19	24	34	298
			14	18	20	7	18	16	15	21	20	20	16	18	203
	爾 他 ノ 結 核	男女	7	5	5	1	11	5	5	3	3	6	1	2	54
			8	12	8	9	8	6	9	10	3	5	—	5	83
計	男女	23	34	24	24	36	34	41	20	30	25	25	36	352	
		22	30	28	16	26	22	24	31	23	25	16	23	286	
合 計			45	64	52	40	62	56	65	51	53	50	41	59	638
總 計	肺 結 核	男女	377	408	433	384	363	391	398	398	401	472	442	422	4889
			299	299	296	287	286	295	322	347	295	391	313	319	3749
	爾 他 ノ 結 核	男女	139	144	143	110	142	147	164	159	158	127	116	116	1665
			143	153	182	152	157	164	173	169	155	117	107	98	1770
計	男女	516	552	576	494	505	538	562	557	559	599	558	538	6554	
		442	452	478	439	443	459	495	516	450	508	420	417	5519	
合 計			958	1004	1054	933	948	997	1057	1073	1009	1107	978	955	12,073

月別ニ於テ死亡者ハ10月、8月、7月、3月、9月、2月、6月、11月、1月、12月、5月、4月ノ順序ニシテ、10月、8月、ニ最も多ク、5、12、1月ニ少ナク即チ温暖期ニ多ク寒冷期ニ少ナシ。

第 二 編

第一章 結核ノ豫防

結核ハ社會病ナリ、國民病ナリ從テ之ガ豫防ハ單ニ個人的衛生ノミヲ以テ論ズベキニ非ラズ、必ズヤ深ク社會層ヲ觀察シテ之ニ對スル處理ヲ講ゼザルベカラズ。即チ國家的ニ社會的ニ適切ナル施設ヲ行フテ之ニ對セザルベカラザルナリ。

一般社會ヲ通觀スルニ社會ノ下層ニ貧困ナル生活ヲ送り日夜營々トシテ勞作ニ服シ些ノ休養ヲ許サレズ疲憊ニ終始シ、又ハ狹隘陰濕ナル陋屋ニ多人数棲息シ、或ハ運動競技ニ耽リ自己ノ體質、體力ヲ省ミズ興味ニ捉ハレ徒ラニ享樂氣分ニ走り、體育保健上ノ顧慮ナキ者及之ガ指導者、運動ヨリハ却テ休養ヲ要スベキ虛弱者ニ對スル不穩當ナル處置等是等ハ何レモ結核罹患ノ機會ヲ與フルヨリハ寧ろ發病ノ培地ヲ爲スモノシテ是等ニ對スル豫防方法ハ到底姑息愉安ヲ許サ

ザルナリ。必ズヤ社會衛生ニ立脚シテ之ガ對策ヲ講ジ生活環境ノ改善及社會的豫防施設ニ俟タザルベカラザルナリ。歐米主要國ガ過去40年即チ前世紀ノ終ヨリ今世紀ノ始ニ於テ豫防事業ノ偉大ナル成績ヲ擧ゲタル所以ノモノ又社會施設ノ效果ニ負ハサルベカラザルナリ。

左ニ内務省衛生局ノ調査ニカカル主要文明國及我國ノ豫防事業ノ梗概ヲ掲ゲテ之ヲ吟味シ延ヒテ吾等ノ取りタル豫防事業ノ實際的作業ヲ述ブル處アラントス。

甲、主要國ニ於ケル結核豫防狀況

英蘭及ウエールス

1911年3月英蘭及ウエールス全般ニ互リ結核病一般届出法ヲ制度セラレ、同年11月肺結核ニ罹リタル患者ヲ診療シタル醫師ハ該患者居住地管區ノ衛生官ニ届出ベキヲ命ジ、學校醫ニ對シ

テモ學童ニ就テ發見シタル肺結核患者ヲ報告スベキ義務ヲ負ハシメ、1912年ニハ右届出制度ハ肺結核以外ノ結核ヲモ含マセ結核全部ニ互ルコト、シテ今日ニ及ベリ。

豫防施設、英國ニ於ケル結核豫防事務ハ地方官憲ニ依テ行ハレ其事業監督ハ中央政府ノ衛生省ノ責任トス。スコットランドニテハ同衛生局之ニ當ル。

地方官憲ニ於テ主トシテ之ニ關與スルハ縣又ハ特別都市ニテ其主ナル豫防施設ノ如シ。

結核相談所 結核相談所ハ結核技師ノ監督ノ下ニ置カレ、患者及希望者ノ診斷指導ニ當ル相談所ヲ訪問シ來ル者ノミナラズ。其管區内ニアル結核患者全部ヲ監視指導スルノ責務ヲ有ス。相談所ハ結核届出制度ニヨリ其他訪問看護婦ノ活動ニヨリテ患者ノ存在ヲ知り、該患者入院ノ要否家庭ニ於テ主治醫其他ニヨリテ普通治療ヲ受クルニ適スルカ相談所ニ於テ外來患者トシテ治療セシムベキカ或ハ何等積極の治療ヲ要セザルカ等ノ助言ヲ與フルハ該結核技師ノ任務トス。相談所ニ於テ行フベキ治療ハ主トシテ一般開業醫ニ於テ遂行ヲ期待シ難キ特殊治療及保險ニ加入セザル者ニテ普通醫師ニ診療費ヲ拂ヒ得ザル者ノ治療ニ限ルトセラル。結核技師ハ其管區内ノ開業醫ト密接ナル關係ヲ保チ彼等ニ對スル協議者トシテ活動シ事務ニ服ス、猶相談所ハ其地方ニ於ケル結核撲滅運動ノ中心タルベキハ勿論ナリ。

結核看護婦ノ家庭訪問 其主目的ハ一部衛生的方面ニツキ患者ニ助言ヲ與ヘテ指導シ、一部ハ結核技師ヲシテ結核患者ノ家庭状態ト密接ノ接觸ヲ保タシメ又本病ノ早期發見ニ勉メ是等ニ對シ適切ナル治療ヲ受ケシムルニアリ。

肺結核患者ニアツテハ療養所治療及病院治療ヲ區分スルヲ常トス。療養所治療トハ初期患者又ハ病症停止ノ見込アルモノ、稍々長期ニ互ル治療ヲ意味ス。病院治療トハ診斷ノ確定、急性患者ノ隔離、中間性^レ或ハ慢性患者ノ短期間治療ニシテ主トシテ教育的及健康恢復ノ爲ニスル者、

危険ナル傳染性及重症患者ノ隔離ヲ意味シ其他輕快患者ノ病後治療ヲ主トシ患者ニ適スル職業ヲ授クル等ナリ。

療養所ハ一般ニ地方廳當局(主要經費ハ國家ノ補助ヲ通例トス)慈善團體又ハ個人ニ依テ設ケラル、肺結核ノ病院治療ニ實際ニ用キラル、ハ多クハ地方廳ニ依テ設ケラル、獨立病院ナルアリ、療養所内ノ一棟ヲ病院ニ充ツルアリ、或ハ傳染病院中ノ一棟ヲ之ニ利用スルガ如キアリ。直接地方廳ノ經營セザル施設ヲ利用スル場合ニハ該地方廳ハ通常一週回程カノ入院費ヲ定メテ患者ノ收容ヲ契約ス。此費額ハ該地方廳ノ經費ニ對スル國庫補助ノ關係上衛生大臣ノ認可ヲ要ス。

斯ク利用セラル、施設ハ凡テ國庫補助ノ關係上及1932年ノ公衆衛生法(結核)第1條ノ規定ニ依リ衛生大臣ノ認可セル施設ナルヲ要ス。

家庭ニ於テ療養中ノ結核患者ニ對スル特別榮養手當ハ全ク參事會ノ自由意志ニヨルモノ一テ國庫補助ヲ受ケ得ル特別榮養ノ地方廳經費ハ人口千ニ就キ1年2「ボンド」ニ限ラレ多クハ之以下ニテ辨ゼラル。

英蘭及ウエールスニ於ケル結核豫防事業ノ施設ハ年ヲ追フテ擴充セラレ、之ニ伴フテ保護ヲ受クル患者數モ増加シ同時ニ結核ノ蔓延ハ阻止セラレ、ツアリ、此状態ヲ一目瞭然タラシメン爲メ1926—1930年ニ於ケル數字ヲ次頁ニ掲ゲベシ。

英蘭及ウエールスニ於ケル結核豫防費ハ主トシテ公費ニ依テ支辨セラル。入院患者等ニアリテハ患者ノ收入額ニ應ジテ若干ノ經費ヲ拂ハシムル事アリ、國民保險加入患者ニハ保險局ヨリ、戰時勤務退役者ノ結核患者ニハ恩給省ヨリ其經費ヲ地方廳ヘ支拂ハル、衛生省ハ地方廳ノ結核豫防費ヨリ以上ノ支出ニ基クモノヲ差引キ地方費負擔ニ對シテ50%ヲ補助セラル、併シ近年ニ至リテ之ヲ改メ「ブロックシステム」トノ國庫補助額ヲモ限定シ1年ノ補助總額ヲ150萬磅以內トナシタリ。

第26表ノ1 英蘭及ウエールスニ於ケル結核豫防施設ノ發達

項目	年次	1926年	1927年	1928年	1929年	1930年
患者數		19,643	19,710	19,659	20,532	—
内 小 兒		6,037	6,128	6,129	6,221	—
「チスベンザリー」		442	446	473	461	459
結核技師		367	378	382	386	380
病院	公 立	211	215	211	209	214
	慈善團體	271	279	283	289	290
	計	482	494	494	498	504
病床	公 立	14,165	14,599	14,856	14,985	15,972
	慈善團體	8,037	8,019	8,404	8,564	8,606
	計	22,202	22,618	23,260	23,549	24,578

第26表ノ2

項目	年次	1926年	1927年	1928年	1929年	1930年
1. 新結核患者初診數		91,474	93,395	96,067	94,711	93,523
2. 結核患者接觸者初診數		38,458	40,676	43,363	45,008	46,239
右 計		129,932	134,071	139,430	139,719	139,762
3. 新結核患者100ニ對スル外來新患者數		137	141	146	148	153
4. 「チスベンザリー」訪問後1ヶ月以内ニ診斷セラタル結核患者數						
a. 新訪問者		46,894	42,534	42,174	42,109	41,399
b. 接觸者						
a b 合計			3,686	3,794	3,941	3,888
5. 「チスベンザリー」登録簿ニ表ハレタル年度未患者數						
a. 診斷確定ノモノ		192,566	198,994	200,965	203,380	203,297
b. 未確定ノモノ		18,412	13,215	10,317	9,417	9,263
6. 患家ニ於テ開業醫ニヨリテ診斷セラレタルモノ		10,679	12,639	14,388	16,680	17,009
7. 患家以外ニ於テ診察セラレタルモノ		58,933	79,402	85,105	90,308	93,698
8. 右診斷總數		69,611	92,041	99,493	106,988	110,707
9.レントゲン診斷數		23,469	26,075	31,689	36,757	43,882
10. 喀痰検査數		116,463	104,054	94,555	94,863	98,091
11. 結核技師患家訪問數		56,666	56,035	57,416	57,410	58,895
12. 看護婦及訪問婦ノ患者訪問數		745,131	778,656	730,350	729,003	769,560

1930年ニ於テハ衛生省ノ結核豫防補助費トシテ支出シタル總額ハ1494,989磅ニ上レリ、地方廳ノ結核豫防ノ爲ニ支出セラレタル額ハ3382,553磅ニテ前年ヨリ129,919磅ヲ増加セリ。此中19%即チ644,697磅ハ「チスベンザリー」ノ費用トシテ、殘81%、即チ2737,856萬磅ハ病院及「サナトリウム」等ニ費サル、此總費用ハ國民1名約二志ニ當ル。

以上ノ外英國ニ於テハ住宅改善ニ多大ノ努力ヲ傾ケ大戦後10年間ニ政府ノ支出セル住宅改善費ハ6300萬磅ニ及ビ、1927年度ノ支出ハ950萬磅ニ達セリ。此住宅改善運動ハ結核豫防事業ニ重大ナル關係ノアル事ハ謂テ俟タザルベシ。

北米合衆國

北米合衆國ニ於ケル政府ノ豫防施設ハ各國獨立シテ之ヲ行ヒ各州ニハ州結核委員會、州衛生局結核課ガ結核豫防事務ヲ司ル主要ナル機關ナリトス。中央政府ニ於テハ公衆衛生局總監之ヲ管理シ一般豫防施設ノ管理ニ任ジ更ニ必要ナル法規ノ勵行、殊ニ結核乳、結核肉ノ取締、住宅改善、街路取締ノ如キ結核豫防上ニ必要ト認メラルル事項ニ關シテハ適當ナル法規ヲ勵行セラル。北米合衆國ニ於テ比較的結核死亡率明ニシ得ルハ10州及コロンビア地方ヲ含ム所謂登録地域ナルガ是等地方ニ於ケル顯著ナル結核ノ減少ハ早期診斷ノ進歩、患者ノ收容隔離、牛乳供給ノ

完備、飲食器具ノ衛生的取締、食肉監視及住宅改善等ノ結果ニ俟ツベキモノナリ。

米國ノ結核豫防ノ今日ヲ致セシハ政府ガ民間團體ノ活動ヲ促進シ官民協調ノ實ガ巧妙且圓滑ニ行ハル、ニアリト云ハル。

民間特殊團體ニ依テ結核豫防事業ノ創始セラレタルハ結核菌發見ニ後ル、事 10 年、1892 年 ペンシルバニア州ニ續イテボルチモア、ニュー・ヨーク諸州ニ於テ試ミラレ當時政府ハ之ニ精神的竝ニ物質的ノ援助ヲ與ヘテ之ヲ鼓舞シタリ。州當局ノ施設トシテ結核豫防ニ關係シタルハ比較の後レタル 1904 年以後ニ屬ス。

民間團體ノ中心ハ米國々民結核豫防協會ニテ 1904 年其組織成立シ、トルウドウガ其會頭トナリ 1906 年ヨリ各地方公衆ニ對スル豫防教育事業ニ努力シ、1906 年ヨリハ協會ノ資源ヲ得ン爲ニ「クリスマス・シール」頒布ヲ試ミ近年ハ毎年 500 萬弗以上ノ賣上ヲ得ルニ至レリ。同協會ノ機能ハ主トシテ公衆ニ對スル結核教育、豫防施設ノ擴充促進、豫防衛生上ノ調査研究等ニテ其會員ハ結核問題及社會事業ニ熱心ナル醫師及社會事業家等ニシテ紐育ニ本部ヲ有シ毎年 1 回總會ヲ開催シテ結核ニ關スル討議研究ヲナシ、又全國ヲ 6 區ニ分割シテ年毎ニ總會ヲ催シ各分區ニ於ケル結核實務家ノ攻究ニ資シ居レリ。

米國ニ於ケル結核豫防ノ特徴ハ豫防衛生ニ於ケル各方面ニ於テ見ラル、例ヘバ紐育市ヲ中心トスル「ミルバンク」記念財團ニヨル調査事業、國民結核豫防協會ニ於ケル醫學研究委員會ノ活動、「フラミンガム」事業 (1917 年ヨリ 23 年迄)ノ如キガソレニテ、食肉、乳牛等ニ關スル農務省ノ廣汎ナル畜獸ノ結核撲滅事業ハ 1918 年頃ヨリ次第ニ強調セラレ最近ニ於テハ著シキ進歩ヲナスニ至レリ。

結核豫防ニ關スル制度 米國ニ於ケル結核豫防ノ法制トシテハ ゲンタッキー州法律ガ基礎トナリ各州衛生當局ハ之ニヨリテ結核豫防ニ關スル方策ヲ講ジ、他ノ公私團體ト協力シテ豫防制度ヲ整備スルニ至レリ。

マサチューセッツ州ノ結核豫防法ハ人口 5 萬以上ヲ有スル都市ニ對シ患者ノ發見治療及監視ノ爲ニ相談所ヲ建設スベキヲ命ジ小郡邑ニ於テハ州衛生當局ノ必要ト認ムル場合之ニ施設ヲ命ズル事トセラル。

結核患者療養所ニ關スル法律ノ制定ハ近年諸多ノ地方ニ於テ行ハレミスシッピー、ニュー・ジャーシー、ニュー・ヨーク及バッシニア諸州ノ如キハソレナリ。アイオワ、ゲンタッキー、メーリーランド、マサチューセッツ、ニュー・ヨーク、ノース・タコタ等ハ家畜間ニ於ケル結核蔓延防止ニ關スル法律ヲ制定セラル。

經費關係 北米合衆國ニ於テ各州公共團體及個人ガ結核撲滅ノ爲ニ投ゼル經費ハ莫大ナル額ニテ之ハ正確ニ推算シ難キモ各州ニ於テ多少ノ差異ハアルトシテモ 1 ケ年人口 1 人當リ私的經費支出ハ 20 仙以上ト算セラル。公共團體ノ支出ハ 50 仙ニ達スルト見ラル。而シテ「シール」賣上高ハ人口一人當 5 仙以上ト云ハル。

第 27 表 豫防施設ノ現状(1928 年)

結核相談所 「 <u>スベンザリー</u> 」			3,671
結核療養所	618 個所	收容定員	73,695
労働聚落	5 個所	收容定員	224
豫防所	83 個所	定員	5,001
訪問看護婦			7,115
公衆保健婦學校		生徒數	655

獨逸

獨逸ハ英米 スカンヂナビア 諸國ト竝ビテ結核豫防事業ノ成果ノ大ナル國ニテ諸聯邦ハ任意ニ豫防法ヲ制定シ中央政府ハ一般ノ訓令ヲ發シテ統轄シ居レリ、最近 30 年來獨逸ニ於ケル結核豫防組織ノ中樞ヲナセルハ 1895 年ニ設立セラレタル獨逸結核豫防中央委員會ト稱スル半官半民ノ團體ニテ其會頭ハ歴代内務大臣又ハ衛生局長之ニ任ジ、獨逸ニ於ケル國民病タル結核撲滅ニ關スル適當ナル方策ヲ講究シ特ニ貧窮及薄資ナル肺結核患者ニ對スル療養施設ノ建設ヲ圖リ之ヲ奨勵シ之ニ適當ナル補助ヲ與ヘ居レリ。其他同

委員會ハ全國ニ亙リテ豫防思想ノ開發ニ努メラル。其他同會ハ結核豫防ニ關スル特殊ノ問題ニ就テハ委員會ヲ設ケテ之ガ討議實行ヲ期シ居レリ。過去ニ於ケル主ナル討議事項左ノ如シ。

- 1、1908 年皮膚結核委員會
- 2、1910 年結核届出及結核相談所事業ニ關スル委員會
- 3、1912 年結核相談所委員會

1904 年ニハ政府ハ聯邦諸國ニ對シテ結核治療ニ對シ特別ナル支出ヲナスベキ事ヲ勸告セリ。勞働保險ハ獨逸ニ於ケル結核豫防思想ヲ啓發刺戟シ各聯邦所在保險金庫殊ニ疾病保險金庫ノ一部ハ之ヲ結核豫防費ニ供シテ結核患者ノ爲ニ多數ノ療養所及結核病院ヲ設置シ或ハ公益團體ノ結核施設ヲ助成シ或ハ衛生住宅改善ノ爲ニ年々巨額ノ資金ヲ補助セラル。

プロイセン聯邦中先結核豫防法ヲ制定セルハプロイセン州ニテ同國ニ於テハ結核豫防ハ各「プロヴィンツ」ニ於テ各統一セラレ殊ニ東プロイセン、バルリン、ブランデンベルグ諸地方ノ如キ觀ルベキモノ多シ。プロイセン州ニ於テハ既ニ 1905 年以來傳染病豫防法ニヨリテ結核患者ノ届出ヲ勵行シ、又他ノ法律ヲ以テ結核ニ罹レル小學校教員及生徒ニ對スル豫防方策ヲ講ジ殊ニ教員及生徒ニシテ結核菌ヲ排出スル者ニ對スル處置ヲ講ジ、1923 年 4 月結核豫防法ヲ施行シテ傳染性結核患者ノ届出ヲ強制シ衛生省令ヲ以テ傳染性結核患者ノ意義ヲ明ニシ其届出様式ヲ定メ届出ハ管轄官廳ノ同意ヲ以テ直接之ヲ相談所ニ提出シ、相談所ハ之ヲ衛生醫官ニ通報スルコト、セラル結核相談所ハ届出患者ニ對シテ一定ノ措置ヲ必要ト認ムルトキハ主任醫官當轄市町村ト協議シテ必要措置ヲ執リ、相談所ノ設備ヲ缺クトキハ其豫防及救濟方法ノ實行ハ主治醫ガ之ヲ爲ス事トセラル。

バイエルンニテハミュンヘンニ於ケル地方結核豫防聯盟ガ主トシテ豫防事業ニ當リ、其他ヴュルテンベルグ、メクレンベルグ、バーデン諸國モプロイセント略々同様ナル方法ヲ講ジ 1910

年頃ヨリ既ニ患者強制届出制ヲ採用セラレ居レリ。

結核豫防施設ノ現況 現今財政難ノ獨逸聯邦ハ各種ノ事業ヲ縮小シツ、アリ從テ結核豫防施設ニアリテモ此難ヲ免レ難ク、1931 年 6 月ニハ 1 千名ノ收容力ヲ有スルバルリン地方保險局附屬ノ「ベユリツ・サナトリウム」ヲ閉鎖シタリ、獨逸トシテノ結核豫防施設模範地トシテハ北獨逸ノステッチ市ガ擧ゲラレ其施設ハ廣ク中歐諸國中ニ範ヲ示サル。

1931 年ニ於ケル獨逸聯邦ノ結核豫防ノ實況ヲ見ルニ 1360 個所ノ相談所ニハ 91 名ノ專任結核技師主トナリ各種ノ醫師ノ應援ヲ得テ活動シ訪問看護婦ハ專任 640 名ニテ同様他ヨリノ援助ヲ受ケ 1 年間 1,391,522 回ノ患者訪問ヲナシ、相談所ニハ「レントゲン」器械ノ設備アルモノ 443 箇所 1 年ノ検査數 795,771 回此數全結核豫防行政區ノ人口 1 萬ニ對シ 103 名ヲ検査シタルニ當リ喀痰検査數ハ 21,025 回「ツバルクリン」ノ検査 241,072 回ヲ數フ。

財政難ニ直面シタリト雖モ各種ノ發達シタル保險事業ハ良ク「チスベンザリー」ノ職員ト協力シテ適當ノ處置ヲ講ジ此難關ヲ切り開キツ、アリ。

佛蘭西

佛蘭西ハ歐洲諸國中比較ノ高度ナル結核蔓延國ノ 1 デ歐洲大戰後ニ於テ漸ク其豫防施設ノ稍々完キヲ得ルニ至リ近年ニ於ケル佛國衛生運動ノ顯著ナル發達ノ裏面ニハ結核豫防施設ノ充實ヲ計ル爲ニ拂ハレタル國民ノ努力ヲ認メザラ得ザルナリ。

佛國ノ結核豫防施設發達ノ由來ハ所謂佛國派結核專門家ノ顯著ナル業績、篤志家ノ貢獻ニ俟ツモノ多ク就中結核豫防常設委員會ハ公共救濟監督會議ニ相談所設置ヲ建議シ、巴里「レオン・ブルジョア」ノ開設ヲ見ルニ至リ其後此種機關ノ發展ニ關スル周圍ノ協力ニヨリテ本病豫防ノ輿論喚起ニカメレオン・ブルジョアハ 1913 年 7 月ヲ以テ數多ノ社會衛生施設並ニ結核相談所ノ建設法案ヲ元老院ニ提出シタルガ間モナク歐洲

大戦ニ據ル幾多ノ辛酸ニ迫ラレ、1915年4月代議院ハ代議士オンノラノ報告ニ基キ開放性結核ノ軍人ニ對シ歸休前必要ナル措置ヲ執ルベキ事ヲ政府ニ勸告シタリ。

政府トシテハ1915年10月ノ法律ニ依テ内務省救済衛生局ハ豫算ヲ計上シ保養所ヲ各地ニ設ケ、結核軍人ヲ收容シテ適當ナル看護ヲ與ヘ且ツ豫防必要ナル教育ヲ授ケ同時ニ内務大臣ノ訓令ニ基キ知事ノ協力ニ依リ設ケラレタル私設機關タル縣立結核前軍人救護委員會ハ同上患者ノ後處置看護ノ任ニ當ル。

1916年4月結核相談所、1919年9月結核療養所ニツキ法律ニ依テ其内容ヲ規定セラレタリ。

相談所ハ佛國ニ於ケル結核豫防ノ核心ニシテ1916年4月16日ノ法律即「ブルジョア」法ニ規定セラル。此法案ハ初メ代議院ニ於テオンノラ、元老院ニ於テハストロマンノ報告ニ基イテ可決セラレ、結核ノ豫防ニ就テ國民ヲ指導シ無資力ノ患者ニハ醫藥的ノ救済ヲナシ特ニ正確ナル醫療ノ指導ヲナスモノナリ。全國市町村ニシテ5年間連續シテ全國平均結核死亡率ヨリ超過ノ市町村ニ對シテハ相談所ノ設置ヲ命ジ、其他社會救済的衛生機關、相互組合、慈善事業家又ハ團體等ニモ其開設ヲ獎勵セラル。

此法律制定ノ結果ハ全國篤志家ノ活動ヲ誘起シ幾何モナク相踵イデ數多ノ相談所ノ建設ヲ見、最近1927年ニハ其數603個所ヲ算スルニ至ル、注目スベキハ全國所在ノ小都邑相尋デ相談所ヲ設置シタル事ナリ就中セーヌ縣ノ此種施設ノ充實ニハ同縣社會衛生局自ラ之ヲ經營シ、ウール・エ・ロアール縣ハ佛國結核豫防協會ノ援助ニヨリ其四郡ヲ通ジテ中央相談所ト副相談所20個所ヲ設ケ、各相談所ハ診察室及X線室ヲ有シ其他全國諸縣ニ於テハ各市町村ノ主要地ニ此種設置ヲ爲スニ至ル。

療養所ハ結核豫防上緊要ナル補足機關ニシテ、疾患ノ治療ヲ目的トスルト同時ニ活動力ノ回復及豫防教育ニヨツテ社會衛生上大ナル價值ヲ有スルモノニシテ、佛國ニ於ケル1919年9月7

日ノ法律ニハ結核患者ノ療養所施設ニ就キ新シキ3事項ヲ規定セラル。即チ其1、醫療上ノ指揮監督ハ尙1920年9月10日ノ大統領ニ其細目ヲ規定シ其2、資力ニ乏シク且醫療ヲ受クルノ要アル結核患者ニ對シテハ療養所收容ノ義務ヲ全國諸縣ニ課シ其3、國庫ノ補助ヲ以テ療養所、相談所間ノ連絡ルベキニ努ム、此規定ハ其施行未ダ日淺キニ拘ラズ全國諸縣中一ハ既ニ能ク法定ノ義務ヲ遵守シ之ヲ適用スルモ少ナカラズ。殊ニセーヌ縣社會衛生局ハ成年肺結核患者ノ爲ニ療養所ヲ經營シ其他ノ諸縣ニ於テモ相尋デ之ヲ新設スルニ至ル。1931年現在ノ本施設ハ107個所其總病床數11,237床ニ及ベリ。

退院患者ノ保護療養所ノ機能ト密接ノ關係アル重要問題ニ退院患者ノ保護ヲ怠ルベカラズ。所謂恢復期患者ノ保護事業ニシテ退院患者ニ對シ適當ナル職業ヲ教育シ、本人ト社會トノ爲ニ之ヲ有效ニ活動セシメントスルノ施設ニテ完備セル療養所ニハ缺クベカラザルノ設備ナリ。佛國ニ於ケル此施設ハ例ヘバカンパーヌ・レ・ベン村ノ農業再教育學校「シルリイ」恢復期患者「コロニー」ブル・ロース村ノ國立戰傷不具者再教育院、ヨンヌ縣ニ於ケル「パッシー」恢復期結核患者再教育所等ハ數多キ中一著明ナル者ナリ。

兒童結核豫防施設佛國ニ於ケル結核豫防施設中ニテ獨創的ナル施設ハ幼年者結核豫防事業ニテ、該事業ノ創設竝ニ擴充ニ就テハ佛國國民結核豫防委員會ガ之ヲ唱導シ各縣結核豫防委員會ガ其實施ニ努力ヲ與ヘタリ。

1、結核感染ノ虞アル健康兒童ノ豫防ハ簡單ニシテ兒童ヲ危險ナル環境ヨリ隔離スベキニテ、グランシユ氏ノ創案ニナル此種兒童ノ農村家庭委託ガ行ハレル本事業ノ成績良好ナルハ既ニ一般ノ認メラル、所ニテ、結核ノ父母ト同棲セル兒童ノ死亡率ハ約40%ナリシガ本事業ニヨリテ隔離セラレタル兒童ノ死亡率ハ0.1%ニ減少シ全國各縣下38個所ニ支部ヲ有シテ活躍ヲ繼續セラル。

2、嬰兒ノ隔離 其實行方法ニ就テハ佛國結核豫防委員會ノレオン・バルナル等ガグランシエノ事業ヲ延長シテ、嬰兒ノ隔離ヲ初メシモノニテ其努力ニ俟ツ所多ク其實施ハセース縣救濟局ヲ初メ從業救濟協會、嬰兒家庭委託協會等公私團體ニヨリテリケ所ノ支部ヲ設ケ活動シツツアリ。

3、豫防所 潜伏性結核兒童ニ對シテハ豫防所ヲ設ケテ休養ト榮養ノ補給ヲ講ズルト共ニ大氣療法、日光療法ヲ獎勵シ豫防ノ目的ヲ發揮セシムベク豫防所生活ヲ經タル後其兒童ヲ舉ゲテ健全ナル家庭ニ委託セシムルニアリ。然ラズンバ豫防所生活數ヶ月間ノ效果ハ一朝ニシテ消散スルニ至ルバシ。

4、戶外學校 虛弱兒童ノ大半ハ結核性疾患ニヨルモノニテ現代ノ公衆衛生専門家ハ此種特殊

ナル兒童ノ教育ニハ結核豫防ノ方法ガ應用セラレ、各所ノ豫防教育機關ヲ通ジテ屋外學習生活ノ方法ヲ獎勵スルニ至ル。

結核豫防ノ教化宣傳 結核豫防思想ノ普及ヲ圖ルハ各種ノ豫防方法中ニテ最基本的ニ屬シ、佛國ニテハ特ニ結核ニ關スル民間ノ迷信ト偏見ト無智トヲ消散セシメ、緊要適正ナル觀念ヲ擴メ以テ結核豫防事業ノ必須ナル所以ヲ國民ニ示シ之ヲ其心裏ニ注入センコトニ努力ヲ拂ヒツ、アルナリ。佛國々民結核豫防委員會ハ佛國民ノ豫防教育ニ就テ定期公報、冊子、「リーフレット」、映畫等ヲ發行シ地方結核豫防委員會ノ活動ヲ助ケ、1916年以來「ロックフェラー」財團駐佛結核豫防委員ノ援助ニヨリ全國38縣ノ主要地ニ結核豫防ノ宣傳ヲ試ミ、而全國所在幾多ノ縣結核豫防委員會ハ共濟組合、慈善團體、冶金鑛業組合ノ如キ各種團體ト協力シテ結核豫防事業ノ財源ヲ募ルニ努メリ。

國民結核豫防委員會ハ情報ヲ蒐集シ豫防事業ヲ宣傳シ、全國諸縣所在ノ當該諸機關ニ補助金ヲ分配シ管轄官廳ト豫防團體トノ連絡ヲ圖リ、全國ニ對スル刺戟及衝動力トナリ民間各種ノ創意ヲ促シテ之ガ指導ニ努ム、政府ハ之ヲ公益機關ト認メ今ヤ國立結核豫防院ト改稱スルニ至レリ。

大戰後佛國ノ結核豫防事業ニ貢獻多カリシハ結核豫防米國委員會即チ「ロックフェラー」財團ノ援助ニテ同會ハ國民結核豫防委員會ト協力シ、政府殊ニ衛生大臣ブルトンノ監督ノ下ニ佛國結核豫防ノ爲ニ盡カスル所實ニ多大ナリシ相談所ノ數ハ尙不充分ナルヲ以テ増シテ1000個トスル計畫ヲ有ス。此計畫ニヨル平均人口40,000、540平方基米ニ就キテ相談所ヲ有スル事トナル。小兒結核豫防施設ハ委託事業以外ニ26,96床ヲ有シ成人ニ對スル施設ヨリハ遙ニ好成績ヲ舉ゲラル、。

第 28 表 1931 年 1 月現在各種機關及其收容力

種 類	數	收容力
A、相 談 所	700ヶ所	
B、巡回看護婦養所	18ヶ所	
C、專任結核醫	101人	
D、巡回看護婦	1500人	
E、B、C、Gニヨル豫防接種		
F、乳幼兒家庭依托事務所	9ヶ所	
G、「グランシエ」式男子事務所	38ヶ所	
H、集團の小兒委託「センター」		
1、豫防所(プレベントリウム)		
a、平 原	112ヶ所	8210床
b、海 濱	33ヶ所	3911床
c、高 山	14ヶ所	891床
2、海濱療養所(肺以外ノ結核兒童)	61ヶ所	13588床
3、日光療養所(肺以外ノ結核兒童)	6ヶ所	362床
小兒結核豫防機關 合計	226ヶ所	26962床
I、療養所(成人收容)		
1、私 營	64ヶ所	4203床
2、公 營	43ヶ所	7034床
計	207ヶ所	11237床
J、結核病院(成人收容)	15ヶ所	3100床
K、一般病院ノ結核病棟及病室		6700床
成人ニ對スル結核豫防機關病床合計		21037床
收容病床全數		約48000床

小兒結核豫防機關ノ補助トシテ特ニ臨時救護所(巴里—23 個所)ヲ設ケラル、右ハ結核患者アル家庭ノ小兒ヲ其生活狀態ニ應ジテ醫師ヨリ豫防所、海濱療養所或ハ家庭委託ニ入ラシムベク指定サレタル際種々ノ事情(主トシテ手續、轉地ノ時期、收容機關ノ滿員等)ノ爲直ニ實行シ難キ場合其應急策トシテ臨時救護所ヲ設ケ一時此處ニ收容シテ小兒ノ接觸感染ノ危險ヲ救フベク企テラレタルナリ。

國家ノ補助ヲ受クル公立療養所(43 個所)7,034 床ヲ有スレドモ結核對策ノ理想トスル毎年ノ結核死亡數ト同數ノ病床ヲ備フルトスレバ未ダ其十分ノ一ニモ達セザル有様ニテ前途猶遠ナリト云ハザルベカラズ。

又凡テノ種類ノ肺結核患者ヲ收容スル病院モ其數僅ニ(15 個所)3,100 床ニテ之又不充分ニテ各縣トモ所要數ヲ具備スル病院ノ設立ヲ目下ノ急務トシテ其實現ニ努メラル。

其他官公私立ノ一般病院ニ於ケル結核病床ハ6,700 ヲ算スルモ其半數以上ハ巴里ニアリテ各地方ニハ其數極メテ少ナク當局者ノ最モ苦慮スル處ニテ結核豫防事業ノ實務ニ當ル專任醫師數モ相談所醫師數ノ七分ノ一ニ過ギザル狀態ニテ、近年巴里、リオン、ナンシー、ストラスブールノ四大學ヲ中心トシテ毎年3ヶ月間ノ結核ノ特別講習ヲ行ヒ專ラ結核専門醫ノ養成ニカヲ注ガレ居レリ。

以上記述セル如ク佛國ニ於ケル結核豫防施設ハ未不充分ナリトハ云ハ此種施設ナカリシ時代ト今日トヲ比較ストキハ全國ノ結核死亡率ハ明ニ低下シタルノミナラズ、大都市ニ於ケル結核ノ蔓延モ著シク防遏セラレツ、アルヲ認メザルヲ得ズ。

佛國ニ於テハ醫師ニ對シテ未ダ結核届出ヲ強制スルノ法律ナク從テ結核患者ノ統計ハ極メテ不完全ナルヲ免ガレズ。

1931 年全國ノ743 ヶ所ノ相談所ニ於テ受診セル459,471 人中結核患者ト診斷セラレタル者205,114 人、即受診者ノ44.7%ハ結核患者ニテ

(1926 年ノ患者率50.8%)。又巴里ニ於ケル人口每一萬結核死亡率ハ1898 年ニハ50 餘ナリシガ其後漸減ノ趨勢ヲ呈セリ。然ルニ1917 年—1918 年—ハ流行性感冒ノ大流行ノ爲結核死亡率モ高マリシモ大體ニ於テ低下ノ狀態ヲ示シ前掲ノ數字トナレリ。最近(1929 年)—ハ23.5ニ降り結核豫防事業ノ價值ノ大ナルヲ實證スルニ至レリ。

佛國ニ於ケル結核死亡率ガ英、米、獨等ノ列強ニ比シ、今猶高キハ結核豫防施設ノ未ダ全カラザルニ因ルモノニテ歐洲大戰後佛國朝野ハ大ニ悟ル處アリ。全力ヲ擧ゲテ結核豫防機關ノ擴張ト充實トニ熱中シツ、アルヲ以テ將來ノ效果ハ括目ニ値ヒスルモノアルベシ。

伊 太 利

古クヨリ結核豫防ニ就テノ法律ヲ有シ1900 年ニ至リ肺結核患者ノ届出義務ヲ命ズ但シ之ハ集合住宅、製酪所、搾乳場ニ制限シ又結核患者ノ死亡及轉居ノ場合ニ限レリ、爾後1917 年7月ノ法律ヲ以テ結核豫防及結核患者救護ヲ公益事業ト認メ州及市町村ヲシテ其經費ヲ負擔セシメ、各州委員ヲシテ療養所、病院、豫防所ヲ建設セシメ之ニ對シテ政府ハ無利子長期資金ヲ貸與シ又ハ自ラ其經營費ヲ分擔シタリ。更ニ1919 年ノ法律ヲ以テ1927 年6月30 日ニ至ル迄結核豫防機關建設ノ爲メ35 ヶ年償却無利子貸附ヲ國立貯蓄銀行ニ許可シ、而シテ伊國ニ於ケル結核相談所ハ大戰前ニハ23 箇所ニ過ギザリシモノガ1922 年110 箇所、1924 年168 箇所、1925 年182 箇所、1928 年ニハ242 箇所ヲ算スルニ至リ年々増加ノ傾キヲ示サレ、其活動ハ各國ノ相談所ト略々同様ニシテ結核ノ早期發見、營養品供給及患者ノ指導ニ努メ、慈善團體、公私結核豫防團體及衛生團體等ト連絡協調ヲ圖リ結核豫防ニカヲ盡ス。

私設團體ノ相談所ニ對シテハ中央政府ヨリ補助金ヲ與ヘ、1924、25 年度ニ於テハ相談所組織ニ對スル補助ハ235,000「リラ」、該經常費831,000「リラ」ニ及ベリ。

病院及療養所等ノ收容施設ハ主トシテ貧困階級ニ對シテ考慮セラレ、家庭ヨリノ隔離收容ノ充實ヲ期セラル1926年以後ローマ、ミラノ、レゲナノ、アルコ、アンカラノ、トリエスト等ノ各都市ニ公立「サナトリウム」ガ建設セラレ其他ノ既設療養所モ近年其病床數ノ増加ヲ見ルモノ漸ク多シ。伊國ニ於ケル1928年ノ施設左ノ如シ。伊國ニ於テ結核病院及療養所ニ對スル補助ハ1917年以後増額セラレテ9,665,600「リラ」ニ達シ小兒ノ外科的結核治療ニ對スル施設トシテ著名ナルハ「オスピーチ・ペルマテンチー」施設ニテ其總床ハ3900ヲ算スル。

其他伊國ニ於テハ結核豫防施設トシテ結核相談所附屬ノ日中「サナトリウム」學齡兒童ニ對スル戶外學校、都市虛弱兒童ニ對スル「プレントリウム」等多數ニ存在ス。

又各地方ニハ中央の機關ト連絡ヲ取り各地トノ結核豫防ニ努メ羅馬ニハ伊國「フェシスト」國民結核豫防協會ノ存スルアリテ活躍ノ中心トナレリ。

伊國ニ於ケル結核豫防ノ公衆智識開發ハ極メテ良好ニ運ビ講演ニ映畫ニ刊行物其他ノ方法ニ依テ宣傳ニカメ、内務省ハ結核豫防宣傳ノ要ヲ認メ1925年全國ニ令シテ結核豫防宣傳「デー」ヲ實施セシメラル。

第 29 表
伊國ニ於ケル結核豫防施設(1928年)

名 稱	個 所	病 床 數
結核相談所 「サナトリウム」	242ヶ所 :37ヶ所	2.891病床 } 9.864病床
結核病院 一般病院結核病棟	49ヶ所 159病棟	
海岸病院	25ヶ所	5.040病床
豫防所	68ヶ所	5.193病床
作業「コロニー」	2ヶ所	
戶外病院	55ヶ所	

伊太利ニ於ケル強制結核保險 1927年10月27日ノ命令ニヨリ結核強制保險ヲ規定セラレ、「フェシスト」政府ノ社會福祉ノ計畫ヲ示シタル勞

働法典第27條ハ總テノ疾病ニ對スル保險法制定ノ第一歩トシテ職業病及結核ニ關スル保險法ヲ制定スルヲ表示シタルモノナリ。

第一被保險者ノ範圍 結核ニ關スル保險ハ廢疾及老年保險ノ被保險者タル男女勞働者(工業商業及農業ニ於ケル賃銀勞働者)及海員ヲ以テ其強制被保險者トス。

本令ノ適用ヲ受クルモノハ7,5000,000人ト稱ス。

第二給付 本保險ノ目的ハ被保險者及其家族ニ對シ左記ノ如キ病院ニ於テ治療ヲ與ヘシム。

(イ)療養所ノ如キ特別醫療設備

(ロ)地方衛生當局ノ充分ナリト認ムル程度ノ隔離設備ヲ有スル病院

被扶養者ヲ有スル被保險者ハ病院ニ收容セラレタル場合ニ於テ其賃銀ノ多寡ニ依リ4—6「リラ」ノ等差アル手當金ノ支給ヲ受クルコトヲ得。病室不足ノ爲病院收容困難ナルニ際シテハ自宅療養ヲ以テ之ニ代ヘルコトヲ得、其治療期間中ハ手當金ヲ支給シ給付ヲ受クル權利ハ被保險者ガ病院收容又ハ自宅療養ヲ受クル前2年間ニ於テ24週間以上保險料ヲ支拂フベキ事ヲ要ス。

本令ニヨリ給付ヲ受ケ得ル者ハ被保險者ノ家族ヲ合シテ20,000,000人ニ達ス。

第三財源 強制結核保險ノ初期年額費用ハ三億「リラ」ニテ其財源ハ被保險者及其雇主ハ同額ゾツ負擔スル所ノ保險料ヲ以テ之ニ當テ、保險金ハ1週ニ付被保險者ノ1日ノ賃銀ノ多寡ニ依テ1又ハ2「リラ」トス。

本保險ノ主要ナル給付タル病院收容ヲ行フヘハ伊太利ノ現在ノ療養設備ハ餘リニ不充分タルヲ以テ茲10年間ニ二、三百ノ新ナル病院ヲ建設シ合計約2萬ノ床數ヲ設置スルヲ望ムナリト。是等ノ療養所、病院及相談所ノ建築物及設備ノ費用ハ約4億5千萬「リラ」ニ達スベク、而シテ此經費ハ國民社會保險金庫ヨリ之ヲ立替ヘ25年以内ニ利息附ニテ保險料ヨリ支拂ハル、ナリ。

第四機關 國民社會保險金庫ノ理事會及特別委

員會ヲ以テ構成スル自治機關ハ本保險ノ管理ヲ行フ、此理事會ハ本事業ノ行政事務ヲ指揮シ、又積立金ノ運用ニ關シ一般の規定ヲ定ムル權限ヲ有ス。特別結核保險委員會ハ國民社會保險金庫ノ理事長、理事會員4人(被保險者2、雇主2)、社會保險金庫ノ理事會ニ於ケル經濟大臣及大藏大臣ノ代表者、公衆衛生、勞働、社會福祉及財産ノ管理者、國民自治體會議ノ幹事、赤十字ノ代表者1人「フエシスト」國民同盟ノ代表者1名、國民社會保險ノ醫師及理事ヲ以テ之ヲ組織ス。

本委員會ハ自治機關ノ管理、殊ニ衛生施設、病院、療養所ノ建設計畫及給付拒絶ノ場合ノ訴訟ニ就キ責任ヲ有スル。

瑞 西

瑞西ニ於ケル結核豫防ノ由來ハ遠ク1899年篤志醫家ノ首唱ニヨリ高原療養所、簡易療養所ノ設置が行ハレ且ツ各州諸市及農村地方ニ相談所ヲ開設セラル。

瑞西中央結核豫防協會ハ其主管ノ下ニ立テル62ノ結核豫防協會ト協力シ相談所ノ經營、豫防思想ノ啓發等ニ努メラル。

其他瑞西國ニ於ケル結核豫防事業ハ成年結核豫防院、夏期收容所、恢復期靜養所、空氣療養所、戶外學校、休暇「コロニー」等施設ノ外、1923年創立セル、「レザン」大學々生療養所(學生各自ノ任意離出ニヨリ出來タル療養所)、陸軍衛生部附屬就業療養所等ノ施設ヲ見タリ。

聯邦會議ハ立法上ヨリ結核ノ豫防ニカメ獸疫法ニヨリテ牛結核ノ撲滅ヲ圖リ、工場從業法ニ基キテ工場ニ於ケル結核ノ豫防ヲ命ジ、汽車電車内ノ喀痰ヲ禁ジ、病毒蔓延ノ虞アル汚染食品(乳汁、麵粉、獸肉)ニ對スル取締ヲ命ジ、配偶者ノ一方結核ニ罹レル場合ニハ他ノ一方ノ健康ヲ保護スベキ措置ヲ裁判官ニ許與シ、結核ニ罹レル父母ヨリ其小兒ヲ隔離シテ之ヲ養護スベキ事ヲ後見人ニ命ゼラル、是等ノ方法ハ固ヨリ總テ必要ニハ相違ナキモ其規定散漫ニシテ其間何等ノ聯絡ナキヲ以テ結核豫防ノ直接效果ヲ有ス

ル聯邦法ノ發布ヲ要望サレ居レリ。

斯ク諸州ノ希望及意見ヲ徵シテ1913年8月ニ至リ聯邦衛生局ハ遂ニ聯邦結核豫防法案ヲ編纂シタリ。此時會々大戰突發ノ爲メ聯邦會議ハ更ニ緊急ナル當面ノ問題ニ執掌スルノ止ムナキニ至リ此法案ハ竟ニ其制定ノ緒ニ就クヲ得ザリシガ、大戰後再び其制定ニ著手シ此法案ノ内容ハ法律ヲ以テ結核豫防ノ主要原則ヲ規定シ之ガ適用ト運用トヲ自由ナラシメ州廳ト聯邦政廳ハ之ガ豫防ニ關スル若干ノ義務ヲ掲ゲ民間施設ノ創意ヲ鼓舞シ居レリ。其主ナル施設事項ハ從來ノ方式ヲ變更スルナク殊ニ相談所、療養所、豫防所及貧困結核患者救護機關ノ組織ニ關シテハ一層助長獎勵ノ方途ヲ講ジ、更ニ住宅衛生ニ關スル考慮ヲナセルガ如キ好ク實際ヲ把握セルモノニテ1925年聯邦會議ニ提出セラレ1928年ヨリ施行セラル、ニ至レリ。

第 30 表

瑞西ニ於ケル結核豫防施設概況(1930年)

名 稱	個 數	病床及人員
山 岳 療 養 所	32ヶ所	3,108床
病 院	79ヶ所	(小兒用720床)
「ブレベントリウム」	35ヶ所	5,881床(1930年)
外 氣 學 校	15ヶ所	1,980床
相 談 所	99ヶ所	
届 出 患 者		13,927人
相 談 所 訪 問 者		29,664人

丁 抹

丁抹ニ於ケル結核豫防事業ハ其監傷比較的古ク1875年既ニ結核兒童海岸療養所ヲ設置シ、1893年ニハ畜牛結核豫防ニ關スル布告ヲ發セラレ越ヘテ1898年ニハ家畜及豚ニ關スル法律ヲ布カレテ畜獸結核ハ嚴重ニ取締ラル、ニ至レリ。1896年ニハ同國ノ學者フンゼンニ依リテ皮膚結核ニ對スル光線療法ヲ研究セラレ、1897年急性傳染病法ニ附加シテ肺結核患者届出ヲ強制シ患者ノ隔離、患者屍體及排泄物ノ消毒、住宅被服ノ消毒等ニ關スル規定ヲ公布實施セラレ1919年ニハ肺結核以外ノモノニモ及ボシ、1900年

ザウグマン教授ノ創意ニヨツテ初メテ國立肺結核療養所ヲ設置スルニ至レリ。

丁抹國民結核豫防協會ハ 1901 年 1 月創立セラレ、爾來同國結核豫防事業ノ中樞トシテ實際調査、公衆教育、法制ノ改善等百般ノ豫防施設ニ就テ對策ヲ講究セラル。

結核豫防法ノ完備ヲ見タルハ 1901 年ニテ同年 10 月政府ハ國民結核豫防協會ニ其意見ヲ諮問シ、1905 年 4 月現行丁抹結核豫防法ガ發布セラレ、法律ニヨル豫防費ハ所屬市町村ノ負擔トシ國庫ハ特ニ其 4 分ノ 3 ヲ補助スル事トセラル、此法律ハ 1912 年、1918—19 年及 22 年ニ改正セラレ其内容ハ近代の豫防法トシテ他ニ恥ヂザルモノトナレリ。

第 31 表 丁抹ニ於ケル結核豫防施設ノ發達

	1875	1895	1900	1906	1912	1920	1928
療養所(個數)			1	9	16	16	16
病床數			93	763	1338	1338	1393
病院數				3	24	31	36
病床數				268	751	919	1083
患者ホーム數						4	4
病床數						127	132
海岸療養所數		2	2	4	8	9	11
病床數		55	55	10	270	450	571
海岸病院數	1	1	1	2	2	2	4
病床數	130	130	130	182	230	230	428
總計箇數	1	3	4	18	50	62	71
病床數	130	185	278	1319	2565	3064	3607

第 32 表

丁抹ニ於ケル結核死亡數ト結核病床數ノ増加

年次	死亡數	病床數	死亡者 100 ニ對スル病床數
1920	3,277	3,064	93.4
1923	3,016	3,385	112.2
1926	2,811	3,000	124.5
1928	2,626	3,607	137.4

其他諸國省略

以上記載シタル處ニヨルト、主要文明國ニ於ケル結核豫防事業ハ何レモ駸々トシテ其發展ヲ告ゲ、就中英、米、獨、丁ノ如キハ顯著ナル成績ヲ示シ、佛國モ兒童ノ養護ニ重點ヲ置キ患者ト兒童トノ隔離、カルメット等ノ B、C、G ノ豫防

接種法、又其成績良好ニシテ其他ノ豫防施設ニモ極力努ムルヲ以テ今後ノ發達期スバク、伊國又ムッソリニー首相ノ所謂結核宣戰ニ基ヅキ豫防施設ニ專念シ、死亡率ニ於テハ未ダ他ニ誇ルニ足ラズト雖モ今ヤ國內重症患者ノ跡ヲ絶タントスルノ状態ニテ、今後ハ治療ニ多クノ望ヲ囑ベキ患者ヲ餘スニ至レル有様ナルヲ以テ之又括目シテ其將來ヲ窺ハントス。

乙、我國ニ於ケル結核豫防狀況

明治 37 年 2 月內務省令第 1 號ヲ以テ肺結核豫防ニ關スル件ヲ發布セラレ、大正 3 年法律第 16 號ヲ以テ結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關スル件ノ公布ヲ見、同 8 年 3 月法律第 26 號ヲ以テ結核豫防法ヲ發布シテ結核ヲ取締マル、ニ至レリ。

結核豫防法

第 1 條 本法ニ於テ結核ト稱スルハ肺結核又ハ

喉頭結核ニシテ病毒傳播ノ危險アルモノヲ謂フ

第 2 條 醫師結核患者ヲ診斷シ又ハ其死體ヲ檢

案シタルトキハ患者ノ場合ニアリテハ患者又ハ

其居住ノ場所ノ管理ヲ爲ス者若ハ其代理ヲ爲

ス者、死體ノ場合ニ在リテハ死體所在ノ場所ノ

管理ヲ爲ス者又ハ其代理ヲ爲ス者ニ命令ノ定ム

ル所ニ依リテ消毒其他ノ豫防方法ヲ指示スヘシ

前項ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタル者ハ其指示ニ

從ヒ消毒其他ノ豫防方法ヲ行フヘシ

第 3 條 行政官廳ハ結核患者又ハ其死者アリタル

場所ニ付家屋物件ノ消毒其他ノ豫防方法ヲ施行

シ又ハ其施行ヲ患者又ハ場所ノ管理ヲ爲ス者

若ハ其代理ヲ爲ス者ニ命スルコトヲ得

第 4 條 行政官廳ハ結核豫防上必要ト認ムルト

キハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

1、業態上病毒傳播ノ虞アル職業ニ従事スル者

又ハ病毒蔓延ノ虞アル場所ニ居住シ若ハ其場所

ニ於テ職業ニ従事スル者ニ對シ健康診斷ヲ施行

スルコト

2、結核患者ニ對シ業態上病毒傳播ノ虞アル職

業ニ従事スルヲ禁止スルコト

3、學校、病院、製造所其他ノ多衆ノ集合スル

場合スル場所又ハ旅店、料理店、理髪店其他ノ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ付病毒傳播ノ媒介トナルヘキ事項ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ場所ノ管理ヲ爲ス者若ハ其代理ヲナス者ニ對シ結核豫防上必要ナル施設ヲ爲サシムルコト

4、古着、古蒲團、古木、紙屑、襪、飲食物其他ノ物件ニシテ病毒ニ汚染シ又ハ其疑アルモノ、賣買若ハ授受ヲ制限シ若ハ禁止シ、其物件ノ消毒若ハ廢棄ヲ爲サシメ又ハ其物件ノ廢棄ヲ爲スコト

地方長官ニ於テ前項ノ規定ニ依リ健康診斷ヲ施行シ又ハ物件ノ廢棄ヲ爲ス場合ニ於テハ其費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第 5 條 地方長官ハ結核豫防上必要ト認ムルトキハ採光、換氣其他ノ關係ニ於テ衛生上不良ナル建物ノ使用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得前項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ地方長官必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、補償金ヲ交付ス補償金ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第 6 條 主務大臣ハ結核患者ニシテ療養ノ途ナキモノヲ收容セシムル爲人口 5 萬以上ノ市又ハ特ニ必要ト認ムル其他ノ公共團體ニ對シテ結核療養所ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第 7 條 地方長官ハ結核患者ニシテ療養ノ途ナキモノ及豫防上特ニ必要ト認ムルモノヲ前條ノ規定ニ依リ設置スル結核療養所ニ入所セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル入所ノ費用ノ負擔及徵收ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第 8 條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ第 6 條ノ規定ニ依リ結核療養所ヲ設置スル公共團體ニ對シ其結核療養所ニ關シ公共團體ノ支出スル經費ノ 6 分ノ 1 乃至 2 分ノ 1 ヲ補助ス

第 9 條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ第 6 條ノ規定ニ依ラスシテ結核療養所ヲ設置スル公共團體又ハ公益法人ニ對シ其結核療養所ニ關シ公共團體又ハ公益法人ノ支出スル經費ノ 2 分ノ 1 以內ヲ補助スルコトヲ得

第 10 條 結核療養所ヲ設置スル公共團體ニシテ第 8 條又ハ前條ノ規定ニ依ル補助ヲ受クルモノハ他ノ公共團體ノ委託アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ途ナキ結核患者ヲ其結核療養所ニ收容スヘシ

第 11 條 北海道地方又ハ府縣ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ第 4 條第 1 項第 2 號ノ規定ニ依ル從業禁止又ハ第 7 條第 1 項ノ規定ニ依ル入所ニ因リ生活スルコト能ハサル者ニ對シ其生活費ヲ補助スヘシ

第 12 條 國庫ハ第 4 條第 2 項、第 5 條第 2 項又ハ前條ノ規定ニ依リ支出ヲ爲ス北海道地方費又ハ府縣ニ對シ其支出額ノ 4 分ノ 1 ヲ補助ス

第 13 條 官廳、公署、官立公立ノ學校病院製造所等ニ於テハ其長ハ第 4 條第 1 項第 3 號第 4 號及第 5 條第 1 項ノ規定ニ準シ結核豫防ニ關スル事項ヲ施行スヘシ

第 14 條 第 2 條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第 3 條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第 15 條 第 4 條第 1 項又ハ第 5 條第 1 項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

大正 3 年法律第 16 號ハ之ヲ廢止ス

大正 3 年法律第 16 號ニ依リ設置ヲ命シタル肺結核療養所ハ本法ニ依リ設置ヲ命シタル結核療養所ト看做ス

結核豫防法施行期日ノ件

(大正 8 年 10 月 22 日)
勅 令 第 449 號

結核豫防法ハ大正 8 年 11 月 1 日ヨリ之ヲ施行ス

結核豫防法施行令 大正 8 年 10 月 23 日
勅 令 第 450 號

改正昭和 3 年第 9 號

第 1 條 結核豫防法第 5 條第 1 項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ニ依リ損害ヲ受ケタル建物ノ所有者又ハ使用者ニシテ同様第 2 項ノ補償金ノ交付

ヲ受ケントスルモノハ制限又ハ禁止アリタル日ヨリ60日内ニ地方長官ニ交付ヲ申請スヘシ

第2條 補償金ノ額ハ建物ノ使用ノ制限又ハ禁止ニ由リ通常生スヘキ損害ヲ限度トシ地方長官ニ於テ3人以上ノ評價人ノ意見ヲ徴シ之ヲ決定ス

第3條 地方長官前條ノ規定ニ依リ、補償金ノ額ヲ決定シタルトキハ之ヲ建物ノ所有者及使用者ニ通知シ且建物所在地ノ市町村長ヲシテ建物ノ所在地及補償金ノ額ヲ所有者及使用者ヲ除クノ外建物ニ關シ權利ヲ有スル者ニ通知セシメ且相當ノ期間公告セシムヘシ但シ其期間ハ1ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス

第4條 前條ノ規定ニ依ル公告期間ヲ經過シタルトキハ地方長官ハ速ニ補償金ヲ交付スヘシ但シ公告期間内ニ建物ニ關シ權利ヲ有スル者ヨリ申請アリタルトキハ期日ヲ指定シテ其交付ヲ延期スルコトヲ得

第5條 結核豫防法第7條ノ規定ニ依リ入所ノ費用ハ結核療養所ヲ設置スル公共團體ノ負擔トス

第6條 結核療養所ノ管理者ハ前條ノ規定ニ拘ハラズ本人ヨリ入所ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

管理者本人ヨリ徵收スルコトヲ得スト認ムルトキハ其扶養義務者ヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ入所ノ費用ノ徵收ハ必要アルトキハ納付義務者ノ居住地又ハ財産所在地ノ地方長官又ハ市町村長ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

第1項ノ入所ノ費用ニシテ指定ノ期間内ニ納付ナキモノニ付テハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第7條 結核豫防法第7條ノ規定ニ依リ入所セシメラレタル結核患者入所中死亡シタルトキハ遺留財産ヲ以テ入所ノ費用ノ全部又ハ一部ニ充ツコトヲ得

第8條 結核豫防法第8條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ左ノ區分ニ依ル

1、結核療養所ノ創設費及擴張費竝ニ之ニ伴フ

初度調辦費ハ支出額ノ2分ノ1

2、其他ノ諸費ハ支出額ノ4分ノ1

第9條 結核豫防法第9條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ左ノ區分ニ依ル

1、結核療養所ノ創設費及擴張費竝ニ之ニ伴フ初度調辦費ハ支出額ノ4分ノ1乃至2分ノ1

2、其地ノ諸費ハ支出額ノ8分ノ1乃至6分ノ1

第10條 前2條ニ於テ支出額トハ事業ニ伴フ收入、國庫以外ノ補助金又ハ寄附金ノ額ヲ控除シタル支出精算額ヲ謂フ。但シ他ノ公共團體ヨリ受ケタル委託患者收容料ノ額ハ之ヲ控除セス前項ノ支出精算額ノ算出ニ付テハ公益法人ノ場合ニ於テハ寄附金ノ額ヲ控除セサルコトヲ得

第11條 結核豫防第10條ノ規定ニ依リ收容スヘキ委託患者ノ數ハ結核療養所ノ豫定收容人員ノ10分ノ1以内トス但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此限リニ在ラス委託患者ヲ收容シタル公共團體ハ患者ノ收容ヲ委託シタル公共團體ニ對シ委託患者收容料ヲ請求スルコトヲ得委託患者收容料ノ額ハ患者ヲ收容スル公共團體ニ於テ之ヲ定ム

第12條 收容シタル委託患者死亡シタルトキハ受託公共團體ハ其旨ヲ委託公共團體ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル公共團體ハ死亡者ノ相續人ノ扶養義務者又ハ家族ヲシテ直ニ其死體ヲ引取ラシムヘシ前項ノ規定ニ依リ死體ヲ取ルヘキ者引取ヲ爲サ、ルトキ又ハ死體ノ引受人ナキトキハ委託公共團體ニ於テ其死體ヲ引取ルヘシ此場合ハ於ケル費用ハ其公共團體ノ負擔トス

第13條 結核豫防法第11條ノ規定ニ依リ生活費ノ補給ヲ受クヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

1、從業ヲ禁止セラレタル者

2、從業ヲ禁止セラレ又ハ入所セシメラレタル者ノ配偶者又ハ子ニシテ現ニ之ト同一ノ家ニ在ル者但シ養子ハ家督相續人ニ限ル

3、前號ニ掲ケル者ヲ除クノ外從業ヲ禁止セラ

レ又ハ入所セラレタル者ニ依リ扶養ヲ受クヘキ者ニシテ従業ヲ禁止セラレ又ハ入所セシメラレタル時ヨリ引續キ之ト同一ノ家ニアルモノ

第14條 生活費ノ補給ハ生活費ノ補給ヲ受ケントスル者ノ申請ニ依リ地方長官ニ於テ其許否ヲ決定ス

第15條 生活費ノ補給ハ生活ニ必要ナル限度ヲ超ユルコトヲ得ス

第16條 生活費補給ノ程度、方法、期間、廢止及停止ニ關スル事項ハ地方長官ニ於テ之ヲ定ム

第17條 結核豫防法第5條第2項ノ補償金ノ額ノ決定ニ對シ不服アル建物ノ所有者又ハ使用者ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ、同法第11條ノ規定ニ依リ生活費補給ノ申請ヲ拒マレタル者又ハ其生活費ノ補給ヲ廢止若ハ停止セラレタル者ハ處分ヲ受ケタル日ヨリ60日內ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第18條 本令中市町村長トアルハ市制第6條ノ市ニアリテハ區長、市制町村制ヲ施行セザル地ニアリテハ市町村長ニ準スヘキ者トス

附 則

本令ハ結核豫防法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正4年勅令第102號ハ之ヲ廢止ス

結核豫防法施行規則(大正8年10月23日)
内務省令第20號)

改正大正12年第5號

第1條 結核豫防法第2條第1項ノ規定ニ依リ醫師ノ指示スヘキ消毒其他ノ豫防方法ハ左ノ各號及第6條ノ規定ニ準據スヘシ

1、唾痰ハ唾壺、布片、紙片又ハ下水、便池其他病毒傳播ノ危險ナキ場所ノ外ニ喀出セザルコト

2、唾壺內ノ唾痰ハ消毒シタル後之ヲ便池ニ投棄シ唾痰ノ附著シタル布片、紙片ハ之ヲ消毒シ又ハ便池ニ投棄スルコト

3、咳嗽、噴嚏ノ際ハ成ルヘク布片、紙片等ニテ口鼻ヲ覆フコト

4、患者ノ食器、手拭、寢具等ハ専用トシ衣服、寢具ハ時々日光ニ曝スコト

5、患者ノ居室ハ採光、換氣ニ注意シ掃除ハ濕布ヲ以テ拭淨スル等塵埃ノ飛散ヲ防クコト

6、患者ノ常用シタル衣服、寢具、書籍其他ノ物件ヲ他人ニ交付シ又ハ使用セシメントスルトキハ消毒スルコト

7、患者居室又ハ住家ヲ轉シタルトキハ其使用シタル居室又ハ住家ニシテ必要ト認ムル場所ヲ消毒スルコト

8、患者死亡シタルトキハ其使用シタル居室、衣服、寢具、書籍其他ノ物件ハ之ヲ消毒スルコト

第2條 學校、病院、製造所又ハ鐵道、電車、船舶、自動車、馬車等ノ發着待合所、劇場、寄席、活動寫真、旅店、下宿屋、料理店、理髮店、湯屋其他地方長官ノ指定シタル多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニハ液體ヲ入レタル適當箇數ノ唾壺ヲ配置スヘシ

警察署長又ハ警察分署長ハ前項ノ規定ニ依リ配置シタル唾壺適當ナラス又ハ其箇數十分ナラスト認ムルトキハ期日ヲ指定シテ其變更又ハ増置ヲ命スルコトヲ得

唾壺內ノ唾痰ハ消毒シタル後ニ非サレハ之ヲ投棄スルコトヲ得ス

第3條 前條ノ場所ニ於テハ唾壺以外ニ唾痰ヲ喀出スルコトヲ得ス

第4條 地方長官ノ指定シタル鑛泉場、海水浴場、轉地療養所ニ於ケル旅店ハ左ニ掲クル事項ヲ遵守スヘシ

1、營業ノ用ニ供スル寢具ハ白布ヲ以テ被包スルコト

2、前號ノ白布及貸浴衣ハ使用者ヲ更ムル毎ニ洗濯スルコト

3、結核患者若ハ其疑アル患者ノ宿泊シタル室又ハ使用シタル物件ヲ他人ニ使用セシメントスルトキハ消毒スルコト

前項ノ規定ハ前項以外ノ旅店及下宿屋、貸座敷其他ノ場所ニシテ地方長官ノ指定シタルモノニ之ヲ準用ス

第5條 病院其他患者ヲ收容スル場所ニ於テハ

左ニ掲クル事項ヲ遵守スヘシ

1、結核患者ト他ノ患者トヲ同室ニ收容セサルコト

2、結核患者ヲ收容シタル病室ニハ消毒スルニ非サレハ他ノ患者ヲ收容セサルコト

3、結核病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル物件ハ使用者ヲ更ムル毎ニ消毒スルコト

第 6 條 第 2 條第 4 條第 5 條ノ規定ニ係ル消毒ノ方法ハ大正 11 年 9 月内務省令第 24 號ニ依ルヘシ

但シ藥物ヲ以テ唾痰ヲ消毒スルニハ鹽酸加石炭酸水(防疫用石炭酸 5 分(鹽酸 1 分水 94 分)ヲ使用スヘシ

第 7 條 結核豫防法第 6 條ノ規定ニ依リ療養所ノ設置ヲ命セラレタル公共團體ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ療養所ノ位置設計及其收容人員ヲ定ムヘシ其變更ニ付亦同シ

第八條 結核豫防法第 3 條行政官廳ノ職務ハ警察署長又ハ警察分署長同法第 4 條行政官廳ノ職務ハ内務大臣又ハ地方長官之ヲ行フ

結核豫防法結核豫防法施行令及本令ノ規定ニ依ル地方長官ノ職務ハ東京府ニ在リテハ警視總監之ヲ行フ

附 則

本令ハ結核豫防法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
結核豫防ニ缺クハカラサル施設ハ相談所、療養所、病院及虛弱者保護者、乳兒ノ隔離、恢復期患者保護事業等ナリ。主要文明國ニ於ケル豫防成績ノ良好ナル所以ハ是等施設ノ發達ニ基カスンハアラス。

第 33 表

結核豫防法ニヨリ政府ヨリ補助ヲ受クル者

療 養 所 名	設立者	病床數
函館市柏野療養所	市立	60
札幌市立療養所	..	56
旭川市立療養所	..	35
東京市立療養所	..	1170
京都市宇多野療養所	..	200
大阪市立刀根山療養所	..	750
横濱市療養所	..	160
神戸市立屯田療養所	..	100
長崎市立療養所	..	60
新潟市立有明療養所	..	60
宇都宮市立療養所	..	30
名古屋市立入事療養所	..	184
静岡市立療養所	..	35
岐阜市立療養所	..	30
金澤市立若松療養所	..	80
岡山市立半田療養所	..	45
福岡市立屋形原療養所	..	45
廣島市立療養所	..	60
熊本市立療養所	..	60
仙臺市立療養所	..	35
東京府立清瀨病院	府立	200
福島縣立回春園	縣立	50
救世軍療養所	法人	200
岩手濟生會療養所	..	40
白山療養所	..	72
計		3817

以上ハ公設療養所又之ニ準ズベキモノニシテ此他官私立療養所一般病院内ノ結核病棟及結核病室ノ病床全部ヲ通算スルモ猶 9,000 床ヲ出テザル有様ナリ。

第 34 表 結核患者收容機關總覽(昭和 6 年 5 月現在)

區 別	個 數				現 在 收 容 機 關			結核患者收容定員
	官立	公立	私立	計	無料患者	有料患者	計	
結核療養所(結核病院ヲ含ム)	1	17	60	78	2467	1365	3832	4960
結核病棟ヲ有スル病醫院	9	10	84	103	327	762	1089	1893
結核病床ヲ有スル病醫院	4	17	204	225	127	756	883	2128
合 計	14	44	348	406	2921	2883	5804	8981

第35表 最近各國ニ於ケル結核病床數(國際聯盟衛生年報ニヨル)

國名	年次	結核死亡數	人口10萬ニ對スル結核死亡	結核病床數	結核死亡百ニ對スル結核病床數
丁 抹	1929	2,595	74	3,578	137.88
北米合衆國	1929	70,089	75	73,696	112.28
獨逸	1929	55,672	87	49,552	89.01
白耳義	1928	7,376	92	2,520	34.16
英蘭及ウエールス	1929	37,990	93	24,578	64.70
スコットランド	1929	4,580	94	3,452	75.37
瑞西	1930	5,056	125	7,207	142.54
伊太利	1927	55,179	142	22,988	41.66
諾威	1928	4,387	156	4,612	105.11
佛蘭西	1928	67,679	166	49,552	73.22
チェッコスロバキア	1929	26,125	179	929	34.91
日本	1930	119,635	187	8,981	7.51

上記ノ如ク我國ノ結核死亡數ハ世界主要文明國中最大地位ヲ占メ其死亡率ノ如キモ亦王座ヲ領スルモノニテ私カニ聲譽ニ堪ヘザルナリ。病床數ニ至ツテハ極メテ劣勢ヲ示シ、スコットランドノ10分ノ1、瑞西ノ20分ノ1ノ數ヲ有スルニ過ギザル如キハ到底本病ヲ豫防シ及之ヲ救フ所以ニ非ザルナリ。結核病床ハ1年間結核死亡者1名ニ對シテ1床ヲ準備スルヲ通則ト稱セラル、ニ拘ラズ、我國現在ノ狀況ヲ顧ミナバ我國結核豫防事業ノ如何ニ至難ナルカラ痛感セザルヲ得ズ。

結核相談所ハ結核豫防事業ノ尖端ニ立チ豫防上重要ナル機能ヲ有スルニ拘ラズ。我國ニ於テハ未ダ幼稚ニシテ活動ノ域ニ達シ得ザルハ遺憾トスル所ナリ他ノ豫防事業ト共ニ極力之ガ發展ヲ期セザルベカラズ。昨7年來「ラヂオ」放送局納付金ニ依テ之ガ豫防事業ニ資セラル、ヲ以テ多少ノ效果ヲ擧グベキニ相違ナキモ要スルニ九牛ノ一毛ニ値スルノ難ナクンバ幸ナリ。

左ニ昭和7年度、「ラヂオ」納付金ニ依テ計畫サレタル、結核豫防施設ノ大綱ヲ掲ゲン。

従前ヨリ各地方ニ於テ施設セラレタル結核豫防事業ハ猶存在スルモノ多クハ有名無實ニ近キモノニテ其效果ノ如キモ望ヲ措クニ足ルベキモノ尠ナシ。

「ラヂオ」納付金ニ依ル結核豫防施設

(昭和7年9月現在)

相談所 健康相談所ト稱スル常設ノモノニシテ醫師1名、看護婦1、2名、書記1名ヨリ組織スルモノ多シ。大ナルモノハX線装置アリ小ナルモノモ顯微鏡ヲ備フ。結核患者ノ早期診斷及藥治療法ヲ行ヒ時ニ巡廻シテ患者ノ自宅ヲ訪問シ、又巡廻看護婦ヲ派遣ス。

巡廻相談所 移動式健康相談所ニシテ一定ノ場所ニ於テ1週何日1月何日ト日ヲ定メテ出張シ診療相談ニ應ズ。醫師1名、看護婦1、2名、書記1名ヲ以テ組織スルモノ多ク時ニ患者ノ自宅ヲ訪問シ又巡廻看護婦ヲ派遣ス。

巡廻相談班 看護婦ノミヲ以テ組織スルモノ中ニハ醫師1名、看護婦1、2名ヲ以テ組織スルアリ。局所ヲ定メズ巡廻シ患者ノ自宅ヲ訪問シテ相談指導ニ従事ス。

輕快患者收容所 病症快方ニ向ヒタル者ヲ集メテ養護シ適當ノ授産ヲナス。

診療券發給 貧困患者ニ無料診療券ヲ與ヘテ開業醫ニ委託診療セシム。

委託入院 貧困ニテ入院治療ヲ行ヒ得ザルモノニ對シ適當ノ病院ニ委託入院セシム。

虛弱兒童養護 結核性虛弱兒童ニ對シ休暇(夏期)聚落ヲ行ヒ或ハ榮養品(肝油牛乳等)ヲ配給ス。

榮養品配給 貧困患者ニ對シ、榮養品ヲ配給ス。

第 36 表 道府縣別結核相談所數(醫師數欄ニ於ケル * 印ハ專任ヲ示ス)

道府縣別	官立	公立	私立	計	醫師數	昭和5年 取扱人員 實數	昭和6年 取扱人員 實數	昭和6年度 經常費豫算
北海道	—	4		4	157	140	143	156,000
東京	—	1	5	6	11 * 11	9684	19,190	66,434,000
京都	—	—	2	2	—	513	1138	12,320,690
大阪	—	2	7	9	20 * 4	2143	3262	5,930,000
神奈川	—	1	8	9	11 * 4	664	1104	1,420,000
埼玉	—	—	29	29	29	89	89	1,368,000
群馬	—	—	7	7	9	520	630	19,463,000
茨城	—	1	1	2	4	9	35	1,420,000
栃木	—	—	1	1	1	31	18	1,920,000
三重	—	—	3	3	2 * 5	4748	5086	77,700,000
愛知	—	—	1	1	—	—	—	—
滋賀	—	—	29	29	48	52	48	—
岐阜	—	—	12	12	囑託 12	95	86	92,000
長野	—	—	29	29	33	157	156	259,000
岩手	—	—	20	20	33 * 2	273	353	1,637,000
青森	—	—	262	262	262	257	281	5,000
山形	—	—	29	29	52	515	506	7,000
石川	—	—	18	18	33	189	159	120,000
鳥取	—	—	4	4	6	268	120	110,000
島根	—	1	18	19	67	71	155	252,000
岡山	—	—	2	2	26	380	452	840,000
山口	—	—	39	39	39	36	66	1,425,000
徳島	—	—	1	1	3	3	37	—
福岡	—	—	47	47	52	19	23	—
大分	—	—	25	25	48	492	480	50,000
佐賀	—	1	1	2	11 囑託 1	21	24	3,120,500
鹿児島	—	—	1	1	1	656	458	38,870,000
合計	—	14	601	615	兼 專 囑 計 926 26 46 998	22,063	34,097	235,019,190

第 27 表 道府縣別結核巡回看護ノ施設數

道府縣別	官立	公立	私立	計	醫師數	看護婦數	昭和5年 取扱患者 數	昭和6年 取扱患者 數	昭和6年度 經常費 (豫算) 円
東京		1	2	3	9	9		5118	56,534,570
神奈川			1	1		2		65	609,000
愛知			1	1		1		89	1,000,000
合計		1	4	5	9	12		5272	58,134,570

第 38 表 道府縣別結核性虛弱兒童ノ養護施設

道府縣別	官立 公立 私立			計	昭和 5 年取扱兒童實數			昭和 6 年取扱兒童實數		昭和 6 年經常費(豫算)
	收容定員	寄宿別	通學別		寄宿數	通學別				
北海道	—	3	4	7	810	272	120	163	220	2,337,07 ^円
東京	—	2	7	9	833	745	751	1112	838	57,213,32
大阪	—	1	1	2	230	229	—	213	—	21,543,00
神奈川	—	5	3	8	900	131	713	105	766	8,125,42
兵庫	—	—	1	1	60	35	21	50	10	2,000,00
新潟	—	—	6	6	(不詳)	248	346	159	394	3,806,55
埼玉	—	—	1	1	100	69	—	89	—	3,154,00
群馬	—	—	2	2	98	80	—	98	—	3,687,00
千葉	—	—	2	2	210	321	—	396	—	80,530,00
茨城	—	—	1	1	150	137	—	145	—	3,586,00
栃木	—	—	1	1	80	71	—	55	—	1,240,00
三重	—	12	7	19	1378	299	326	309	443	25,013,00
愛知	—	—	2	2	(不詳)	263	—	243	—	5,973,81
岐阜	—	13	2	15	(不詳)	—	817	154	511	2,977,00
長野	—	—	1	1	(一定セズ)	—	—	—	90	14,00
岩手	—	2	2	4	240	—	212	20	190	202,82
山形	—	5	2	7	80	386	210	431	413	1,659,72
福井	—	—	1	1	150	106	—	126	—	3,517,00
石川	—	2	—	2	560	—	560	—	560	780,00
徳島	—	—	1	1	30	25	—	23	—	350,00
愛媛	—	—	1	1	50	50	—	50	—	867,59
福岡	—	8	—	8	1512	700	933	849	1036	4,440,00
佐賀	—	2	1	3	235	148	—	231	—	2,308,00
鹿児島	—	2	—	2	—	—	136	—	122	—
合計	—	57	49	106	7706	4315	5144	5021	5593	236,336,20

第 39 表 道府縣別輕快結核患者ノ保護施設

道府縣別	官立	公立	私立	計	收容人員	昭和 5 年取扱患者實數	昭和 6 年取扱患者實數	昭和 6 年度經常費(豫算)
東京	—	—	2	2	35	10	53	10,969,000 ^円
大阪	—	—	1	1	26	51	35	12,781,000
神奈川	—	—	1	1	6	6	5	600,000
兵庫	—	—	2	2	26	84	74	19,137,000
新潟	—	—	3	3	36	—	28	795,000
三重	—	—	35	35	(不詳)	60	34	150,000
島根	—	—	1	1	20	15	8	450,000
合計	—	—	45	45	149	226	237	44,882,000

東京ニ於ケル結核豫防運動ニ携ハル主要團體左ノ如シ。

財團法人日本結核豫防協會 明治 37 年政府ハ

肺結核豫防ノ見知ヨリ公衆ノ集團生活ニ對スル豫防ノ行政措置ヲ講ジ爾來民間ノ輿論喚起トナリ豫防團體設立ノ必要強調セラレ、大正 2 年紀

元節ノ佳辰ヲナシ本結核豫防協會ノ創立ヲ告
 ゲ、昭和 6 年 11 月全國民の協力ニヨリ現日本
 結核豫防協會ノ成立ヲ見、各地方ニ於ケル各結
 核豫防協會トハ合心異體トシテ共同結核豫防事
 業ニ従事ス。

目的及事業

本會ハ結核ノ豫防撲滅ヲ期スルヲ以テ目的トス
 前條ノ目的ヲ達スル爲本會ニ於テ行フ事業ノ概
 目左ノ如シ。

- 1、結核病ノ豫防、救治ニ關スル調査、研究、
 圖書雜誌ノ編纂及器械器具ノ製作ヲ爲スコト
- 2、結核豫防救治ニ關スル實物、標本、模型、
 圖書其他必要ノ物件ヲ公衆ニ展覽セシムルコト
- 3、結核豫防救治ニ關スル講演會其他思想普及
 ノ施設ヲ爲スコト
- 4、結核豫防團體ノ聯絡及後援ヲ爲スコト
- 5、國際的結核豫防團體ト努力スルコト
- 6、前各號ノ外結核病豫防ニ關スル施設ヲ爲ス
 コト

會員 贊助員

本會ハ會員ヲ分チテ名譽會員、特別會員、正會
 員及團體會員ノ四種トス。

- 1、名譽會員ハ學識名望ヲ有シ本會ニ特別功勞
 アル者ニシテ評議員會ノ議決ヲ經會頭ノ推薦シ
 タル者
- 2、特別會員ハ一時若ハ年賦ヲ以テ金 30 圓ヲ
 超過シタル金額ヲ出資スルモノ
- 3、正會員ハ一時若ハ年賦ヲ以テ金 30 圓ヲ出
 資スル者
- 4、團體會員ハ毎年金 30 圓ヲ出資スル法人及
 法人ニ非サル團體

本會ニ金品ヲ寄附シタル者ニシテ前條各號ノ一
 ニ該當セザルモノハ之ヲ贊助員トス

本會員タラムトスルモノハ其旨事務所ニ申込ム
 ベシ出資ヲ分納セムトスル者亦同シ

前項分納金ハ毎年 1 月 31 日迄ニ納付スベシ

會員退會スルモ既ニ出捐シタル金品ハ之ヲ返還
 セズ

會員又ハ贊助員ニシテ本會ノ體面ヲ汚辱スルノ

行爲アリト認ムル者ハ評議員會ノ議決ヲ經テ之
 ヲ除名スル事アルベシ

役員 省略

事業ノ概要

結核智識ノ普及 結核病撲滅ノ方策ハ一ニシテ
 足ラズト雖モソノ根本ヲナスハ公衆カ本病ノ病
 理及豫防方法ニ就テ正確ナル知識ヲ有シ之ヲ實
 行スルニアリ。故ニ本會ハ創立以來此點ニ留意
 シ常ニ日新科學ノ趨勢ニ鑑ミ本病豫防ニ關スル
 思想普及ノ羅針盤タランコトヲ期シ居レリ。

- 1、機關雜誌『人世ノ幸福』發行
- 2、小冊子汎布
- 3、宣傳「ポスター」及「リーフレット」ノ汎布
- 4、講演會
- 5、結核映畫「フィルム」ノ作製頒布

結核豫防施設ノ充實促進

- 1、結核豫防法ノ制定ニ寄與
- 2、結核療養施設充實行政當局ニ對スル意見
 開陳
- 1、內務大臣諮問ノ答申
- 2、文部大臣諮問ノ答申

答申ニ對シテハ本會ハ毎年各加盟團體ヨリノ意
 見ヲ徵シ慎重ニ攻究シ成案ヲ得テ當局ニ答申書
 ヲ提出セリ。

地方團體ノ統制及指導 各府縣ニ結核豫防會ノ
 設置ヲ勸誘シ之ガ指導協力ニ努メ其發展ノ便宜
 ヲ計ルハ本會創立以來ノ重要ナル事業ノ一ニ
 シテ、即チ大正 2 年本會ノ成立スルヤ風ヲ望
 ンデ起ツモノ當時 20 餘、爾來絶ヘズ其數ヲ増ス
 ニ至リ今ヤ全國ニ結核豫防團體ノ設置セラレザ
 ル地方殆ドナキ有様ニテ、本會ハ是等團體成立
 ノ助成事業ノ援助、講師ノ派遣、資料ノ貸與ヲ
 ナシ大正 3 年ニハ是等團體ノ關係者ヲ糾合シ、
 全國結核豫防聯合會ノ名ノ下ニ斯道發展ノ協議
 ヲ遂ゲ、爾來毎年一回順次各地方ニ之ヲ開催シ
 全國的結核豫防聯盟トシテ有力ナル機能ヲ發
 揮スルニ至レリ。先年國際結核豫防協會加入ノ
 爲メ前記聯合會ヲ日本中央結核豫防會ト改稱シ
 テ本會其事務ヲ掌管シ、加盟團體ノ數ハ 50 ヲ

以テ算スルニ至リ其後昭和6年秋ヨリ本會自ラ全國の統制團體トナリ前記各地方協會ハ本會ノ團體會員トナルニ至レリ。茲ニ於テ本會ハ國民的協會トナリタル次第ナリ。

協議會ノ開催 前項ノ如ク大正3年全國ノ地方結核豫防團體ハ聯合シテ結核豫防ニ關スル協議會ヲ催フシタリ。實ニ全國結核豫防協會ノ聯合大會ニシテ朝野ノ社會ニ反響ヲ與ヘテ本病豫防事業ノ促進ニ資シ昭和6年本會定款ヲ改正シ之ヲ本會協議會ト稱スルニ至レリ。

國際的協和 歐洲大戰後國際結核豫防協會ノ組織セラル、ヤ我國ニ對シテ屢々加盟協力ヲ勸誘シ來リ、大正14年國民的豫防協會ノ名ニ於テ之ニ加入シ、政府亦之ニ協戮ヲ與ヘラル、第6回總會以後引續キ代表者ヲ委嘱シテ出席セシメ同協會評議員會ノ一員トシテ國際的重要事項ノ處理ニ參加スル事トナレリ。

兒童健康及榮養聚落ノ開催 昭和4年以來千葉縣富浦海岸ニ夏季聚落ヲ開キ毎回70—100名ノ兒童ヲ收容シ榮養及衛生的顧慮ヲ拂ヒ來レリ。健康相談及診療事業 昭和5年10月豫防診療「センター」ヲ開キ、同7年4月更ニ同支部ヲ設ケ豫防事業ニ從ヒ巡回看護婦ヲ附屬セシメ患者家庭保護ニ當ラシメリ。

社團法人白十字會 明治44年2月11日ノ創立ニシテ同年10月20日法人組織ヲ認可セラル。

目的及事業

本會ハ結核病ヲ撲滅スルヲ以テ目的トス前條ノ目的ヲ達スル爲本會ハ左ノ事業ヲ行フ

- 1、結核早期診斷
- 2、林間學校 將來結核ニ感染ノ虞レアル腺病質兒童虛弱兒童等ヲ收容シ、專ラ健康増進ヲ圖リツ、併テ國民教育ヲ施ス。

位置、神奈川県茅ヶ崎小和田海岸
敷地、6000坪 建物、15棟404坪

開校、大正6年8月1日 定員、80名

- 3、結核知識ノ普及ヲ圖ル爲月刊雜誌及單行小冊子類ヲ發行シ之ヲ廣ク社會ノ各階級ニ頒布ス
- 4、結核豫防講演 本會目的貫徹ノ爲隨所ニ講演會ヲ開催或ハ招聘ニ應ズ。

東京府、市ニ於ケル療養所及健康相談所左ノ如シ、

東京府立清瀨病院 北多摩郡清瀨村所在 (結核療養所)

患者收容力 250名

東京府立八王子健康相談所 所在府下八王子市新町

東京市療養所 所在中野區江古田3丁目

患者收容力1,170名 敷地32,841坪90、建物7,124坪523 昭和8年度豫算626,887圓、1日1人當經費入院1圓303、委托1圓350、豫定人員入院1,170 委托293。

大塚健康相談所 開設昭和6年6月1日所在小石川區大塚辻町、8年度豫算20,292圓。

廣尾健康相談所 開設昭和7年6月1日所在澁谷區豐澤町、8年度豫算20,542圓。

下谷健康相談所 開設昭和7年10月、所在下谷區三ノ輪町、8年度豫算20,471圓。

本所健康相談所 開設昭和7年10月、所在本所區厩橋2丁目、8年度豫算20,963圓。

中野健康相談所 開設昭和8年4月1日、所在中野區東郷町、8年度豫算11,790圓。

大井健康相談所 開設昭和8年4月1日、所在品川區大井南濱川町、8年度豫算11,595圓。

尾久健康相談所 開設昭和8年4月1日、所在荒川區尾久町8丁目、8年度豫算11,417圓。

第40表ノ1 結核患者收容所(結核病院醫院ヲ含ム) 昭和8年5月末現在

所在地	名稱	經營者	結核患者收容定員			現在收容結核患者數		
			無料	有料	計	無料	有料	計
中野區江古田3ノ1161	東京市療養所	東京市	890	280	1170	879	279	1158
北多摩郡清瀨村上清戸613	清瀨病院	東京府	250	—	250	207	—	207

杉並區和田本町 875	救世軍療養所	在日本救世軍財團	30	200	230	29	155	184
芝區白金三光町 128	養生園	社團法人北里研究所	—	159	159	—	99	99
中野區江古田3ノ1697	淨風園	竹内茂代	—	93	93	—	93	93
中野區江古田3ノ1180	ガーデンホーム	ミンナタブソン	10	60	70	2	57	59
江戸川區小岩町3ノ3051	江戸川病院	加藤峰三郎	—	68	68	—	53	53
大森區森ヶ崎町 5775	永井病院	永井秀太	—	44	44	—	17	17
大森區大森1ノ13	大森病院	野中萬次郎	—	42	42	—	42	42
日本橋區中洲町 13	糸川病院	糸川欽也	—	40	40	—	14	14
四谷區番衆町 36	鴻上病院	鴻上慶治郎	—	22	22	—	13	13
本郷區元町2ノ35	成器寮醫館	田澤秋作	—	20	20	—	13	13
澁谷區伊達 99	弘重病院	弘重壽輔	—	20	20	—	13	13
四谷區北伊賀町 2	近藤病院	近藤乾郎	—	14	14	—	3	3
神田區末廣町 21	導和病院	佐々木秀一	—	10	10	—	3	3
麴町區九段4ノ15	東洋内科醫院	高田啡安	—	9	9	—	8	8
計			1180	1081	2261	1117	862	1979

第 40 表ノ 2 結核病棟ヲ有スル病醫院

所在地	名稱	經營者	結核患者收容定員			現在收容結核患者數		
			無料	有料	計	無料	有料	計
北多摩郡千歲村下祖師ヶ谷 1025	社團法人至誠會病院千歲分院	社團法人至誠會	—	63	63	—	48	48
本郷區本富士町 1	東京帝國大學醫學部附屬病院	東京帝國大學	—	46	46	4	50	54
澁谷區宮代町 1	日本赤十字社病院	社團法人日本赤十字社	18	19	37	18	17	35
芝區赤羽町 1	恩賜財團芝濟生會病院	恩賜財團濟生會	32	—	32	32	—	32
牛込區戶山町 1	恩賜財團牛込濟生會病院	恩賜財團濟生會	26	6	32	23	4	27
芝區白金台町 1ノ39	傳染病研究所附屬病院	東京帝國大學	—	32	32	—	25	25
小石川區雜司ヶ谷町 120	東京帝國大學醫學部附屬病院分院	東京帝國大學	—	20	20	—	14	14
計			76	186	262	77	158	235

第 40 表ノ 3 結核病床ヲ有スル病醫院

所在地	名稱	經營者	結核患者收容定員			現在收容結核患者數		
			無料	有料	計	無料	有料	計
麴町區富士見町 2ノ213	東京警察病院	自警會	—	40	40	—	37	37
神田區駿河臺 2ノ23	杏雲堂病院	佐々木隆興	—	36	36	—	16	16
本所區東兩國 1ノ20	佐々木病院	佐々木謙	—	28	28	—	18	18
神田區駿河臺 1ノ8113	日本大學附屬病院	財團法人日本大學	—	26	26	—	22	22
四谷區西信濃町 22	慶應病院	財團法人慶應義塾	—	24	24	1	16	17
京橋區明石町 31	田村病院	田村光顯	—	18	18	—	2	2
芝區愛宕町 2ノ105	東京慈惠會醫院	社團法人東京慈惠會	6	10	16	6	10	16

牛込區河田町 6	東京女子醫學專門學校附屬病院	財團法人東京女子醫學專門學校	—	16	16	—	9	9	
杉並區阿佐ヶ谷 4 / 916	河北病院	河北眞太郎	—	15	15	—	12	12	
日本橋區濱町 2 / 17	天佑堂病院	松山俊胤	—	12	12	—	1	1	
下谷區上野櫻木町 33	濱野病院	濱野太吉	—	10	10	—	10	10	
下谷區中根岸町 24	下谷病院	醫師會代表 北島多一	—	10	10	—	10	10	
品川區北品川 3 / 212	御殿山病院	萩原良一郎	—	10	10	—	8	8	
四谷區荒木町 10	近藤内科療院	近藤乾郎	—	9	9	—	4	4	
芝區白金三光町 118	北里研究所附屬病院	社團法人北里研究所	—	9	9	—	1	1	
牛込區神樂町 3 / 6	藤本内科病院	藤本武平二	—	8	8	—	4	4	
淺草區須賀町 3	明治病院	鳥居武雄	—	7	7	—	2	2	
神田區今川小路 2 / 4	長谷川病院	長谷川 基	—	6	6	—	4	4	
四谷區新宿 3 / 13	武藏野病院	河西健一	—	6	6	—	4	4	
城東區大島町 2 / 819	山田病院	山田 清	—	6	6	—	5	5	
四谷區番衆町 36	皆川醫院	皆川弘毅	—	5	5	—	—	—	
下谷區龍泉寺町 414	日野病院	日野信次	—	5	5	—	5	5	
下谷區中根岸町 3	柿本病院	柿本庄六	—	5	5	—	3	3	
神田區小川町 3 / 28 / 4	額田内科病院	額田 晉	—	4	4	—	2	2	
日本橋區江戸橋 1 / 15	江戸橋病院	中川忠次郎	—	4	4	—	3	3	
下谷區新坂本町 63	杉山病院	杉山 伸	—	4	4	—	4	4	
王子區王子町 1341	王子病院	佐久間利久	—	4	4	—	3	3	
日本橋區江戸橋 1 / 10	日本橋病院	岡本武美	—	3	3	—	1	1	
牛込區市ヶ谷台町 10	久野病院	久野脩三	—	3	3	—	1	1	
牛込區早稻田鶴卷町 304	早稻田病院	岡本京太郎	—	3	3	—	1	1	
西多摩郡西秋留村引田 13	西秋留村外六ヶ町村組合立病院	西秋留村外六ヶ町村	—	3	3	—	2	2	
神田區和泉町 1	共立病院	大河原 徹	—	2	2	—	—	—	
京橋區横町 2 / 3	青柳病院	青柳 登一	—	2	2	—	—	—	
四谷區新宿 1 / 12	敬愛病院	河合三郎	—	2	2	—	—	—	
牛込區早稻田南町 37	簡野病院	簡野松太郎	—	2	2	—	—	—	
本所區林町 2 / 76	林町病院	野嶽利七	—	2	2	—	—	—	
品川區大井水神下町 2013	水神下病院	河合峻策	—	2	2	—	—	—	
品川區大井山中町 4351	加茂病院	加茂貫一郎	—	2	2	—	—	—	
王子區赤羽町 1 / 381	平田病院	平田重厚	—	2	2	—	—	—	
淺草區左衛門河岸三號地	千葉病院	千葉 卓一	—	1	1	—	—	—	
淺草區南元町 27	石井病院	石井喜四郎	—	1	1	—	1	1	
荏原區中延町 1018	昭和醫學專門學校附屬病院	代表者 岡田和一郎	—	1	1	—	—	—	
計				6	368	374	7	221	228
合				1262	1635	2897	1201	1241	2442

第二章 警視廳ニ於ケル結核豫防事業

我警視廳ニ於テハ昭和3年1月ヨリ廳内ニ結核相談所ヲ開キ一般公衆ノ相談ニ應ジ、同5年ヨリハ巡廻相談班ヲ設ケ醫師2名、看護婦2名、

事務員1名ヲ以テ之ヲ組織シ、各警察署ヲ巡リ2日間宛ノ作業ニ服シ1週1警察署若クハ2警察署ヲ巡廻シ、其間取扱ヒタル患者ヲ必要ニ應

ジテ更ニ廳内診察室ニ於テ「レントゲン」診断ヲ行ヒ竝ニ患者家庭ヲ訪ネ其生活状態ヲ視察シ、療養、豫防消毒ニ就テ注意シ指導ヲ與ヘ患者及家族ノ理解ヲ喚起シ正シキ療養、豫防ヲ講ゼシムルヲ目的ノ下ニ作業ヲ繼續シ來レリ。而シテ吾等ノ作業ヲ記セントハルニ當リ先ヅ療養、豫防ニ關シ之ガ指導ノ指針トナルベキ學界ノ概觀ヲ擧グル蓋シ無用ニ非ザルベシ。

結核ハ正シキ療養ニ依テ恢復シ得ベシ

結核ハ人類ノ多クハ一度ハ之ガ侵襲ヲ受クルモノトテ、此侵襲ヲ絶對ニ防グコトハ殆ド不可能事ト謂フベク加之結核ノ侵襲アルモ個體ニ對抗的標準アルニ於テハ必ズシモ結核症ヲ起スモノニ非ラズ。不幸罹患スルコトアルモ早期ニ本症タルコトヲ診斷シ規律アル生活、竝ニ以下述ブル處ニ從ヒ無論醫師監視ノ下ニ怠リナク實行スルニ依テ、治癒ニ向ハシムルヲ得ベシ。唯恐ル結核ハ非常ニ長キ經過ヲ取り時ニ消長アルヲ以テ、無責任ナル徒ノ言動ニ左右セラレ或ハ呪、責ト者輩ニ誤マラル、ナキヲ注意セザルベカラズ。

療養指導上必要ナルハ患家ヲ視察シ、家庭ノ状況及事情ヲ知り而シテ患者ニハ堅實ナル意志ト正シキ理解トヲ以テ安ジテ療養ニ從ハシムベク決シテ焦慮、煩悶等不安ニ陥ラシメザル様努メザルベカラズ。

療養ノ主眼トシテ安靜ヲ擧ゲザルベカラズ。勿論病型、症狀、中毒状態ノ如何ニ依テ様ナラスト雖ドモ之ニヨリテ症狀ノ増進ヲ防ギ佳良ノ經過ヲ取ラシムルヲ得ベシ。デットワイレルハ ブレーメル 先生ノ弟子ノ一人トシテ先生ノ薫育ヲ受ケタルモノナルガ先生ノ大氣療法ニハ無論贊同スルモ運動ハ病肺ノ負擔ヲ重カラシメ益々病勢ヲ増サシムトノ見解ノ下ニ大氣靜臥療法ヲ行フテ好成績ヲ擧ゲ後年 フンケンステイン ニ療養所ヲ經營スルニ至レリ、靜臥ニ次ヅ沈黙法又必要トス。

大氣療法

之又結核療養ノ主ナル療法ノ一ニシテ、前記

ブレーメル、テットワイレル、「トルウドウ」療養所ノ ブラウン 等ノ熱心主張セル處ニシテ成ルベク戶外新鮮ナル大氣中ニアルヲ理想トスルモ實際ニ於テハ無理ナル問題タルヲ以テ出來得ル限り室ヲ開放シ假令寒中ト雖ドモ常ニ新シキ大氣ニ接觸スベキナリ。

比較的換氣ノ行ハルル日本室ニ於テモ、六疊室ニ障子ヲ鎖シ炭火ヲ置キテヨ名居住スルニ於テハ1時間ニシテ健康範圍ノ炭酸量ヲ超エ且一酸化炭素ノ加ハルアリテ猶大氣ヲ汚染シ、室内ノ溫度ヲ増シ濕度加ハリ體温ノ放散ヲ妨ゲ爲ニ患者ハ體温ノ上昇ヲ來シ易ク、又室ノ閉鎖ニヨリテ換氣ヲ遮リ溫度、濕度ノ昇騰ハ盜汗ヲ來サシムルノ恐アリ。勿論寒氣強キカ風烈シキ時ハ之ヲ調節スルノ要ハアルガ密閉主義ハ禁ズベシ。寒冷ノ際病室内ヲ暖ムルヨリハ褥中ヲ温ムルヲ可トス。

成人1日ニ要スル大氣量ハ11.52立方メートルニシテ室内炭酸量ハ1%以上ニ達スルトキハ吾人ノ健康範圍ヲ超過シタルモノトテ濕度ハ季節、個人的動靜ニヨリテ様ナラズト雖ドモ45—50%ヲ適當トセラル。

日光

日光ハ生物生存上1日モ缺クベカラザルモノニテ其本態ハ太陽輻射線ニアリ、而シテ波長ノ短キ紫外線ニ歸セザルベカラズ紫外線ハ太陽ヨリ地上ニ達スル中間ニ於テ大氣、塵埃ニ吸收セラレ水蒸氣ノ影響ヲ受ケテ差異ヲ來ス。我國ニテハ夏ノ富士山ニテ19%東京ニ於テハ36%ノ太陽「エチルギー」ヲ失フ。

太陽輻射線殊ニ紫外線ハ生物ニ對シテ大ナル作用ヲ呈ス。即チ日光療法ノ根本義ヲナスナリコトハ結核菌ハ日光直射ニヨリテ2、3時間ニテ死滅シ薄板上ニテ直射乾燥セシムルトキハ2時間猶生存シ細菌毒素ハ日光ニヨリテ酸化セラルトイハル。而シテ日光光線ノ適量ニ於テハ化學的作用殊ニ酸化還元及醱酵作用ヲ助長シ、紫外線ハ深達スルコトナク皮膚ニ作用シテ皮膚全體ノ官能高マリ從テ其官能ノ一ナル免疫素發

生作用増加シ之ガ生體ニ有效ニ作用スルナリ。我國ニ於ケル日光紫外線ハ歐洲ニ於ケル夫ト異ナリ其含量比較的豊富ナルヲ以テ夏季何等ノ準備ナク、無條件ニテ日光照射ヲ行フハ危険ナルモノトテ又結核患者ヲ海岸ニ轉ビシメ徒ニ炎天下ヲ逍遙セシムル如キハ冒險ノ甚シキモノニテ爲ニ患者ハ著シク増悪シ或ハ多量ノ咯血ヲ來スコト珍シカラズ。カカル夏ノ土地ニテハ廣ク室ヲ開放シ新シキ大氣ノ流入兼テ分散光線ヲ限ナク入ラシメ猶海岸ヨリ少シク離レタル松林地ヲ可トス。然レドモ夏期ハ山地ヲ撰ブテ完全トス。日光療法ヲ行フニハ醫師ニ諮リ醫師監視ノ下ニ之ヲ行フベキナリ。

人工紫外線療法ノ如キモ外科の疾患ニハ效果ヲ呈スベキモ肺結核ニハ多クノ期待ヲ囑スベキモ非ラザルバシ猶肺結核症狀ノ進行シタルモノニハ本療法ハ之ヲ避クルヲ可トス。

日光浴ハ適應症ヲ撰ミ正シク之ヲ行フニ於テハ大ナル效果ヲ擧グルヲ得バク、日光紫外線ハ硝子ニ吸収セラル、ヲ以テ直接ニ之ヲ當ルヲ要ス。而シテ人類活力ノ維持上短波長2900乃至3100A.U.ヲ適當ト稱セラル。之ヲ行フニ當テ突然之ヲ爲セバ健康者ト雖ドモ害ヲ受クルモノナレバ患者ニハ一定ノ規律ノ下ニ之ヲ行ハザルベカラズ。日光浴ハ紫外線量ノ少ナキハ害ナキモ多キニ尖スレバ障礙ヲ來ス虞アリ、日光浴ト同時ニ肥肝療法ヲ行フハ避ケザルベカラズ。之レ心臟ノ荷重ヲ増サシムルノ恐アルナリ。

日光療法ノ適應症及禁忌症トシテハ、皮膚結核、關節結核、脊椎「カリエス」及他ノ骨結核、肋膜炎、結核性胸膜炎、泌尿器結核、副睾丸結核、結核性痔瘻、佝僂病、骨軟化症、其他陳舊ナル外科の疾患ニハ適應症トシテ推稱シ得ルモ肺結核ニハ無條件ニテ之ヲ行フハ危険ナリ。必ズヤ醫師監視ノ下ニ之ヲ行ハザルベカラズ。

急性肺結核、急性肋膜炎、心臟疾患、神經質ノモノニハ慎重ノ注意ヲ要シ全身衰弱強キモノハ之ヲ避クベシ。

左ニレサンニテ行ハル、ロリエーニヨル日光浴

法ヲ紹介セントス。

第41表 ロリエー氏ニヨル日光浴方法

日 割	頭部以下	上腹部以下	大腿部以下	膝部以下	足部以下
第1日					5分間
第2日				5分間	10分間
第3日			5分間	10分間	15分間
第4日		5分間	10分間	15分間	20分間
第5日	5分間	10分間	15分間	20分間	25分間
第6日	10分間	15分間	20分間	25分間	30分間
第7日	15分間	20分間	25分間	30分間	35分間
第8日	20分間	25分間	30分間	35分間	40分間
第9日	25分間	30分間	35分間	40分間	45分間
第10日	30分間	35分間	40分間	45分間	50分間

第11日目ヨリ第15日迄ハ之ト同割合ニ時間ヲ延長シ、其後ハ初ヨリ全身ノ日光浴ヲ行ヒ其時間ヲ3時間トス

榮養食餌

患者ノ體力ヲ維持シ及之ヲ増進セシムル目的ノ下ニ消化竝ニ吸収シ易キ食餌ヲ偏食ニ涉ラザル様攝取セシムルヲ要ス。肺結核ト榮養障礙トハ深キ關係ヲ有スルヲ以テ20%多量ノ食餌ヲ攝ラシムルヲ理想トスルモ發熱、毒素中毒、不適當ナル食餌、藥劑ノ影響、身體機能ノ衰弱及組織病的破壊産物ノ神經系統ニ作用シテ胃腸内分泌ニ異常ヲ來シテ食慾ノ不振ヲ起サシメ從テ益々榮養ヲ衰ヘシムルニヨリ、食思ヲ振ハシメ榮養食ヲ取ラシムベキハ結核特殊療法ノナキ今日榮養食餌ハ本症療養上重要ナル地位ニアルモノト謂フベキナリ。

「カロリー」價ヲ増サシムル目的ヲ以テ徒ラニ蛋白質、脂肪類ニ富メル食餌ヲ取ラシメントスルガ如キハ誤レルモノトテ是等酸性食餌ニ偏シシムルキハ倍々體力ヲ弱カラシムルノ虞アリ。蛋白、脂肪、含水炭素ノ比ハ患者ノ嗜好習慣ニヨリテ異ナルト雖ドモ邦人一ハ1對0.2對ヲ適當トセラル。然レドモ從來肉類、卵、「チーズ」等榮養食トシテ重ゼラレ脂肪ハ大量ノ「カロリー」ヲ與フルノミナラズ之ニ溶解性ノ「ビタミン」A及Dヲ給スルヲ以テ結核ニ對スル抵抗力ヲ向上セシムル效アリ種類ハ「ビタミン」A及「リポイド」ヲ多量ニ含ム「バター」、「クリ

ーム)、牛乳、「ヨーグルト」等用キラル。有熱時ニハ肉食、脂肪食ハ不適當ニシテ之レ消化ニ必要ナル酵素ノ分泌ヲ減退セシムルニヨルナラン。如上ノ食餌ヲ取ラシムル一方無機鹽類ニ富メル野菜、海藻等ヲ時ニ菌茸類ヲ與フルヲ怠ルベカラズ。

上述ノ如ク肺結核療養法トシテノ食餌ハ重要性ヲ有ツモノニテ其攝取量ヲ假リニ體重 50 斤ニテ室内ニ起居セルモノニテ 1 斤ニ付 35「カロリー」ヲ要スルトセバ $35 \times 50 = 1750$ 「カロリー」之ニ 20% 即チ 350「カロリー」ヲ加ヘテ 2100 トナリ更ニ不吸收率ナル分ヲ 20% 即チ $2100 \times \frac{20}{100} = 420$ 「カロリー」トセバ之ヲ加ヘテ $2100 + 420 = 2520$ 「カロリー」ヲ與フルノ要アルベシ。

患者ノ食思ヲ振ハシムルニハ常ニ安眠ト便通トニ注意シ心的現象即チ悲觀、悲痛、煩悶等又大ナル影響アルヲ以テ是等ノ關係ヲ説明シ神心ノ明朗ヲ圖リ、食料品ノ種類、撰擇、調理法ニ注意ヲ拂ヒ食思ノ振起ニ勉メ、精神的刺戟トシテ食餌ノ色澤、佳香、美味等ハ消化液ノ分泌ヲ促ガシ、器械的ニハ蒟蒻(白瀧)、澤庵漬其他植物纖維類ハ胃ヲ刺戟シ、化學的トシテ水、少量ノ「アルコール」飲料、肉汁野菜「スープ」、醬油、味噌汁、卵黃等ハ胃粘膜ヲ刺戟シテ食思ヲ起サシム。

食品ニハ肉類、雞卵、牛乳、穀類、野菜、根菜海藻等及人工的の營養食品使用セラル。而シテ其中ニ含有セラル、蛋白質、脂肪、含水炭素、鹽類ヲ主營養食素トシ、猶營養調節トシテ諸食品中ニ含メル各種ノ「ビタミン」ヲ副營養素ト稱セラル。調理法ニ當テモ諸營養分ヲ工ミニ働カシムベク處理スルハ當然ニシテ即チ米飯ヲ炊クニ於テモ沸騰ニヨル粘稠分ノ流出セザルニ注意シ、使用米又「ビタミン」Bヲ比較的多ク含メル搗米ヲ撰ミ且「ビタミン」Bハ水溶性ナヲ以テ其溶液ノ保全並ニ「ビタミン」Cハ溫熱ニ依テ破壊セラル、ヲ以テ該含有食品ハ熱ヲ與ヘザルヲ要ス。從テ野菜類ノ烹煮ハ生ニ近キ状態ニテ又生ノ儘ニテ食シ得ルモノハ生ノ儘食膳ニ上

スベキモ寄生蟲豫防ヲ考慮シテ一時熱湯ヲ働カシムル可ナリ。無理解ナル調理ハ自然ノ養分ヲ減シ榮價乏シ、猶野菜類ハ其攝取量ヲ多カラシムルヨリハ可成種類ヲ多クシ各種ノ養分ヲ取ラシムルニ心掛クベキナリ。

歐米人ニ於テハ 1 日ノ所要「カロリー」價 3500 乃至 6000 ヲ計上シ之ガ食餌ヲ取ラシムルニアルカ例之ハアルフレットソーレル、ウルヘルムミラー、ソコロウスキーノ如キ一方ニハコルチト、クレーブスノ如キハ 3000「カロリー」所要食ヲ唱ヘラル。然レドモ我國人ニハ諸家ノ說ヲ綜合シテ二千、四五百「カロリー」ヲ適當ト認ムルヲ得ベシ。

既ニ述ベタル如ク榮養素トシテ第 1 ニ蛋白質ヲ擧ゲタリ。而シテ養價ハ蛋白質ノ「アミノ」酸ニアルヲ以テ「アミノ」酸ノ過不及ハ榮養ノ障碍トナルベシ。「アミノ」酸ノ過剩ハ所謂酸毒症ヲ起スノ虞アルベク、多クノ「アミノ」酸中「アミノ」酸トシテノ作用ヲ發揮シ猶酸毒症ノ恐レナキハ我國特有ノ經節ナリト云ハル(片瀨淡博士)。此意味ニ於テ我經節ハ優秀ナル蛋白質ノ王者トモ謂フベキナリ。蛋白質ノ動物性、植物性又ハ其混合性ニ於テ 1 日ノ攝取量ハ體重 1 斤ニツキ 1.5 乃至 2.0 瓦ヲ必要トセラル。

脂肪殊ニ肝油ハ腺病質、結核性疾患ニ效果ノ大ナルコトハ一般ニ認メラル、處ニシテワイゲルトハ豚ヲ脂肪食ニテ飼養スルキハ結核感染ニ對シテ抵抗力ヲ高メ、含水炭素食ニテ養ヒタル場合ニ抵抗力ノ減少シタルヲ實驗セリト。結核ノ有熱時ニハ一般ニ脂肪食ハ嫌忌セラル。殊ニ本邦人ハ淡白ナル食餌ヲ好ムヲ以テ脂肪食ヲ取ラシムルハ困難ナリトス、故ニ本邦人ハ他食品ニ配スルニ胡麻油、「バター」、「クリーム」卵黃等ヲ加味シテ脂肪攝取ノ目的ヲ達セシムルヲ可トス。而シテ 1 日ノ要量ハ體重 1 斤ニ對シ 0.3 乃至 0.5 ヲ適當トセラル。

含水炭素ハ植物性食餌ノ主成分ヲ爲シ、吾人殊ニ邦人ニ於ケル重要ナル食餌品ニシテ穀類即チ米、麥、粟、稗、黍、蕎麥、玉蜀黍、甘藷、馬

鈴薯等ニ多量ニ含マル。

而シテ是等含水炭素ノ外蛋白質、脂肪、無機鹽類、纖維、「ヴィタミン」ヲ含ミ肉食以上ニ重セラル。是等食品類ハ調理ナル工作ヲ經テ食餌トセラル之レ烹煮ニ依テ水分ヲ吸收シ膨脹シテ細胞膜ヲ破壊シ消化シ易カラシム。小麥粉ヨリ作ラレタル麩ハ多量ノ蛋白質ト同等以上ノ含水炭素ヲ含有セラレ、豆類ニテハ含水炭素ニ富ムヲ小豆、隠元、扁豆、豌豆等トス共ニ 50% 以上ヲ含メリ。大豆ハ含水炭素比較の少ナキモ蛋白質ニハ富メリ。

本邦人ノ主食タル米ハ玄米ヲ精白シタルモノニテ、元來玄米ハ含水炭素ノ他蛋白質、脂肪ヲ含ミ「ヴィタミン」B 又多量ニ含マル、モ此「ヴィタミン」ノ存スル胚芽ハ精白操作ニ依テ胚膜ト共ニ脱落シタル糠中ニ混ゼラル、ヲ以テ是等胚芽ヲ脱失セザル飯米ヲ撰ブヲ要ス。而シテ 1 日ノ所要含水炭素量ハ體重 1 疋ニツキ 8.0 乃至 10.0 瓦ヲ要スベシ。

野菜類ハ人類成育上缺ケベカラザル成分ヲ含マル、ヲ以テ重要ナル食品タルヲ失ハズ。古來本邦人ハ動物食ヨリハ多ク植物性食ヲ攝リタル習慣ヲ有シ而カモ健康ヲ保持シタル所以ノモノハ含水炭素、蛋白質、脂肪、無機鹽類、有機成分、「ヴィタミン」ノ各種ヲ含ミ以テ他成分ノ不足ヲ補ヒ且ツ適當ニ調節ノ任ヲ全フシタルニアリ。エールノチッテンデンハ或機會ニ於テ 20 人ニ就キ實驗ノ結果蛋白質ハ 70 疋ノ男子ニテ 56 乃至 60 瓦即チ フョイト ノ定メタル數字ノ約半數ニテ健康ノ保タル、事ヲ知り、コペンハーゲンノヒンドヘーデハ植物性食餌ニテ 1 日 57 瓦ノ蛋白質ヲ與フレバ吾人ノ生命ヲ保有スルニ差支ナキコトヲ 1907 年柏林ニ於テ發表セラレタリ。吾人日本人ニハ好箇參考資料タルヲ失ハザルベシ。野菜ハ前記成分ヲ含メルヲ以テ脚氣様疾患及壞血病ノ豫防ニ或ハ便通ヲ佳良ナラシメ血液、神經系ノ其成分ニ其機能ニ好果ヲ呈シ、且酸性食餌ニ關係アル所謂酸毒症ヲ防グニ缺ケベカラザルナリ。而シテ「アルカリ」性食酸性食ト

ノ平衡ヲ失ハザルニ注意セザルベカラズ。

「ヴィタミン」ハ野菜ノ莖及葉ニ根菜類ニハ内皮ノ部ニ多ク含マル、ヲ以テ調理ニ當テハ是等貴要部ヲ破壊又亡失セザルニ注意ヲ怠ルベカラズ。

根菜類ハ澱粉ノ状態ニテ多量ノ含水炭素ヲ含マレ甘藷ニハ糖トシテ存シ、「ヴィタミン」ハ A ヲ甘藷人參ニ、B 人參、馬鈴薯ニ多ク含マル。果實類ハ近時盛ニ用キラレ保健上喜ブベキモ多食又ハ陳舊ノモノハ害アリ、果實ニハ鹽類、糖分、特有ノ有機酸類、「ヴィタミン」C ノ多量ヲ含ミ野菜類ニ新陳代謝ヲ高メ血液ヲ清淨ナラシメ、且消化ヲ助ケ便通ヲ催進スルノ效果アリ。野菜果實共ニ季節ニ生存セルモノ可トス非季節的人工ニ強テ生産セシメタルモノハ自然生産物ニ比シ其養價ハ乏シキモノトス。

住 所

住宅ノ環境ハ其生活ヲ左右シ、建築様式ノ如何ハ吾人ノ健康ニ重大ナル意義ヲ有スルヲ以テ、吾人社會生活ニ最モ適シタル保健衛生的條件ノ下ニ家屋ノ建設ヲ講ゼザルベカラズ。即チ住宅ハ精神ニ肉體ニ健康保持ヲ使命トシテ建築タルヲ要ス。

住所ニ最モ望ム所ハ土地ノ乾燥ナリトス。土地ニシテ濕氣多キトキハ家屋ニ及ビ從テ家具、衣類、寢具等皆害ヲ受クルニ至リ、其濕氣ノ爲メ細菌ノ繁殖ヲ來シ居住者ノ健康ニ影響ヲ與ヘ抗力ヲ弱メ遂ニハ結核罹患ノ機會ヲ與フルニ至ル。

一方ニハ日光射入ニ注意セザルベカラズ。即チ住宅ノ主要部分ヲ南方ニ開カレタルヲ選ビ猶 10 乃至 15 度東ニ向ヒタルヲ可トス。斯クスレバ夏冬ヲ問ハズ又東西南北ニ而セル各室ハ共ニ多少日光ノ射入ヲ受ケ其利尠ナカラズ。家屋ハ採光ト共ニ換氣ノ良好ニ注意セザルベカラズ。此目的ニハ常ニ欄間ヲ開放シテ夜間ト雖モ日中ニ於ケルガ如ク換氣ヲ行ハシムベシ。

又押入ハ睡眠中皮膚ヨリノ蒸發氣ヲ吸收セラレタル寢具類ヲ晝間其儘包藏シ夜間又之ヲ使用シ

斯クシテ繰返シテハ之ヲ格納セラル、ヲ以テ此押入ニ對シテハ特ニ注意シ寢具ハ晴天ノ日ハ日光ニ曝ラシ押入ハ可成開放シ置キ日光ノ射入大氣ノ流通ヲ圖ラザルベカラズ。

室内ハ勿論家屋内外ハ清潔ニ勉メ殊ニ病室ノ清潔ハ拭淨式ニ依リ室内整頓ヲ忘ルナカレ。

敘上ノ如ク吾人生活ニハ 11.52 立方米ノ大氣ヲ要スルヲ以テ狹隘ナル室ニ多人數居住スル如キハ其害多ク許スベカラザルモ其生活狀態ノ如何ニヨリテハ止ヲ得ザル場合アリ然ルトキハ外氣ニ面セル窓ヲ開放シ置キ大氣ノ交換ヲ計リ、患者ト同室スベキ際ハ屏風類ヲ以テ之ヲ隔テ直接咳嗽、噴嚏等ノ飛沫ヲ受ケザル様注意スベキナリ。

又狭キ室ニ於テ炭火ヲ熾ニシ數人之ヲ圍ムガ如キハ屢々見ル處ニシテ是等ハ室内大氣ヲ汚染セシメ、營ニ炭酸量ヲ増加セシムルノミナラズ。一酸化炭素ノ加ハルアリテ其害ヤ更ニ大ナリ。併シ比較的換氣ノ行ハル、日本家屋ニ於ケル中流以下ノ生活者ニ要スル暖房裝置ハ矢張り炭火ニ依ルヲ便宜トスルヲ以テ之ヲ用ユルニ當テハ炭火トナリタルモノヲ火鉢ニ移シ表層ニハ薄ク灰ヲ覆ハシメ焰ヲ立テサラシム。電氣ヲ除ク他ノ「ストーブ」ハ必ズ煙突ヲ設ケ不良瓦斯ノ室内ニ蓄積セザルニ注意シ、假令暖房裝置ヲ備フルモ換氣法ヲ忘ルナキヲ要ス。

結核ト小兒

小兒殊ニ乳幼兒ハ結核ニ感染シ易ク之ニ罹患スルニ於テハ豫後又惡シキヲ以テ、結核豫防トシテハ第一ニ小兒ヨリ注意ヲ拂ハザルベカラズ。ハンプルゲルハ小兒屍體ヲ解剖シ 40%ノ結核ヲ説明シ佐藤正博士ハ東京帝國大學ニ於テ結核以外ノ疾病ニテ死亡シタル小兒屍體 1,345 名ヲ調査シ中 500 名即チ 37%ノ結核ニ冒サレ居タルヲ證サレタリ。

小兒ハ母ニ依テ養育セラレ常ニ母ニ親炙シ母ニ抱擁セラレ母ト起臥ヲ共ニシ母ヲ離ル、コト少ナキモノナレバ、其母ニシテ結核ニ冒サレ咳嗽喀痰アラシカ發育未全抗抵力薄弱ナル小兒ニ感

染シ易キハ當然ニシテ、小兒ニ比較的結核ノ多キハ固ヨリナリト云フベシ。之ガ豫防方法トシテハ小兒ヲ其家庭ヨリ隔離シ他ノ健康家庭ニ移スカ又ハ健康ナル乳母ニヨリテ別室ニ於テ養育セシムベキモ同一家内ニ於テ母兒ヲ全ク隔絶セシムルコトハ到底至難ナルヲ以テ寧ろ他ニ移シ養育セシムルニ如カズ。

結核ト結婚一妊娠一產褥

結核罹患者ノ結婚ハ其病型、症狀ニヨリテ一樣ナラズト雖モ妊娠、分娩ヲ考慮シテ之ヲ行ハザルヲ可トス。併シ自覺症狀ハ無論他覺的ニモ僅ニ肺尖ニ局限シテ輕キ症狀ヲ呈シ猶「レントゲン」線診斷、「マントウ」反應、赤血球沈降速度測定ヲ行ヒ榮養良ク進行性ヲ豫想セラレザルニ於テハ之ヲ許ス可ナルベシト雖モ進行性ヲ疑ハルニ於テハ禁ズベキナリ。但シ生活環境ヲ考慮シ一樣ニ見ルベカラズ。結核患者ニシテ妊娠シタル者ニ就テハ妊娠前半期ニ之ガ中絶ヲ行フヲ可トスベキモ、若シ後半期ニ達シ居ルニ於テハ中絶法既ニ危險ヲ伴フ事多キヲ以テ症狀如何ヲ嚴ニ監視シテ妊娠ヲ經過セシムル又可ナルベシ。而シテ分娩シタル嬰兒乳兒ハ早期ニ之ヲ隔離シテ健康家庭ニ移シ、褥婦ハ之ヲ慰メ理解セシムベシ。

人工氣胸療法

胸腔内ニ於テ肋膜ノ吸引作用ニヨリテ肺ニ一定ノ緊張ヲ呈シ、肋膜腔内ニハ陰壓ヲ示ス。今肋膜腔内ニ瓦斯ヲ送入シテ陰壓ヲ減ゼシメ之ガ爲メ肺ハ胸廓ニヨル牽引力ヲ失ヒ肺自ラノ彈力性ノ爲メ肺門ニ向テ收縮シ斯クシテ肺組織ノ萎縮ヲ來シ、肺空洞ヲ器械的ニ壓縮シテ治癒ニ必要ナル安靜ヲ與フル方法ニシテ之ヲ人工氣胸療法ト稱ス。

病肺ハ器械的ニ壓縮セラレ肺内ノ血液及淋巴液ハ緩慢トナリ結核毒素ノ吸收減少シ熱發、盜汗其他ノ症狀減退ス。本療法ハ肺結核療法中其適應症ヲ誤ラザル限リハ推稱スベキ療法タルコトハ何人モ認ムル處ナリ。

轉地療養

轉地療養ニ望ム處ハ大氣清新ニシテ從テ日光紫外線ニ富メル土地ニ轉ジ醫師指導ノ下ニ合理的療養ヲ行フニ依テ效果ヲ擧ゲベキナリ。然ルニ實際ヲ見ルニ土地ノ選定ノ如キハ無責任ナル者ノ言ニ從ヒ無思慮ニ定メラレ之ニ轉ズルニ當テモ、3週間ニシテ既ニ倦キ更ニ他ニ轉ズル如キ狀態ニテ而カモ不適當ナル生活ヲ送り症狀ヲ惡變セシムルモノ尠ナカラズ。

轉地セントスルニ於テハ醫師ハ之ニ適當ナル土地ヲ指示シ、轉地後モ結核療養ニ造詣アル醫師

ノ指導ヲ受ケツ、一定ノ場所ニ長時日ヲ送ルヲ要ス。之ニハ患者ノ家庭上經濟上ニ關係多キヲ以テ充分考慮ノ下ニ之ヲ行フベク、徒ラニ虛榮ニ驅ラレテ之ヲ行ヒ却テ懊惱焦慮シ倍々病勢ヲ増徴セシムル如キハ戒ムベキナリ。中流以下ノ生活者ニアリテハ心身上經濟上比較的安全ナル方法トシテハ自宅ニアリテ出來得ル限り環境ヲ佳良ナラシメ心ヲ安ジテ之ニ身ヲ托シ信用アル醫師ノ指導ヲ受ケツ、療養ニ精進セシムルコソ穩便ナル方法ト謂フベシ。

第42表 自昭和3年警視廳結核相談所巡回相談ヲ含ム作業成績

年 度 別	摘 要 性 別	相 談 數			診 斷 數	病 類 別				非 疾 患	患 者 年 齡 別						相 談 事 項				相 談 對 處 理	
		本 人 ヨ リ	關 係 者 ヨ リ	計		肺 結 核	喉 頭 結 核	其 他 結 核	一 般 疾 患		10 年 以 下	11 ヨ リ 20 年	21 ヨ リ 30 年	31 ヨ リ 40 年	41 ヨ リ 50 年	51 ヨ リ 60 年	61 年 以 上	早 期 診 斷	療 養 指 示	豫 防 指 示	シ メ タ ル 者 ハ 入 ラ	其 他
昭 和 3 年	男	271	136	407	206	71	—	80	37	18	3	63	197	102	33	6	3	206	187	14	21	386
	女	37	86	123	37	14	—	13	8	2	1	25	60	24	11	1	1	37	83	3	5	118
	計	308	222	520	243	85	—	93	45	20	4	88	257	126	44	7	4	243	270	17	26	504
昭 和 4 年	男	310	23	333	173	82	—	30	34	27	4	68	205	95	41	9	1	173	223	27	25	308
	女	48	72	120	33	11	—	7	10	5	4	26	44	30	15	1	—	33	84	3	12	108
	計	358	95	453	206	93	—	37	44	32	8	94	249	125	56	10	1	206	307	30	37	416
昭 和 5 年	男	130	128	258	79	44	—	8	4	23	2	49	125	55	20	6	—	79	178	1	58	200
	女	20	72	92	24	8	—	6	2	8	6	23	37	19	6	1	—	24	65	3	15	77
	計	150	200	350	103	52	—	14	6	31	8	72	162	74	26	7	—	103	243	4	73	277
昭 和 5 年 巡 回 相 談	男	182	70	252	250	87	—	22	127	14	56	55	50	36	30	13	12	250	2	—	11	241
	女	155	54	209	205	42	1	31	113	18	40	45	46	32	28	15	3	205	3	1	7	202
	計	337	124	461	455	129	1	53	230	32	96	100	96	68	58	28	15	455	5	1	18	443
昭 和 6 年	男	180	175	355	115	74	2	13	13	13	12	78	159	58	31	9	2	115	238	2	84	271
	女	37	99	136	47	31	—	7	7	3	5	36	54	23	11	4	3	47	89	—	33	103
	計	217	274	491	162	105	2	20	20	16	17	114	213	81	42	13	5	162	327	2	117	374
昭 和 6 年 巡 回 相 談	男	603	221	824	803	175	1	201	294	132	134	211	241	127	49	46	16	803	21	—	37	787
	女	549	135	684	669	115	—	183	290	81	112	121	163	137	87	45	19	669	15	—	12	672
	計	1152	356	1508	1472	290	1	384	584	213	246	332	404	264	136	91	35	1472	36	—	49	1459
昭 和 7 年	男	174	103	277	114	78	—	12	11	13	5	63	146	39	21	1	1	114	161	2	28	249
	女	45	79	124	49	24	1	11	9	4	3	36	50	25	8	2	—	49	75	—	17	107
	計	219	182	401	163	102	1	23	20	17	8	99	196	64	29	3	1	163	236	2	45	356
昭 和 7 年 巡 回 相 談	男	225	100	325	318	107	—	43	122	46	62	86	75	48	30	18	6	261	63	1	—	—
	女	251	85	336	332	101	—	47	136	48	53	51	78	93	39	9	13	291	45	—	—	—
	計	476	185	661	650	208	—	90	258	94	115	137	153	141	69	27	19	552	108	1	—	—
合 計	男	2075	956	2754	2058	718	3	409	642	286	278	673	1198	560	255	108	41	2001	1073	47	264	2442
	女	1142	682	1700	1396	346	2	304	575	169	224	363	532	383	205	78	39	1355	459	10	101	1387
	計	3217	1638	4454	3454	1064	5	713	1217	455	502	1036	1730	943	460	186	80	3356	1532	57	365	3829

警視廳ニ於ケル結核相談事業ハ昭和3年1月同巡回相談ハ同5年11月ヨリ之ヲ開始セリ。而シテ相談ヲ受ケタル數ハ4,454名ニシテ肺及喉頭結核1069名、其他ノ結核713名、合計結核1782名ナリ。中ニ就テ巡回相談ニ於テ扱ヒタル結核ハ合計1156名、内肺及喉頭結核ハ629名其他結核527名トス。

第 43 表 / 1 結核患者男女年齡別

性別	年齡別								計
	10年以下	10年以上 15年以下	15年以上 20年以下	20年以上 30年以下	30年以上 40年以下	40年以上 50年以下	50年以上 60年以下	60年以上	
男	1	8	50	54	37	16	6	2	174
女	6	13	26	40	28	7	6	—	126
計	7	21	76	94	65	23	12	2	300

第 43 表 / 2 結核患者男女職業別

性別	職業別								計	
男性	印刷工	12 塗工	1 帽子工	2 フリキ工	3 大工	6 建具工	4 左官	3 ペンキ工	1	32
	電機工	2 染工	1 竹工	2 紙器工	4 時計工	1 洋傘工	3 鍍金工	2 鐵工	1	16
	帽子職	4 足袋職	2 靴工	4 履物工	3 洋服職	8 和服職	1 製本職	2 蔭職	2	26
	袋物商	1 電機具商	1 金物商	2 材木商	1 肥料店員	1 白米店員	2 豆腐商	1 鹽商	1	10
	魚商	2 飲食店	3 菓子商	1 果實商	1 米仲買外交	1 雜貨商	7 家具商	3 薪炭商	3	21
	額縁商	1 吳服商	1 洋服店員	1 メリヤス商	3 羊毛商	1 鼻緒商	2 食器商	1 露店商	1	11
	美容術業	2 劇場雇	1 通信業	2 汽車驛員	1 銀行員	1 會社員	3 市場雜役	1 信號手	1	12
	自動車 運轉手	2 官廳雇	1 畫家	2 學校教員	1 學校小使	1 新聞配達	3 學生	18 無職	15	43
	自由労働者	3								3
	計	29	11	16	17	20	25	31	25	174
女性	裁縫職	4 玩具職	1 美容術業	1 タイピスト	1 貯金局員	1 事務員	3 電話交換手	1 給仕	5	17
	專賣局女工	2 化粧品工	1 盲人案内	1 菓子商	1 主婦(内職)	7 學生	10 無職	21		109
	計	6	2	2	2	74	13	22	5	126
合計 (男女)	35	13	18	19	94	38	53	30	300	

第 43 表 / 3 結核患者發育期健康狀態

性別	幼 少 年 期				青 中 年 期				少年期ニ於テ シタルモノ	計
	強壯	中等	虛弱	計	強壯	中等	虛弱			
男	91	56	27	174	23	54	88	9	174	
女	67	34	25	126	11	45	51	19	126	
計	158	90	52	300	34	99	139	28	300	

第 43 表 / 4 結核患者教育程度

性別	教育別					計
	小學程度	中等學校程度	專門學校程度	不就學者	不詳	
男	147	15	1	—	11	174
女	101	17	—	2	6	126
計	248	32	1	2	17	300

第 43 表 / 5 結核患者發病主要食餌

性別	主要食								計
	鳥獸肉	魚肉	野菜	鶏卵	魚鶏卵	肉類野菜	卵野菜	牛乳野菜	
男	86	38	36	—	7	7	—	—	174
女	33	23	42	3	4	17	2	2	126
計	119	61	78	3	11	24	2	2	300

第 43 表 / 6 結核患者發病前嗜好品調

性別	嗜好品								嗜好品ヲ 取ラザル 者及不詳	計
	煙草	酒	煙草酒	茶	菓子	菓子茶	果實	菓子果實		
男	46	20	5	8	45	—	29	1	20	174
女	12	—	2	8	43	1	42	—	18	126
計	58	20	7	16	88	1	71	1	38	300

第43表ノ7 結核患者生活状態調

區別	生活状態		採光		換氣		乾湿度		住宅及周圍ノ清潔狀況		生活状態
	良	等									
中	22	116	22	116	18	80	2	102	2	68	63
不		162	162	162	202	202	196	196	230	230	231
計	300		300		300		300		300		300

第43表ノ8 結核患者家室數、人員、1ヶ月ノ家賃及收入調

1 室					2 室					3 室					4 室					5 室				
疊數	室料	世帯數	人員	收入	家賃	世帯數	人員	收入	家賃	世帯數	人員	收入	家賃	世帯數	人員	收入	家賃	世帯數	人員	收入				
2	2.5	1	1	0	5.0	1	4	50	40	1	6	0	5.0	1	7	80	35.0	1	5	150				
3	3.0	1	3	10	6.0	2	10	40	8.0	1	2	10	7.5	1	3	50	40.0	1	4	100				
6	4.0	1	5	30	6.5	1	2	50	9.0	1	4	30	8.0	1	8	21	無料	1	5	不定				
4.5	4.4	1	1	30	8.0	2	12	105	10.0	3	12	55	10.0	1	4	40	自家	8	55	1390				
6	4.7	1	3	30	9.0	2	4	60	11.0	2	3	100	13.0	1	5	20	計	11	69	1640				
4.5	5.0	2	8	25	10.0	5	24	157	11.5	1	4	90	15.0	1	5	40	6 室							
4.5	5.5	1	3	0	11.0	1	5	70	13.0	2	2	50	16.0	1	3	100	家賃	世帯數	人員	收入				
3	6.0	2	7	36	12.0	6	25	165	15.0	4	15	110	17.0	1	4	50	47.0	1	6	100				
4.5					12.5	2	9	100	16.0	2	6	45	18.0	1	4	50	自家	1	5	80				
3					13.0	5	22	178	17.0	3	12	80	19.0	1	4	0	計	2	11	180				
4.5	7.0	5	26	87	14.0	4	16	76	18.0	4	18	100	20.0	2	11	110	10 室							
6					15.0	15	74	592	19.0	2	7	60	22.0	1	5	13	家賃	世帯數	人員	收入				
3					16.0	8	35	207	20.0	10	50	530	23.0	2	7	120	自家	1	7	400				
4.5	7.5	3	6	45	17.0	1	4	80	22.0	4	27	230	24.0	1	3	40	計	1	7	400				
4.5					18.0	4	23	150	22.5	1	7	43	25.0	3	13	155								
5					19.0	1	5	20	25.0	11	53	530	26.0	2	12	50								
5.5	10.0	11	28	295	20.0	4	18	97	27.0	3	26	120	30.0	3	9	90								
6					22.0	1	6	70	28.0	2	10	98	32.0	2	4	150								
3					23.0	1	5	40	29.0	1	5	70	35.0	1	7	135								
6					24.0	2	11	80	30.0	4	19	170	40.0	1	3	100								
3					25.0	6	30	230	31.0	1	5	160	42.0	1	1	50								
8					26.0	2	5	55	32.0	3	16	290	50.0	1	4	100								
8					30.0	2	12	200	35.0	4	22	480	70.0	1	6	300								
2					35.0	1	9	60	36.0	1	4	50	75.0	1	5	400								
3	不定	5	55	45	35.0	1	4	120	40.0	21	16	290	80.0	1	4	200								
6					不定	8	25	34	42.0	1	9	60	100.0	1	8	150								
6					不定	3	8	0	45.0	3	17	111	不定	2	22	25								
2					無料	7	43	380	54.0	1	6	20	無料	3	9	10								
3	無料	3	11	0	自家	7	43	380	不定	4	22	65	無料	3	9	10								
4.5					自家	7	43	380	無料	5	35	138	無料	3	9	10								
					自家	4	22	240	自家	4	22	240	自家	10	47	373								
計		47	189	1083		98	450	3466		92	462	4605		49	227	3922								

本欄ハ家賃ヲ基準トシテ記シ、一室欄ノ疊數例ノハ3₂、4.5₂、6₄等ハ3疊2ヶ、4疊半2ヶ、6疊4ヶヲ意味シ世帯數ノ下ニ掲ゲシ人員ハ一世帯ニ於ケル員數ヲ示シ數世帯ニ於ケル人員ハ數世帯ノ合計人員ヲ記載セリ。收入亦人員ニ於ケル如ク數世帯ノ收入ハ數世帯ノ收入ヲ合算シタルモノナリ。

第 43 表ノ 9 結核患者發病ノ誘因ト認メラルベキ事項

誘 因 事 項	人 員	誘 因 事 項	人 員	合 計
屋内作業(汚染大氣中)	132	早産者(7ヶ月出生)過勞	1	1323
屋 外 作 業	43	虚弱者結婚ニヨル者(女)	7	50
非衛生ノ下ニ不適當ナル生活	100	産 褥	6	106
運動競技ノ温度ト認ムベキモノ	5	不 詳	6	11
計	280		20	300

第 43 表ノ 10 結核患者家消毒狀況

消毒方法	消毒物件	日光曝露	煮 沸	薬 物	無 消 毒	必要器具備 ヘナキモノ	計
寢 具 類	24				276		300
食 器 類			25		275		300
唾 痰 壺				20	26	244	300

第 43 表ノ 11 結核患者病原菌検査成績

検査人員	検査材料不適 又ハ材料提出 ナキ者	計	細菌検査成績		計
			陽 性	陰 性	
199	101	300	147	52	199
總人員百對 66.34	總人員百對 33.63	總人員百對 100	検査人員百對 73.92	検査人員百對 2608	検査人員百對 100

- 1、本表年齢別ニ示セル 15 年乃至 40 年ハ患者數最多ク諸家ノ記述スル所及結核死亡統計ニ一致ス。
- 2、職業別中一定ノ職業トシテ見ルベカラザルモ家庭主婦トシテ一家ノ經營、子女ノ教養ニ任ジ及内職ニ従事スル者ニ女性患者中 58.73%、全患者中 24.33%ノ百分率ヲ示シタルハ見逃スベカラザル事實ニシテ深ク意ヲ注クノ要アルベシ。
- 3、發育期健康状態ハ發育期ニ於ケル幼少年期ニ半数以上ノ強壯状態ヲ示シタル者が青中年期ニ入りテ前者トハ反對ニ強壯者 34、中等者 99、虚弱者 139 ト云フ如キ數字ヲ表ハシタルドモ患者ニ就テノ調査ナレバ寧ロ當然ト云フベシ。
- 4、結核患者ノ教育程度ニ就テハ特ニ意義ヲ示サズ。
- 5、患者發病前ノ主要食トシテ蛋白質ニ富メル肉食ニ偏セル多キハ蛋白質食餌ヲ以テ榮養價高キモノトノ過信ヨリスル榮養障碍トモ見ルベク又ハ滋養食ヲ多ク攝取セリトノ「カサリ」言ナキニモ非ラザルベシ。
- 6、全ク嗜好品ニ於テ酒、煙草ヲ好ムモノ割合ニ少ナキハ意外トスル所ナリ。
- 7、生活状態ニ於テ其不良ナル者程多數患者ヲ出シ換氣不良、住宅及周圍ノ不潔ニ於テ甚シキヲ見ル。
- 8、1 室ノ住居ニ於テハ患者共 5 名、2 室ノモノニハ其居住者 1 室平均 2.8 名、3 室ノ住所ニハ 1 室平均 2 名、4 室ノ居處ニテハ 1 室平均 1.4 名 5 室ニテハ 1 室平均 1.4 名、6 室ノ住宅ニテハ 1 室當リ 1 名、10 室ノ住所ニテハ 1 室當リ 0.8 名ヲ收容スルノ割合トナレリ。即チ室數ノ多キ程居住者ノ稀薄ナルヲ示セリ。
- 9、發病ノ誘因トシテ汚染セル大氣ニヨル室内作業最モ多ク非衛生ノ下ニ不適當ナル生活ヲ送ル者之ニ次ゲリ。
- 10、患者ニ於ケル消毒ハ全ク顧ミラズ醫治ヲ受ケツ、アル患者ニシテ此點ニ於ケル注意ノ徹セザルハ遺憾ト云フベキナリ。
- 11、結核菌検査成績ハ可良ニシテ検査人員ニ對シ 73.92%ノ陽性率ヲ示セリ陰性ノモノト雖モ再三之ヲ繰返スニ於テハ陽性率ヲ高メ得ベシ。

第44表 結核相談ニ於ケル家庭監察並ニ注意指導及其ノ效果

相談要旨	應答處理	家庭監察要項	注意指導	效果	備考				
療養方ニ就キ指示ヲ乞フ	換氣採光休養 器具類消毒示ス	豫防消毒療養上ノ注意ナシ	豫防消毒方法採光換氣安靜混食榮養ヲ説明指導	14	指導良ク行ハル	16			
			小兒ハ感染シ易シ發病スレバ後痊困難キヲ要ス	21	痰壺消毒行ハル	12			
			離ノ要ヲ示シテ前項ノ指示ヲ與フ	22	食器及痰壺消毒行ハル	33	市療養所入所		
			居室狹不潔汚穢物品位置更清潔法ヲ指示	5	換氣ノミ行ハル	7	救世軍療養所へ入所		
			居室ニテ粉塵多ク痰養上不全ク依別ニスカカ又ハ完キ中消毒指	1	消毒及換氣法行ハル	32	轉地療養		
			居室、工場同室ニテ粉塵多ク痰養上不全ク依別ニスカカ又ハ完キ中消毒指	1	安靜保タル	5			
			室ヲ鎖シ炭火ヲ熾ニシテ豫防上ノ注意全クナシ	5	障壁ヲ設ケテ居室工場ヲ區別シ消毒良	1	死亡	20	
			室内炭火熾烈ノ害ヲ説キ撤去注意	5	指導無效	57	轉出ノ爲メ不詳		
			不潔無消毒室内炭火ヲ熾ニシテ豫防上ノ注意ナシ	4	炭火熾烈ノ害ヲ説明シ之ヲ撤去及換氣ヲ指導ス	4			
			療養方法ノ指導並ニ所方希望ヲ付取計	前項ニ於ケル如ク療養方ヲ指示シテハ關ノ上ニ査計	豫防消毒上ノ注意ナク療養又不良	小兒ノ感受性高キヲ説明シ之カ隔離並ニ消毒換氣ヲ指示ス	13	痰壺消毒良	9
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	食器消毒良				2	市療養所入所		
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	食器及痰壺消毒行ハル				16	轉地療養		
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	換氣行ハル				5			
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	換氣及消毒良				7	死亡	11	
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	安靜保タル				3	轉出ノ爲メ不詳		
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	指導行ハレズ				32			
清潔、消毒及換氣法採光並ニ榮養ニシテ豫防ヲ行フ	75	指導行ハレズ				6			
目下氣胸療法ヲ受ケル分感續アリヤ否	兩肺廣汎ニ涉リテ犯サルヲ肋膜炎一時見テ思フ主合テハ當主モ可ナリ	病ニ對スル理對少ク且近レ				豫防消毒及小兒ノ隔離換氣法、安靜保ヲ指示	1	兒童ニ對スル措置良、換氣法亦可ナリ	1
						右肋膜炎ニシテ肺ノ結核ニ依ラズモ可ナリ	1	消毒ノミ行ハル	1
賣藥治ハヤク	右肋膜炎ニシテ肺ノ結核ニ依ラズモ可ナリ	消毒願ミラレズ共ニ行ハレズ	豫防消毒方法採光換氣安靜混食榮養ヲ説明指導	1	消毒ノミ行ハル	1			
			消毒願ミラレズ共ニ行ハレズ	1					

<p>肺病トニ起ル異ナキフ</p> <p>兄名ヲ呈スルヤ</p> <p>及燃室ニル</p>	<p>右肺胃サル規</p> <p>律ア榮活生</p> <p>混食榮養採</p> <p>光換氣注意</p> <p>居居ニスベシ</p> <p>考慮ニスベシ</p>	<p>女工生活ニテハ</p> <p>豫防消毒養方</p> <p>又惡シク狹隘</p> <p>ノ室ニ雜居</p>	<p>消毒、換氣法</p> <p>安靜ノ室ヲ與</p> <p>狹隘ノ弊害ヲ</p> <p>居明ノ指導</p>	<p>食器ノ消毒</p> <p>ノミナル</p>	<p>1</p>
<p>狹隘ノ室ニ多</p> <p>數居タル以テ</p> <p>下倦咳肺病ヲ</p> <p>輕咳肺病ヲ</p>	<p>左肺惡シク増</p> <p>進テ安靜ヲ殿</p> <p>以テ守活、混養</p> <p>及消毒示ス</p>	<p>室狹隘ノ弊害</p> <p>ノ數ヲ總テ上</p> <p>ナシ</p>	<p>多人數ノ弊害</p> <p>ノ安上ヲ與</p> <p>及消毒示ス</p>	<p>注意指導行ハ</p> <p>レズ</p>	<p>1</p> <p>市療養所入所</p>
<p>生活支持者ナ</p> <p>ク徒療養ノ然</p> <p>方法ヲ望ム</p> <p>取計ヲム</p>	<p>療養方法ナキ</p> <p>最モ苦痛當方</p> <p>ハルベテ於ニ</p> <p>取計方委員</p> <p>ニモ尚協議</p> <p>ベシ</p>	<p>室不潔、偏食</p> <p>ニ傾ク豫防</p> <p>養上ノ顧ミ</p> <p>ラレズ</p>	<p>消毒清潔ヲ</p> <p>指示シ換氣、</p> <p>安靜法ヲ注意</p> <p>ス</p>	<p>注意事項行ハ</p> <p>レズ</p>	<p>1</p> <p>市療養所入所</p>
<p>療養方法及子</p> <p>女ノ相談ヲ求</p> <p>ム</p>	<p>開放生活、混</p> <p>合榮養消毒ニ</p> <p>就テハ同室ヲ</p> <p>離スベシ</p>	<p>室不潔、陰濕、</p> <p>換氣法ヲ總テ</p> <p>不良</p>	<p>清潔、消毒方、</p> <p>採光換氣、安</p> <p>靜法ハ是非</p> <p>他ニ隔離ス</p>	<p>唾壺ノ消毒</p> <p>小兒ノ親戚</p> <p>預ケラル</p>	<p>1</p> <p>死亡</p>
<p>會テテ目下ノ</p> <p>テコトヲ學</p> <p>目下ノ學</p> <p>目下ノ學</p>	<p>左肺結核ヲ</p> <p>以テ思ヒシ</p> <p>如キ療養ヲ</p> <p>治癒ス</p>	<p>豫防消毒上ノ</p> <p>注意ナク略</p> <p>ハ紙片ニ居</p> <p>投棄一般不</p> <p>潔</p>	<p>豫防消毒及</p> <p>上ノ患者ヲ</p> <p>明家ノ理解</p> <p>起</p>	<p>消毒、清潔法、</p> <p>食器、唾壺</p> <p>消毒良</p>	<p>1</p>
<p>肺病ノ小シキ</p> <p>分乳ノ差支</p> <p>惡乳ノ差支</p> <p>小シキヤ承</p>	<p>小兒ハ感受性</p> <p>高キ家庭ニ</p> <p>健康ベキハ</p> <p>ス</p>	<p>唾痰ノ隨所ニ</p> <p>略出テ上ノ</p> <p>毒念ナク療</p> <p>法又不可ナ</p>	<p>感染源タル</p> <p>痰ノ危險ヲ</p> <p>明シク消毒</p> <p>ノ他ニ注意</p>	<p>消毒行ハレ小</p> <p>兒ハ他ニ隔</p> <p>サハルモシ</p> <p>ナリニシメ</p> <p>措置稍良</p>	<p>1</p>
<p>某醫ヨリテ</p> <p>肺病ヲ診テ</p> <p>ルカ診カ</p>	<p>肺尖惡シク</p> <p>養方法指示</p>	<p>不潔無消毒</p> <p>養方法不良</p>	<p>清潔消毒法、</p> <p>換氣及混食、</p> <p>養ヲ説明</p>	<p>轉出不詳</p>	<p>1</p>
<p>某醫ヨリテ</p> <p>麵食ヲ命セ</p> <p>スルニテハ</p> <p>支テナク</p>	<p>麵食ノミハ</p> <p>損テ來ル</p> <p>須ララク攝</p> <p>進増キナ</p>	<p>室内外不潔</p> <p>痰ハ紙片ニ</p> <p>投棄セラル</p> <p>療養方法又</p> <p>不良</p>	<p>消毒清潔法</p> <p>指示シ換氣、</p> <p>安靜及寢具</p> <p>ノ日光曝露</p> <p>ヲ開放等ヲ</p> <p>押入開注意</p> <p>ス</p>	<p>消毒及清潔方</p> <p>法實施セラル</p>	<p>1</p> <p>死亡</p>
<p>某醫ヨリテ</p> <p>肺病ヲ診テ</p> <p>然ルカ</p>	<p>肺尖結核ト</p> <p>尙養方指示</p>	<p>不潔無消毒</p> <p>養方又不良</p>	<p>消毒清潔法</p> <p>換氣、混食、</p> <p>養ヲ説明</p>	<p>他ニ轉出ニ</p> <p>リ不詳</p>	<p>1</p>
<p>消毒及療養</p> <p>法ヲ就テ</p>	<p>咳痰、食器、</p> <p>寢具ノ處置、</p> <p>療養方指示</p>	<p>不潔痰ハ紙片</p> <p>ニ探リ投棄</p> <p>豫防消毒ノ</p> <p>注意ナク炭</p> <p>火ニス</p>	<p>消毒ヲ指示</p> <p>採光換氣、</p> <p>安靜ノ要</p> <p>炭火ノ害ヲ</p> <p>指示ス</p>	<p>消毒行ハル</p> <p>換氣法行ハル</p>	<p>2</p> <p>1</p> <p>市療養所入所</p>

療養方法並ニ人工太陽燈ヲ使フヤ	開放性生活、榮養食餌、時熱シカナル期ヲムハ無理ナリ	消毒豫防方法、療養方不良、小兒居レリ	消毒、換氣、採光、指示、對スル注意	消毒行ハル小措置又宜シ	
他家ニテ發計者中ノ然取方ム	兩肺及喉頭惡シ、沈黙ヲ守リメシ療養ハ考慮	不潔無消毒採光換氣シク重症ヲ看シ	採光換氣、榮養食及ヒシテ注意ス	他ニ被集中ノ母親看護行ハセル	市療養所入所 1
曾テ肺尖「カタル」ニシテ下近リ朝鮮ノ指示	肺尖症狀現存セリ。且微熱アルヲ以テ結婚問題ハ可トス	自覺症ナキヲ防養上ノ注意氣良	喀痰中結核菌陽性ナルヲテ健康ヲ場毒豫防ヲ	採光換氣良、注意事項行ハラル	
家主ヨリ病氣ノ爲困ラレテ就ム	豫防、消毒、換氣指示、巡査ノ保護ヲ望ミ	喀痰ヲ屋外ニ捨テ採リシ豫防上ノ注意ナシ	消毒、安靜、換氣法ヲ指示ス	安靜守ラル	市療養所入所 1
背部ニ疼痛ヲ覺ラザルナリ	右肺尖惡シキ以テ止的性ナキ又姓娘ヲ以テ之ヲ可診ラヘシ	患者理解ヲ角器類ヲ注意ヲ拂	清潔保持、寢具ハ日光曝曬ニ遜程度ニ止ムベシ	指示事項行ハラル	
療養上ノ注意ハハハシク	現在症ニテ傳染ノシシ放生活ヲ指示	不潔無消毒痰ハ紙片ニテ塵埃ヲ入、療養不良	唾壺、食器ノ消毒、日光曝曬、安靜指示	食器唾壺消毒良	
療養方法並ニ就テノ指示	一般消毒豫防法、療養上ノ注意ハハシク	不潔無消毒、痰ハ紙片ニテ塵埃ヲ入、療養不良	消毒、清潔法、採光換氣、榮養食、休養ヲ與ヘ指導ヲ	食器唾壺消毒良	市療養所入所 3
療養方法並ニ就テノ指示	轉地ニテ生活事ノ當等之ナリ故「アルカリ」食何レモ偏セズベシ	不潔無消毒、換氣惡シク兒童ニ對シ	消毒、換氣、榮養食、休養ヲ與ヘ指導ヲ	消毒、換氣良	轉地療養 3
合計 300	300	300	300	300	

吾等ノ相談事業ニ於テ扱ヒタルモノ、中殊ニ巡回ニ就テ 300 例ヲ撰ビテ茲ニ表示シ其注意指導及效
相談ニ於テ監察的ニ患者家庭ヲ視察シタルモノ 果ノ如何ヲ檢討シ左ノ如キ數値ヲ擧グルヲ得タリ

第 45 表 結核患者及其家庭ニ於ケル注意、指導成績

成 績	員 數	百 分 率	備 考	員 數
注意指導行ハル	28	9.3		
兒童ノ措置及消毒良	7	2.3	東京市療養所入所	64
唾痰壺消毒良	21	7.0	結核豫防法第 7 條ニヨ リ入所ヲ命ジタル者	
食器消毒行ハル	3	1.0		1
食器及唾壺消毒良	57	19.0	救世軍療養所入所	
消毒及換氣法行ハル	41	13.8		13
換氣ノミ行ハル	13	4.3	轉 地 療 養	
安靜保タル	9	3.0		33
轉出ノ爲成績不詳	30	10.0	死 亡	
注意指導無效	91	30.3		
計	300	100.0		

右ニ集計シタル如ク注意及指導ノ全部行ハレタル者 28 名ニシテ其百分率ハ 9.3% 指導ノ部分的ニ實
施セラレタルハ 151 名ニシテ 50.33% 比率ヲ示シ之ガ合計率ハ 59.66% トナレリ。以上ハ指導ニョ
ル效果ト見ルベク、指導ノ效果ヲ得ザリシモノ 33.33% 百分率ヲ示セリ然リト雖モ怠リナク之ヲ導
クニ於テハ漸次好轉スベキハ難シトセザル所ナリ。

第 三 編

第一章 綜括的考察

主要文明國ニ於テ結核ノ最モ蔓延シタルハ前世
紀ノ終リ即 1890 年代ニシテ何レノ國モ人口 1
萬對 20 乃至 30 餘ノ結核死亡者ヲ出シタリ。然
ルニ我國ハ當時實ニ 15 餘ノ死亡者ニ止マリシ
モノガ 40 年後ノ 1929—30 年ニハ丁抹ハ最高時
ノ 4 分 1 其他ノ諸國亦 2 分 1 以下ノ減少ヲ來シ
之ニ反シテ我國ハ却テ 2 割餘ノ増加ヲ致シタ
リ。而シテ我國ニ於ケル結核死亡ノ最高率ハ大
正 7 年 25.3、翌 8 年ノ 23.6 ニシテ(流行性感冒
ノ世界的流行時代)爾來僅微ナガラモ減少ノ傾
ヲ呈シ、昭和 6 年ニハ 18.7 ノ數字ヲ示スニ至
レリ然レドモ這ハ全結核死亡ニ於ケル比率ニシ
テ具サニ之ヲ吟味センカ、我國肺結核死亡ハ其
他ノ結核死亡ニ比シテ比年其率ヲ高メツ、アル
ハ見逃スベカラザル事實ニシテ結核傳播上ヨリ
見テ寧ろ危險ヲ感ゼザルヲ得ザルナリ。
其他村邑ニ於ケル結核ノ蔓延、教育界ニ於ケル
結核性疾患ノ増率、軍部殊ニ陸軍ニ於ケル大正
5 年結核新患者率 3.5 ノモノガ 15 年後ノ昭和

6 年ニハ 7.7 ノ 2 倍餘ノ増加、高層建築百貨店
内從業者ノ結核罹患者數(百貨店内大氣汚染度換
氣不良等之ヲ首肯セシムルニ足ル)ハ甲百貨店
ニ於テハ疾患ノ爲職ニ堪ヘズ退店シタル者ノ中
結核性疾患ハ從業員千對 6.4、乙百貨店ニテハ
結核性疾患ト診斷サレタルモノノ從業員千對 35.4
ヲ算スルニ至レリ。甲乙百貨店ニ於テ患者數ニ
著シキ差異アルハ一ハ職ニ堪ヘズ退店シタルモ
ノ一ハ普通診斷ニ依テ得タル數ナルヲ以テ斯ノ
如キ數ヲ生ジタルナリ。本廳衛生検査所ノ甲百
貨店内大氣検査成績ニ徵スルニ無論各室ニヨリ
テ其趣ヲ異ニスベキモ炭酸量、塵埃數等吾人ノ
生理の限度ヲ超エ加フルニ換氣不良、店内日光
ノ照射少ナキヲ以テ漸次健康ニ影響ヲ來スベキ
ハ想像ニ難カラザル處ナリ。其他工場ニ於ケル
結核性患者等之ヲ檢討シ來レバ各地方、各職
業、各階級ヲ問ハズ何レモ増加ヲ證セザルナ
ク、我國結核ハ社會ノ各層ヲ通ジテ彌蔓浸淫シ
之ガ豫防救濟 1 日ヲ緩フスベカラザルナリ。

歐米主要國ガ前世紀ノ終ニ於テ結核蔓延ノ高潮ニ達シタルニ拘ハラズ之ガ對策トシテ銳意社會的豫防施設ニ努メ爾來著シキ效果ヲ收メ現時ノ成績ヲ舉ゲルヲ得タルナリ。就中丁抹、米國、獨逸、英國等最モ效果ノ大ナルモノニシテ佛國又免疫、兒童養護、相談事業ニ力ヲ致シ其成績ニ於テハ未ダ英米ニ及ブベクモ非ズト雖モ豫防方法トシテハ却テ注目ニ値ヒスルモノアルヲ以テ今後ノ效果ノ如何ヲ窺ハントス。

我國ニ於ケル豫防事業ハ漸ク其緒ニ就キタルノミニシテ他ノ主要國ト共ニ語ルヲ許サズト雖モ國家國民相携ヘ共ニ堅キ信念ト人類愛トヲ以テ銳意事ニ當リ、屈セズ撓マズ邁進スルニ於テハ他主要國ノ壘ヲ摩スル蓋シ難シトセザルナリ。結核豫防事業トシテノ相談所ハ結核豫防ノ核心ヲナスベキモノニシテ殊ニ我國ノ如キ患者收容機關ノ乏シキ現在ニ於テハ痛切ニ之ヲ感ゼザルヲ得ズ。勿論收容機關ノ充實ハ何人モ之ヲ望ム所ナリト雖モト現下ノ狀勢ニテハ實現到底困難ナルベキヲ以テ先ヅ相談事業ノ徹底ヲ圖リ之ヲ普及セシメ而シテ之ニ干與スル醫師ハ單ニ患者及關係者ノ相談ニ應ズルノミナラズ。進ンデ患者ヲ訪問シ、其家庭ヲ視察シ家庭ノ事情ヲ知り患者及家人ニ對シ、豫防、療養知識ノ啓發ニ注入ニ務メ尙再三之ヲ訪テ其效果ヲ奏セシムベク努力スルヲ要ス。單ニ訪問看護婦ニ主力ヲ置キ稀ニ之ヲ視察スルガ如キハ決シテ豫防事業ノ根底ニ觸ル、モノニ非ラザルベシ。吾等ノ取りタル相談事業ノ態度ニ就テハ患者ヲ監察的ニ視察シ之ガ缺陷ヲ指摘シ之ニ對シ注意ト指導トヲ與フルニアリ。吾等ノ扱ヒタル患者中不遇ナル家庭ノ主婦トシテ家計上ノ不足ヲ補ハシメ爲メ内職ニ勉ムルモ及バズ心身衰へ猶且子女ノ養育ニ與カリ疲憊ヲ重キ斯ノ如キ境遇者ノ多カリシハ驚クベキナリ。吾等ノ例ニ於テ男女患者中ノ24.3%、女性患者中56.3%ノ比率ヲ示サレタリ。カカル下層界ニ沈メル家庭ノ主婦トシテ非衛生的生活ヲ送り且經濟的壓迫ノ緩解ヲ圖ランガ爲ノ

勞作ニ伴フ疲勞ハ一種ノ蓄積疲勞ニシテ即勞作ニヨル疲勞ノミニ非ズシテ、感覺的、心的、疲勞ヲ如味シ之ガ原因ハ勞作ニヨル疲勞及勞作ノ環境、生理的、經濟的、社會的條件ノ加ハリタルモノ一テ普通工場ニ於ケル勞作者ハ一定ノ時間勞働ニ服シ又ハ之ニ加フルニ夜業乃至休日勞作ニ從フモ這ハ一定ノ條件ノ下ニ約束セルモノニテ、下層家庭主婦ノ如ク經濟的、心的、社會的影響ノ下ニ子女ノ養育ヲ荷ヒツ、勞作ニ事フモノトハ自ラ異レリ。而シテ此所謂蓄積疲勞ノ結果トシテ心身ノ疲憊、榮養ノ障礙ヲ來シ結核罹患ノ因ヲナス者多ク、一度罹患スルヤ其經過多ハ不良ニシテ活動性ヲ呈シ、不幸ノ轉歸ヲ取ルニ至ルモノ尠ナカラザルハ一掬ノ涙ナキヲ得ザルト共ニ一般ノ注意ト講究トヲ要スベキナリ。

患者發病前ノ主要食トシテ蛋白質ニ富メル肉食ニ偏セル者ノ多カリシハ畢竟カ、ル食餌ハ榮養價ニ富メルモノトノ過信ヨリ出タルベシト雖トモ過マテルモノト謂フベシ。採光、換氣ノ不良、住宅及其周圍ノ不潔、家屋狹隘室數ノ少ナキ程居住者率高ク家屋廣ク室數ヲ増スニ從テ居住者率少ク患者率又之ニ準ゼリ、發病ノ誘因トシテハ室内作業即チ汚染セル大氣中ニ於ケル作業又ハ非衛生ノ下ニ不適當ナル生活ヲ送リタル者ニ罹患者ノ多キハ當然ト謂フベク、患者ニ於ケル消毒ハ殆ド顧ミラズ醫療ヲ受ケツ、アル者ニシテ猶且然リ這ハ醫師タル者ノ消毒ノ指示ヲ怠レルニヨルカ又ハ患者ニ於テ指示ヲ受ケナガラ之ヲ爲サザルニヨルカ看過スベカラザルナリ。吾等ノ取りタル作業ニ於テ注意及指導ノ全ク行ハル、ハ9.3%指導ノ部分的ニ施サレタルハ50.3%、計59.6%ナル成績ヲ舉ゲ得タリ。而シテ注意及指導ヲ與ヘタルニ拘ハラズ認ムベキ效果ナカリシ者30.3%ノ數ヲ示サレタリ。然リト雖トモ尙怠リナク之ヲ誘導スルニ於テハ漸次良成績ヲ呈スベキモノト信ズルナリ。

第二章 結 論

1、我國ハ主要文明國中最モ多クノ結核死亡者ヲ出シ、各地方、各職業、各階級ヲ通ジテ瀰蔓浸淫シ所謂結核王國ノ状態ニアリ。

2、殊ニ中流以下生活者ノ生活改善少クトモ居住地ノ乾燥法ヲ講ジ住宅ハ夜間ト雖トモ換氣ヲ佳良ナラシメ猶日光ノ射入ニ清潔保持ニ注意スベキヲ要ス。從テ建築物法ニ改正ヲ加フルノ要アリ。

3、國家竝ニ道府縣ハ豫防機關タル結核相談所、療養所、虛弱兒養護所、恢復期患者收容所及簡易職業講習所等ノ設置ニ努力スベク殊ニ結核相談所ノ普及ニ勉ムベキナリ。猶公私立病院ニ改修ヲ加ヘ代用療養所ニ充ツルヲ得セシムベシ。

4、相談所ハ都邑ニヨリテ様ナラズト雖モ土地ノ狀況ニ稽若干數ヲ設置セシメ各相談所ハ所轄方面ヲ分擔シ社會看護婦ヲシテ斥候の視察ヲナサシメ患者ノ發見ニ當ラシメ殊ニ下層界、家庭小工業及家庭内職者ニ注意ヲ拂ハシム。相談所醫師ハ努メテ患者ヲ訪ヒ監察の視察ノ下ニ豫防及療養知識ノ啓發、注入ニ勉ムベキヲ要ス。

5、普通教育教科書ニハ結核ノ真相及豫防ニ關スル健康保全事項ノ記載ヲ必要トスヘシ。

6、就學兒童入學ノ際ニ於ケル身體検査ハ一般理學の診斷法、「ツベルクリン」反應、「レントゲン」線診斷攝影ヲ行ヒ個人毎ニ「カード」又ハ小冊子ニ之ガ所見ヲ記入シ猶「レ」線寫眞ヲ貼布シ置キ毎年之ヲ繰返シ結核性疾患、虛弱體質ニ對シテハ之ヲ養護所ニ送り又ハ之ニ類スル處置ヲ取ラシムヘシ。尙青年期ニ於テモ「レ」線診斷法ニヨル健康上ノ注意ヲ怠ルナカラシム。

小學校、中等學校ニ於テハ身體ノ發育及健康状態ノ如何ニ依テ學級ノ編制ヲ行ヒ虛弱者ニ對シテハ學習、運動ノ緩和ニ注意ヲ拂ハザルベカラズ。

學校職員又毎年健康診斷殊ニ「レ」線診斷ヲ行フヲ要ス。

7、高層建築殊ニ百貨店ノ如キ多數人ヲ吞吐セシムル場所ニ於テハ防塵裝置、換氣法ヲ完カラシメ、之ガ勤勞者ハ屢々外氣及日光ニ觸レシムベク、粉塵、纖維工場等亦然リ。

8、以上結核豫防事業ノ遂行ヲ期センガ爲メ國家ハ結核豫防中樞機關設置ノ義務ヲ有スベシ。而シテ本機關ハ内閣ニ直屬セシメ假リニ總務部、研究部、事業部等ニ區分シ之ガ理事、委員ハ行政家、醫學者、衛生技術者、社會研究者、社會事業家等ヨリ之ヲ撰任セシム。

9、我國ヲシテ結核菌ヨリ救ハントスルニハ國家ハ多少犠牲ヲ拂フノ止ヲ得ザルベク、國民援助ノ下ニ強行的社會運動ヲ起サシメ而シテ之ニ要スル財源又相當額ニ上ルベキヲ以テ之ガ資源姑息愉安ナルヲ許サズ、國家ハ確固タル信念ノ下ニ結核豫防稅ノ新設賦課又止ヲ得ザルベシ。

10、從テ現行結核豫防法ハ之ヲ改正スルノ要アルモノトス。昭和8年12月28日脱稿
擱筆ニ臨ミ貴重ナル相談作業ヲ命ゼラレ且ツ指導ヲ賜ハリタル上田衛生部長、加藤醫務課長ニ滿腔ノ敬意ヲ表シ。結核豫防事業ニ關スル助言ヲ辱フシ竝ニ資料ヲ供セラレタル簡易保險局保醫務課長佐藤正博士ニ深ク感謝ス。

1、昭和6年12月24日陸軍々醫團近衛、第一師團聯合研究會ニ於テ結核豫防ニ就テノ演題ノ下ニ本論文一部ノ大要ヲ報告セリ。

主 要 文 獻

1) 綿引朝光、簡明衛生學。 2) カーエス著、國崎定洞譯、社會衛生學。 3) 熊谷岱藏、肺結核日本內科學會雜誌。20卷。1號。 4) 最新結核臨牀號、大道學館。 5) 結核殊ニ肺結核、診斷ト

治療社。 6) 原榮、肺結核早期診斷及治療學。 7) 額田晋、肺結核ノ豫防及治療法。 8) 上條秀介、肺結核臨牀醫學研究。6號。 9) 白川玖治、炭肺ト肺結核。結核9號2號。 10) 佐藤正、本邦農

村ニ於ケル結核ノ疫學的考察. 結核. 7卷. 1號.
 11) 新井英夫, 小學校虛弱兒童ノ結核調査. 結核.
 11卷. 11號. 12) ノラウトウイ、ヒ著, 新宮秀譯,
 結核救護事業. 結核9卷. 3. 4. 5號. 13) 最
 近ニ於ケル各國結核豫防事業. 內務省衛生局. 14)
 全國死因調査表, 昭和元. 2. 3. 4. 5. 6年度
 分. 內閣統計局. 15) トーレル著, 野村實譯, 肺
 結核患者ノ作業療法. 結核. 10卷. 11號. 16) 今
 村荒男, 結核ト乳幼兒ノ隔離ニ就テ. 17) 三戸
 時雄, 醫師ハ結核患者ニ何ヲ教フベキカ. 18)
 三戸時雄, 日光浴ト空氣浴. 19) 伊藤哲一, 日
 光療法. 軍醫團雜誌. 209號. 20) 佐藤太平, 紫
 外線療法. 31) 照內豐, 榮養ノ基礎的智識. 22)
 石原房雄, 榮養ノ原理. 23) 佐々藤平, 食餌療
 法. 24) 宮川米次, 自己ノ經驗ヨリ見タル無鹽
 食餌療法. 實驗醫學雜誌. 17卷. 3號. 25) 本間

純, 結核食餌療法. 東西醫學大觀. 昭和3年. 9
 月號. 26) 遠藤繁清, 結核治療經驗談. 東西醫
 學大觀. 昭和3年. 9月號. 27) 陸軍々醫團雜誌.
 241號. 28) 星野鐵男, 住宅問題. 29) 小宮
 義孝, 鐵筋「コンクリート」建築物ノ衛生醫事公
 論. 979. 980. 981號. 30) 暉峻義等, 産業疲
 勞. 31) 田澤暲二, 「サナトリウム」. 32) 氏原
 佐藏, 結核ト社會問題. 33) 石川光昭, 社會醫
 學諸問題. 34) 永井秀太, 本邦結核豫防撲滅實
 行策. 醫事公論. 993. 994號. 35) 加藤寛二郎,
 結核豫防國策ト財源運用. 人世幸福. 16年. 1號.
 36) 遠藤繁清, 結核ノ慘害ト其對策ニ就テ全國民
 ニ訴フ. 人世幸福. 15年. 2號. 37) 今村荒男,
 結核稅. 醫事公論. 968號. 片瀨淡, 食餌ト病疾
 トノ關係醫事公論. 904. 905號.